

# 東吾妻町第2次総合計画 後期基本計画

## 【資料編】

群馬県 東吾妻町

# 目 次

<b>策定経過</b> .....	1
<b>ひがしあがつま創生会議の委員名簿</b> .....	5
<b>ひがしあがつま創生会議への諮問</b> .....	6
<b>ひがしあがつま創生会議からの答申</b> .....	7
<b>町民アンケート調査報告書</b> .....	9
1 調査の概要 .....	9
2 調査結果 .....	10
3 資料（調査票） .....	66
<b>関係団体・事業者アンケート調査報告書</b> .....	74
1 調査の概要 .....	74
2 調査結果 .....	75
<b>中学生からの提言（東吾妻町 J H S 議会）</b> .....	81
1 実施の概要 .....	81
2 提言 .....	81

# 策定経過

## 令和3(2021)年度

月	日	会議事項等	会議等の内容
10	21	第5回ひがしあがつま創生会議	委嘱状交付(24名) 会長・副会長の互選、東吾妻町まちづくり参加条例の概要等説明 審議事項 今年度の審議予定について 小委員会の設置について
12	2	第6回ひがしあがつま創生会議	審議事項 小委員会の設置及びメンバー構成について
		ひがしあがつま創生会議 小委員会キックオフ会議	講話 「力を貸してください～東吾妻でみんなが暮らし続けられるように～」 講師：高崎商科大学特任教授/熊倉浩靖先生 小委員会別の協議事項 委員長の互選 カードを用いたアイスブレイキング・ワークショップ
1	11	ひがしあがつま創生会議 「総合計画等 策定・評価」小委員会	第2次総合計画前期基本計画 重点施策の事業等について各課・事業等ヒアリング
	14	ひがしあがつま創生会議 「総合戦略 策定・評価」小委員会	第2期総合戦略 アクションプランの事業等について各課・事業等ヒアリング

## 令和4(2022)年度

月	日	会議事項等	会議等の内容
4	4	第86回総合戦略本部	第2次総合計画後期基本計画策定方針について承認
		入札審査会へ付議	後期基本計画策定業務委託 見積合わせの随意契約を決定
		見積依頼書の発送	4月20日提出期限
	20	見積合わせ、契約締結	受託者を決定 特定非営利活動法人NPOぐんま
5	2	第87回総合戦略本部	第2次総合計画実施計画(ローリング)の集約結果の確認
	12	受託者と打合せ	町民アンケート等の詳細協議
6	1	第88回総合戦略本部	住民意識調査(町民アンケート)等の実施内容について決定
	14	町民アンケート	調査票(対象:無作為抽出した18歳以上の町民1,800人)発送 (調査期間:6月14日~7月4日)
		関係団体・事業者アンケート	調査票(対象:町内で事業を展開する各種団体、企業・事業所のうち、町役場が独自に抽出した50件)発送 (調査期間:6月14日~7月15日)
15	各課あて依頼	前期基本計画の精査及び後期基本計画への見直し・変更等の確認・精査	
7	1	第89回総合戦略本部	町民アンケート及び関係団体・事業者アンケートの実施日程、第2次総合計画前期基本計画の評価及び後期基本計画策定に向けた内容修正の確認
	4	町民アンケート	町民アンケート調査票の回収期限日 集計(回収数:881件、回収率:48.9%)
	15	関係団体・事業者アンケート	関係団体・事業者アンケート調査票の回収期限日 集計(回収数:20件、回収率:40.0%)
8	1	第90回総合戦略本部	町民アンケートの集計速報、ひがしあがつま創生会議・事務事業評価委員会開催等の確認
	19	第7回ひがしあがつま創生会議	審議事項 今年度の審議予定について 第2次総合計画後期基本計画策定に伴うアンケート結果について 第2次総合計画後期基本計画(骨子案)について
9	1	第91回総合戦略本部	ひがしあがつま創生会議の開催結果、町民アンケートの中間報告
	12	各課あて依頼	後期基本計画(分野別計画)案の各課精査を実施
	20	東吾妻町事務事業評価委員会	協議事項 令和4年度「行政評価(内部評価)」の実施 外部評価の実施について
	21	町長からひがしあがつま創生会議へ諮問	第2次総合計画後期基本計画の案 外部評価

月	日	会議事項等	会議等の内容
10	3	第92回総合戦略本部	ひがしあがつま創生会議の開催予定、町民アンケートの報告
	4	ひがしあがつま創生会議 「総合戦略 策定・評価」小委員会	協議事項 令和4年度「行政評価（外部評価）」の実施
	7	ひがしあがつま創生会議 「総合計画等 策定・評価」小委員会	協議事項 令和4年度「行政評価（外部評価）」の実施
	21	第8回ひがしあがつま創生会議	審議事項 第2次総合計画後期基本計画策定に伴うアンケート最終結果について 第2次総合計画後期基本計画（案）について
11	1	第93回総合戦略本部	ひがしあがつま創生会議の開催結果と今後の予定等の確認
	28	第9回ひがしあがつま創生会議	審議事項 外部評価について（各評価委員会より報告） 第2次総合計画後期基本計画（案）について
	29	第4回東吾妻町中学生議会 （JHS議会）	東吾妻町中学生議会を3年ぶりに開催 東吾妻中学校3年生の卒業研究テーマ「20年後の私へ」について、代表10名が東吾妻町への提言として成果発表
12	1	第94回総合戦略本部	ひがしあがつま創生会議の開催結果と今後の予定等の確認
	5	ひがしあがつま創生会議から答申	正・副委員長が登庁し町長に対して答申
	12	議員全員協議会 第2次総合計画後期基本計画案の修正作業	第2次総合計画後期基本計画案等の説明 答申を受けた計画内容の精査や修正を開始
	20	パブリックコメント	第2次総合計画後期基本計画（案）についてパブリックコメント実施 （実施期間：12月20日～令和5年1月16日）
1	4	第95回総合戦略本部	パブリックコメントの中間報告、今後の予定等の確認
	17	第2次総合計画後期基本計画案の修正作業	パブリックコメントの集約と計画内容への反映検討
2	1	第96回総合戦略本部	パブリックコメントの結果報告、今後の予定等の確認
	27	議会運営委員会	3月定例会の事案説明
3	6	町議会へ議案提出	第2次総合計画後期基本計画（案）について提案 （令和5年第1回定例会・議案第31号） 3月16日 原案可決

議決謄本の写し

議案第31号

東吾妻町第2次総合計画後期基本計画の策定について

東吾妻町議会基本条例（平成22年東吾妻町条例第24号）第7条第1項第1号の規程により、議会の議決を求める。

令和5年3月6日提出

東吾妻町長 中澤 恒喜

令和5年 3月16日 原案可決

上記は議決書の謄本である

令和5年 3月17日

東吾妻町議会議長 須崎 幸



# ひがしあがつま創生会議の委員名簿

【任期：令和3年9月18日から令和5年9月17日まで2年間】

【会長◎及び副会長○は初回の会議で委員の互選により定めた。】

	区 分	役職など	氏 名
1	公募に応募した住民	(選考に際して配慮事項) ・幅広い年齢層に配慮 ・若い世代や子育て世代に配慮 ・男女同数に配慮	荒木 哲
2			根岸 太一
3			関 芳男
4			福原 綾子
5			清水 まみ
6			井上 正敏
7			富澤 雄河
8			名倉 陽子
9			関 邦一
10			小林 悦子
11	地域を代表する者	東地区 (区長会)	角田勝祐紀
12		太田地区(区長会)	関口 一男
13		原町地区(紺屋町区長)	木檜 康則
14		岩島地区(区長会)	富澤 美昭
15		坂上地区(区長会長会)	小池 幸晴
16	産業界	農業委員会長	中井 毅彦
17		商工会長	岡島 正好
18		リンテック(株) 吾妻工場 事務部 事務課 課長代理(誘致企業代表)	小林 邦秀
19		観光協会長	小林 正明
20		原町赤十字病院 事務部長	本多 誠司
21	県や国の行政機関	群馬県吾妻振興局長	森田 徹
22	高等教育機関	東洋大学 名誉教授	岡崎 涉
23	金融機関	北群馬信用金庫 吾妻支店長	木村 武史
24	学識経験者	元群馬県職員	角田 隆紀

[ 町側説明者代表 ]	副町長	渡辺 三司
[ 事務局 ] 条例第6条第8項 (創生会議の庶務)	企画課長	関 和夫
	企画課 次長	青木 秀美
	企画課 次長	玉橋 晃
	企画課 次長	町田 隆
	企画課 係長 (企画調整係)	武藤 学
	企画課 係長 (定住促進係)	腰塚 丈弘

1 東吾妻町まちづくり参加条例(平成31年条例第4号)第6条第3項の規定により、委員24人以内で組織する。  
 ※2 委員の任期は、町長より委嘱された日から2年とする。ただし、行政区長や団体・企業・機関から選任された者でその職に異動等あった場合、後任者を補欠委員とする。なお、補欠委員の任期は、2年のうちの前任者の残任期間とする。

# ひがしあがつま創生会議への諮問

東吾役企第 82 号  
令和 4 年 9 月 21 日

ひがしあがつま創生会議  
会長 角田 隆紀 様

東吾妻町長 中澤 恒喜  
(企画課)

東吾妻町第 2 次総合計画後期基本計画について（諮問）

このことについて、東吾妻町まちづくり参加条例（平成 31 年条例第 4 号）第 6 条第 2 項の規定による審議を求めたく、下記のとおり関係書類を提出いたします。

## 記

- 1 諮問事項 東吾妻町第 2 次総合計画後期基本計画の案  
計画期間：2023 年度から 2027 年度まで（5 年間）
- 2 諮問理由 本年度末で東吾妻町第 2 次総合計画前期基本計画が、その計画年限を迎えるにあたり、今後の東吾妻町のまちづくりの方向とそれを実現するための方策について、広範的な意見を基に審議して頂きたく、本町の第 2 次総合計画後期基本計画案について諮問いたします。
- 3 添付資料 (1) 東吾妻町第 2 次総合計画後期基本計画（案）  
(2) その他審議会の会議で配付する一切の関係資料等



# ひがしあがつま創生会議からの答申

令和4年12月5日

東吾妻町長 中澤恒喜様  
(企画課)

ひがしあがつま創生会議  
会長 角田隆紀

東吾妻町第2次総合計画後期基本計画について（答申）

このことについて、令和4年9月21日付け東吾役企第82号で諮問のありましたことについて、慎重に審議をした結果、下記のとおり答申します。

## 記

- 1 諮問事項 東吾妻町第2次総合計画後期基本計画の案  
計画期間：2023年度から2027年度まで（5年間）
- 2 答 申 将来にわたって「住民が誇りを持って暮らすまち」を実現できる内容となっているか、後期基本計画のうち重点施策と分野別計画を中心に議論を行い、添付資料のとおり「東吾妻町第2次総合計画後期基本計画（案）」を作成したので提出します。
- 3 添付資料 (1) 東吾妻町第2次総合計画後期基本計画（案）  
(2) その他審議会の会議で配付する一切の関係資料等

## 別添 各委員から出された意見等 集約表

創生会議	区分け	意見等
第7回	町民アンケート	・意見等なし
〃	後期基本計画	・意見等なし
第8回	後期基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「吾妻忍者」について、民間で「岩櫃真田忍者ミュージアム」の取組が行われているが、町としてはどのくらい「吾妻忍者」の取組を進める考えなのか。</li> <li>・自転車型トロッコ「アガッタン」の途中に、真田十勇士の一人「猿飛佐助」のモデルとも伝わる横谷左近(よこやさこん)の屋敷跡地があるとされているが、これらについても町としてどの程度取り組む考えがあるのか。</li> </ul>
〃	町民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由記述の内容を見ると、町民の意見の方向性が出ていていると思う。各委員ももう一度読み返して、今後について考えていったほうがよいと思う。せっかくよい計画ができて、それを実行できなければ意味がないと思う</li> </ul>
第9回	後期基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期基本計画の外部評価で「現状維持」となった施策について、後期基本計画の重点施策(案)では内容が異なっているものが見受けられるが、どういう考えによるものか。</li> </ul>
〃	後期基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点施策1 「脱炭素・循環型社会の構築」は、(町民アンケートで)長期見直しという説明があったが、そうであれば、重点施策として設定するのが適当なのか。</li> </ul>
〃	後期基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの施策はいずれも、皆さんの協力がなければ実現できないものだと思う</li> </ul>

# 町民アンケート調査報告書

## 1 調査の概要

### 1 - 1 調査の目的

東吾妻町のまちづくりに関する町民の意見や評価を把握し、「東吾妻町第2次総合計画 後期基本計画」に反映することを目的としています。

### 1 - 2 調査の方法

調査の方法は以下のとおりです。

① 調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の町民1,800人 (令和4年5月31日時点)
② 調査方法	郵送による調査票の配布・回収
③ 調査期間	令和4年6月14日(火)～7月4日(月)

### 1 - 3 調査の回収結果

調査の回収結果は以下のとおりです。

① 発送数	1,800件
② 回収数	881件
③ 回収率	48.9%

### 1 - 4 集計結果の見方

- ① 集計結果の構成比率(%)は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ② 各設問のタイトル末尾には、その設問の回答数にあわせて「1つに○」または「3つまで○」「5つまで○」と示しています。
- ③ 集計と分析は、主に調査回答者の性別、年代別、居住地区別について行っています。
- ④ 一部の設問では、それぞれの選択肢に点数を与え、その平均値(加重平均値)を各項目の評価点としています。加重平均値の算出方法は、該当する各設問のページに記載します。
- ⑤ 一部の設問は、平成29年度に実施した調査結果(前回調査)と比較を行っています。前回調査との比較において、選択肢の文章表現等が若干異なる場合、本調査の内容に準じたものとみなして、本調査票の表現で表記しています。

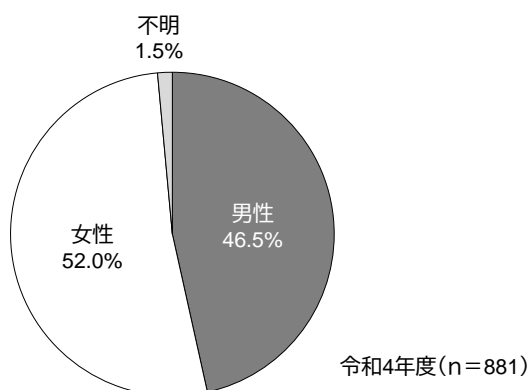
前回調査の概要	東吾妻町第2次総合計画策定のための町民アンケート調査 調査期間：平成29年6月16日(金)～7月3日(火) 発送数：1,800件、回収数：876件(回収率：48.7%)
---------	--

## 2 調査結果

### 回答者の基本属性

#### 性別

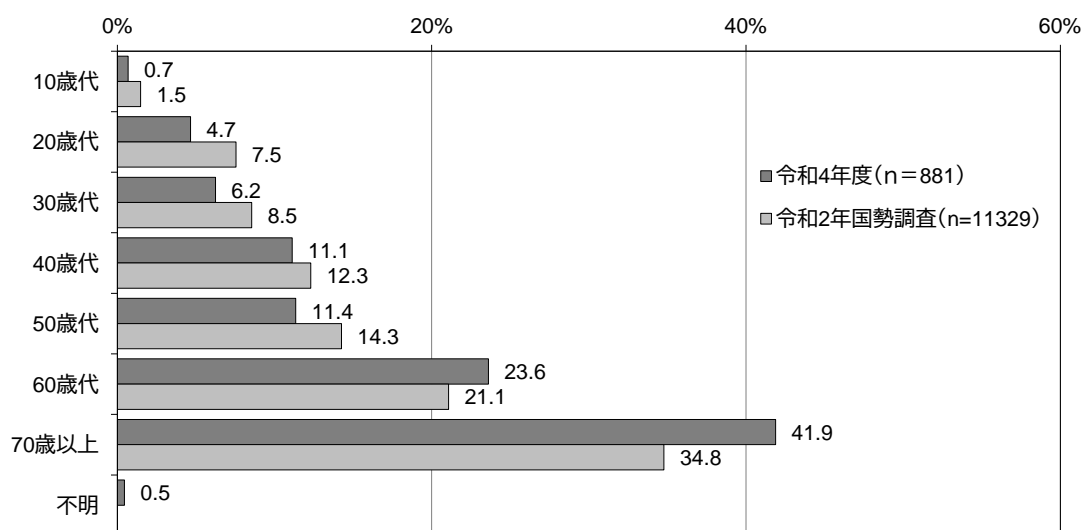
女性（52.0%）が男性（46.5%）より若干多くなっています。



#### 年代

70歳以上（41.9%）が4割以上で最も多く、次いで60歳代（23.6%）が2割以上、50歳代（11.4%）、40歳代（11.1%）が1割以上となっています。

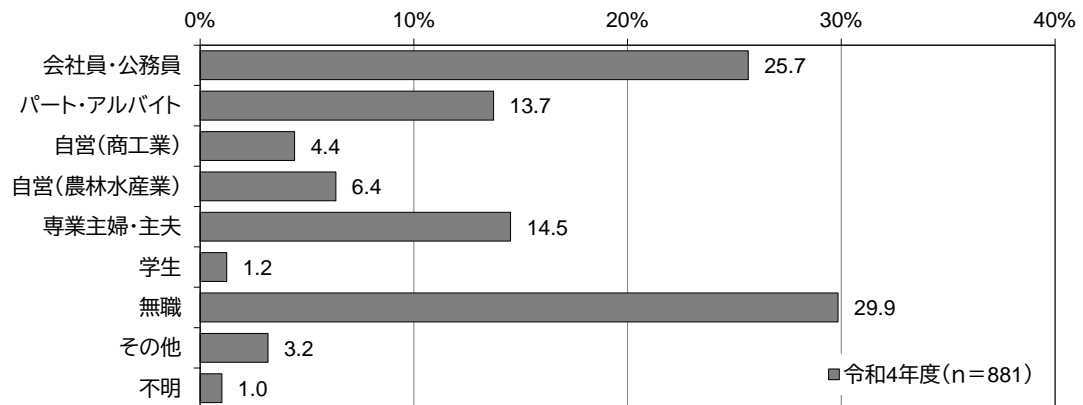
令和2年国勢調査における各年代の人口構成比（18歳以上）と比較すると、おおむね同様の傾向となっていますが、本調査の回答者は、50歳代以下の割合が低く、60歳代以上の割合が高くなっています。



※10歳代は本調査、国勢調査のいずれも18・19歳のみ  
資料：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

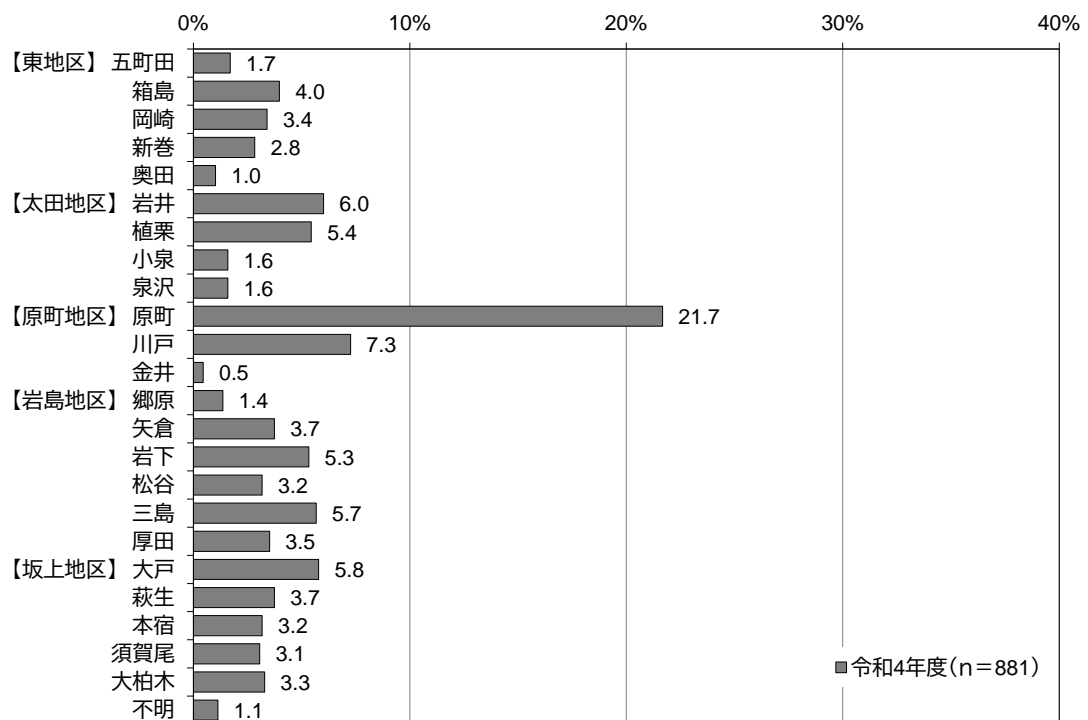
## 職業

無職（29.9%）が約3割で最も多く、次いで会社員・公務員（25.7%）が2割以上、専業主婦・主夫（14.5%）、パート・アルバイト（13.7%）が1割以上となっています。

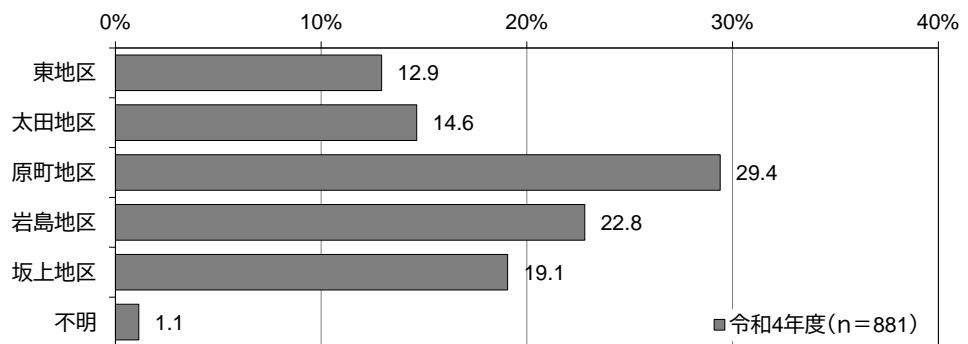


## 居住地区

原町（21.7%）が2割以上で特に多く、次いで岩井（7.1%）、川戸（6.6%）となっています。

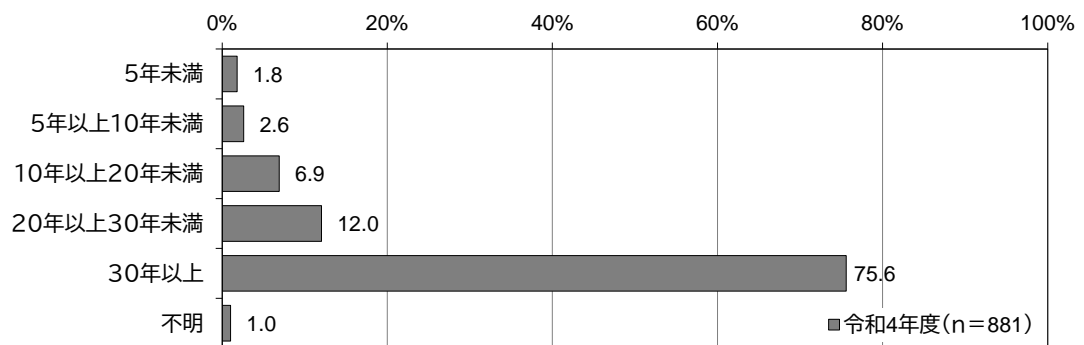


町内5地区に分けて見ると、原町地区(29.4%)が約3割で最も多く、次いで岩島地区(22.8%)が2割以上、坂上地区(19.1%)が約2割となっています。



### 居住年数

「30年以上」(75.6%)が7割以上で特に多くなっています。



# 1 東吾妻町の住みやすさについて

## 問1 東吾妻町は住みやすいか

あなたにとって、東吾妻町は住みやすいですか。(1つに○)

「どちらかといえば住みやすい」が約5割で最も高い

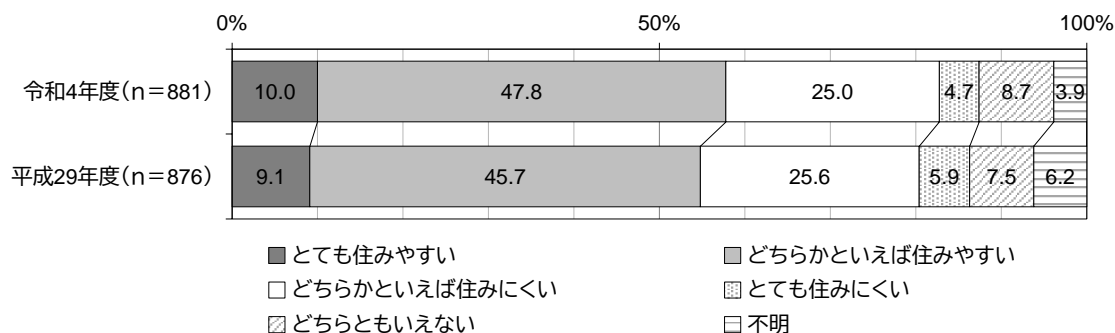
合計値『住みやすい』が約6割、『住みにくい』が約3割

前回より合計値『住みやすい』は若干高く、合計値『住みにくい』は若干低い

「どちらかといえば住みやすい」(47.8%)が約5割で最も高く、次いで「どちらかといえば住みにくい」(25.0%)が2割以上となっています。

「とても住みやすい」(10.0%)と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』(57.8%)は約6割、「どちらかといえば住みにくい」と「とても住みにくい」(4.7%)を合わせた『住みにくい』(29.7%)は約3割となっています。

前回調査と比較すると、合計値『住みやすい』は、前回(54.8%)より若干高く、合計値『住みにくい』は前回(31.5%)より若干低くなっています。



## 【属性別】

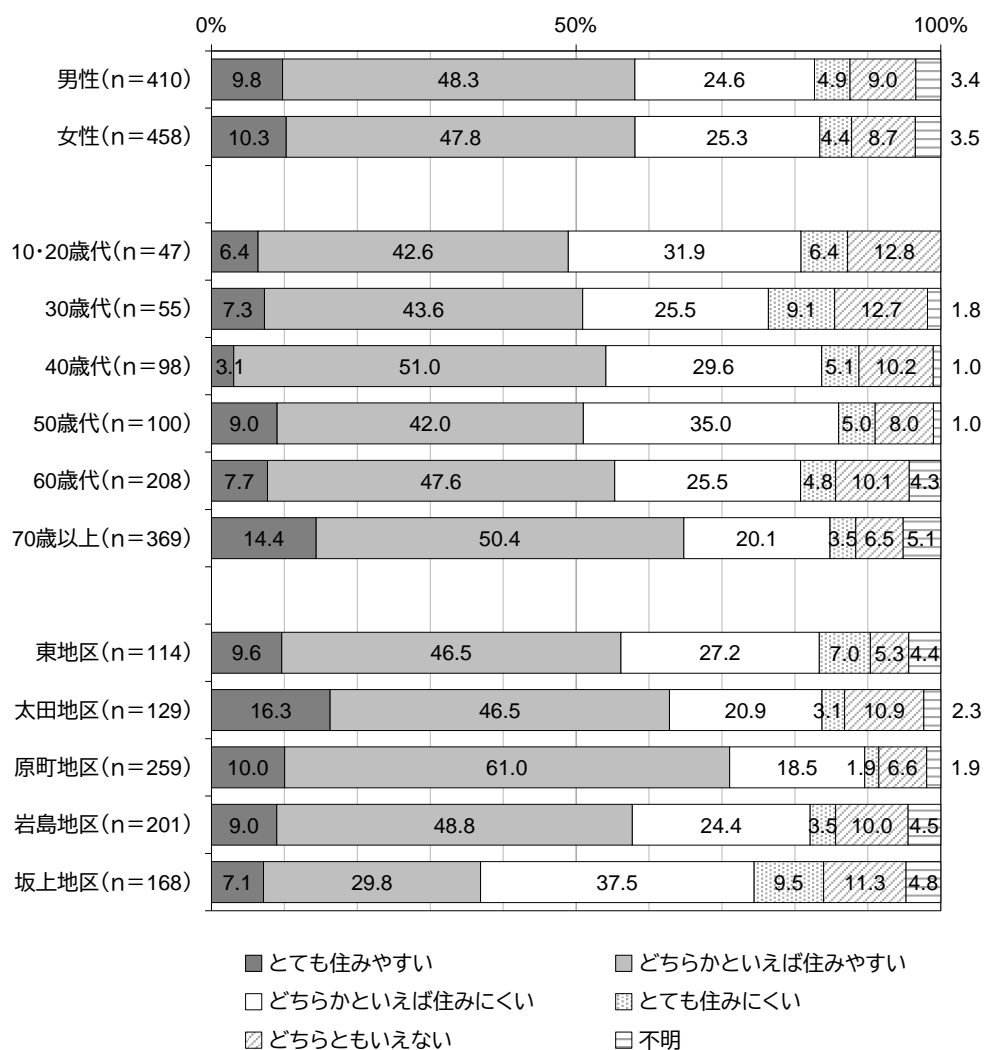
ほとんどの属性で「どちらかといえば住みやすい」が最も高い

坂上地区は合計値『住みにくい』が『住みやすい』より高く、加重平均値がマイナス値  
加重平均値を見ると60歳以上で住みやすさの評価が比較的高い

性別による差はほとんど見られません。

年代別による大きな差は見られませんが、合計値『住みやすい』は70歳以上（64.8%）が6割以上で比較的高くなっています。

居住地区別では、坂上地区を除き「どちらかといえば住みやすい」が最も高く、合計値『住みやすい』は原町地区（71.0%）が7割以上、太田地区（62.8%）が6割以上で比較的高くなっています。坂上地区は「どちらかといえば住みにくい」（37.5%）が約4割で最も高く、合計値『住みにくい』（47.0%）が約5割で、合計値『住みやすい』（36.9%）より高くなっています。



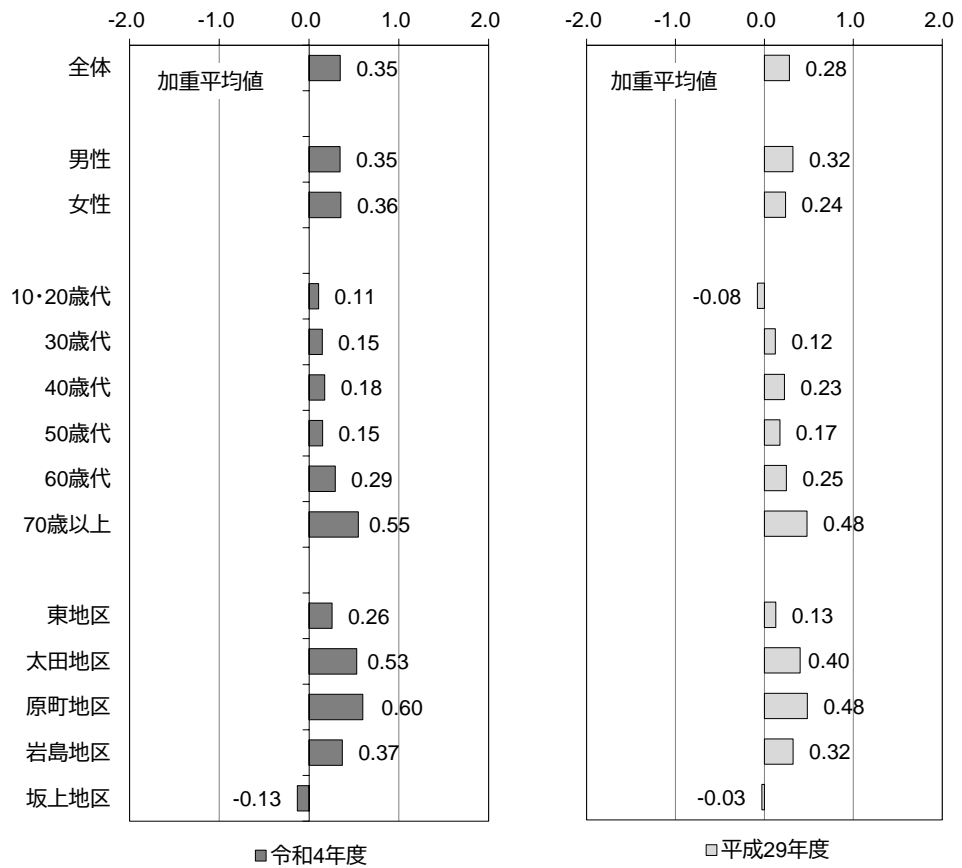


加重平均値\*を見ると、性別による大きな差は見られません。

年代別では、70歳以上（0.55ポイント）が最も高く、次いで60歳以上（0.29ポイント）も比較的高くなっていますが、50歳代以下では大きな差は見られません。

居住地区別では、原町地区（0.60ポイント）、太田地区（0.53ポイント）が比較的高い一方、坂上地区（-0.13ポイント）のみマイナス値となっています。

前回調査と比較すると、全体では今回（0.35ポイント）が前回（0.28ポイント）より高くなっています。また、ほとんどの属性で同程度もしくは高くなっていますが、坂上地区（前回-0.03ポイント）のみマイナス値が大きくなっています。



\*加重平均値：「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」「どちらかといえば住みにくい」「とても住みにくい」「どちらともいえない」にそれぞれ2点、1点、-1点、-2点、0点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。プラス値が大きいほど「住みやすい」、マイナス値が大きいほど「住みにくい」と認識されていると考えられる。平成29年度の値は本調査に合わせて再集計

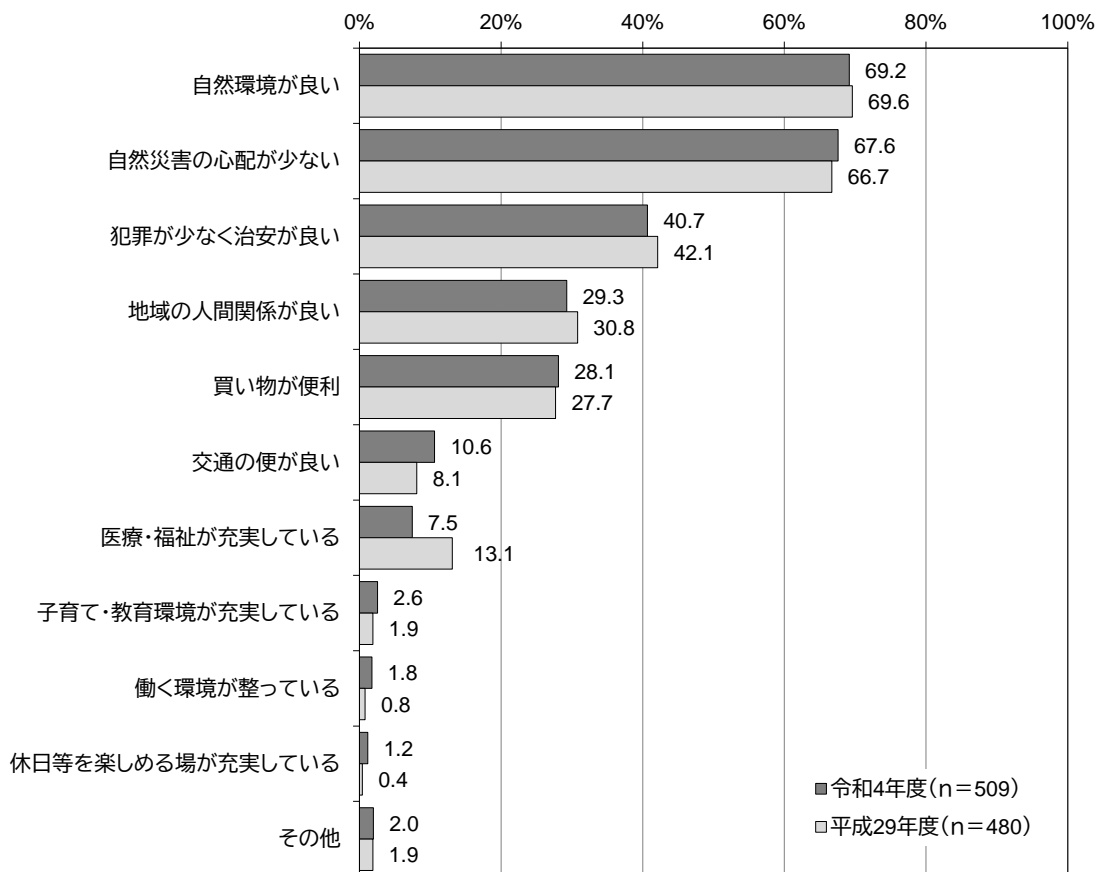
## 問1 住みやすい理由

住みやすい理由に近いものをおしえてください。(3つまで○)  
 (「とても住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」の場合)

### 「自然環境が良い」「自然災害の心配が少ない」の2項目が約7割で特に高い 前回調査から大きな変化は見られない

「自然環境が良い」(69.2%)、「自然災害の心配が少ない」(67.6%)の2項目が約7割で同程度に高く、次いで「犯罪が少なく治安が良い」(40.7%)が4割以上となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「医療・福祉が充実している」(今回7.5%、前回13.1%)は若干低くなっています。



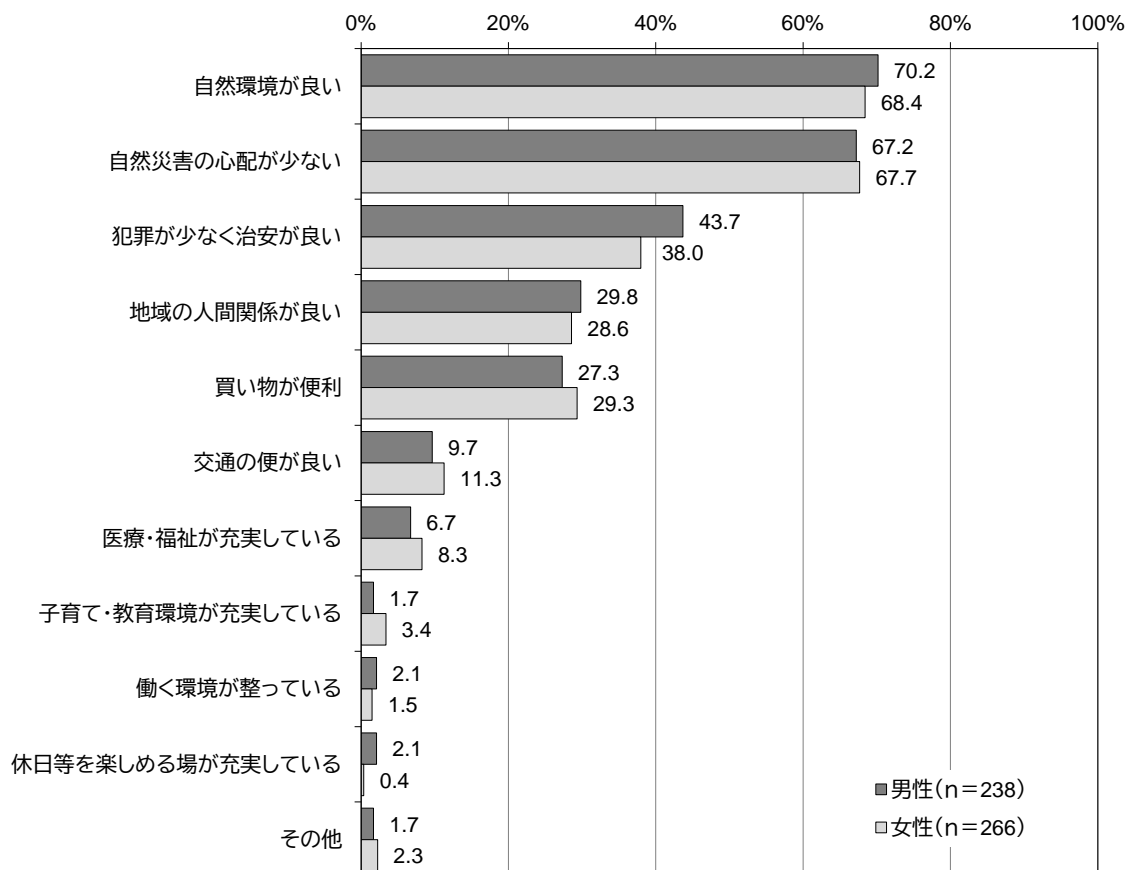
## 【属性別】

### ほとんどの属性で「自然環境が良い」「自然災害の心配が少ない」の2項目が高い 原町地区は「買い物が便利」も高い

性別による大きな差は見られません。

年代別では、いずれの年代も「自然環境が良い」「自然災害の心配が少ない」の2項目が高くなっていますが、50歳代以上が2項目とも7割以上である一方、40歳代以下は5～6割程度で比較的低くなっています。

居住地区別では、原町地区を除き「自然環境が良い」「自然災害の心配が少ない」の2項目が高くなっています。原町地区は「自然災害の心配が少ない」(67.9%)が約7割、次いで「買い物が便利」(58.7%)が約6割となっています。



	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	23	28	53	51	115	239
自然環境が良い	56.5	64.3	52.8	74.5	71.3	72.4
自然災害の心配が少ない	52.2	53.6	50.9	70.6	73.9	70.7
犯罪が少なく治安が良い	47.8	50.0	35.8	43.1	40.9	39.3
地域の人間関係が良い	13.0	17.9	17.0	25.5	33.9	33.5
買い物が便利	30.4	32.1	37.7	21.6	29.6	25.9
交通の便が良い	8.7	14.3	13.2	7.8	7.8	11.7
医療・福祉が充実している	4.3	0.0	7.5	0.0	3.5	12.1
子育て・教育環境が充実している	4.3	3.6	9.4	2.0	1.7	1.3
働く環境が整っている	8.7	3.6	1.9	3.9	0.9	0.8
休日等を楽しめる場が充実している	4.3	0.0	1.9	3.9	0.9	0.4
その他	0.0	3.6	7.5	0.0	1.7	1.3

	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
n	64	81	184	116	62
自然環境が良い	85.9	75.3	51.1	78.4	82.3
自然災害の心配が少ない	70.3	69.1	67.9	61.2	72.6
犯罪が少なく治安が良い	51.6	51.9	31.0	44.0	37.1
地域の人間関係が良い	45.3	23.5	14.7	37.9	48.4
買い物が便利	1.6	22.2	58.7	11.2	4.8
交通の便が良い	3.1	4.9	16.8	12.9	3.2
医療・福祉が充実している	6.3	6.2	9.2	8.6	3.2
子育て・教育環境が充実している	3.1	6.2	1.6	2.6	0.0
働く環境が整っている	1.6	0.0	3.3	0.9	1.6
休日等を楽しめる場が充実している	1.6	0.0	0.0	4.3	0.0
その他	1.6	1.2	1.6	3.4	1.6

単位：%

※濃色網掛け数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け数字は次いで高い値を示す

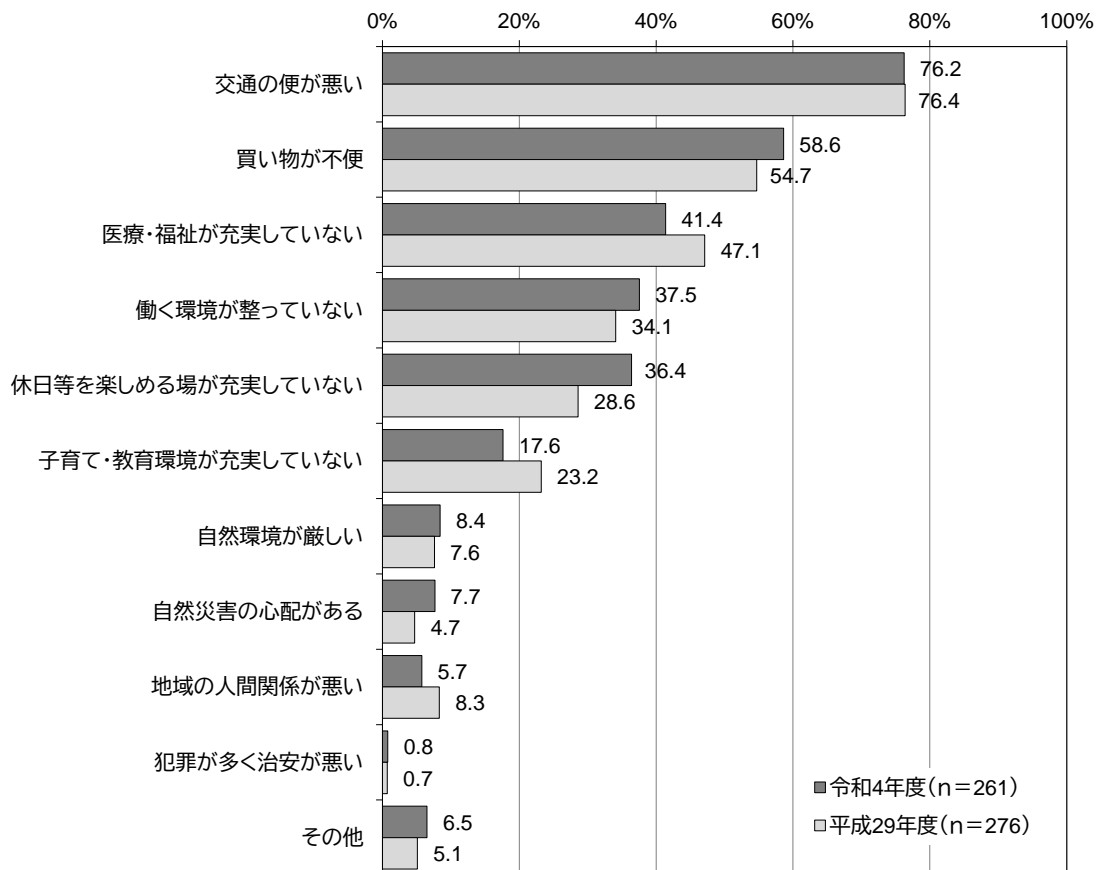
## 問1 住みにくい理由

住みにくい理由に近いものをおしえてください。(3つまで○)  
(「とても住みにくい」または「どちらかといえば住みにくい」の場合)

**「交通の便が悪い」が7割以上で最も高い**  
**次いで「買い物が不便」が約6割**  
**前回調査から大きな変化は見られない**

「交通の便が悪い」(76.2%)が7割以上で最も高く、次いで「買い物が不便」(58.6%)が約6割となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「休日等を楽しめる場が充実していない」(今回36.4%、前回28.6%)は若干高くなっています。



## 【属性別】

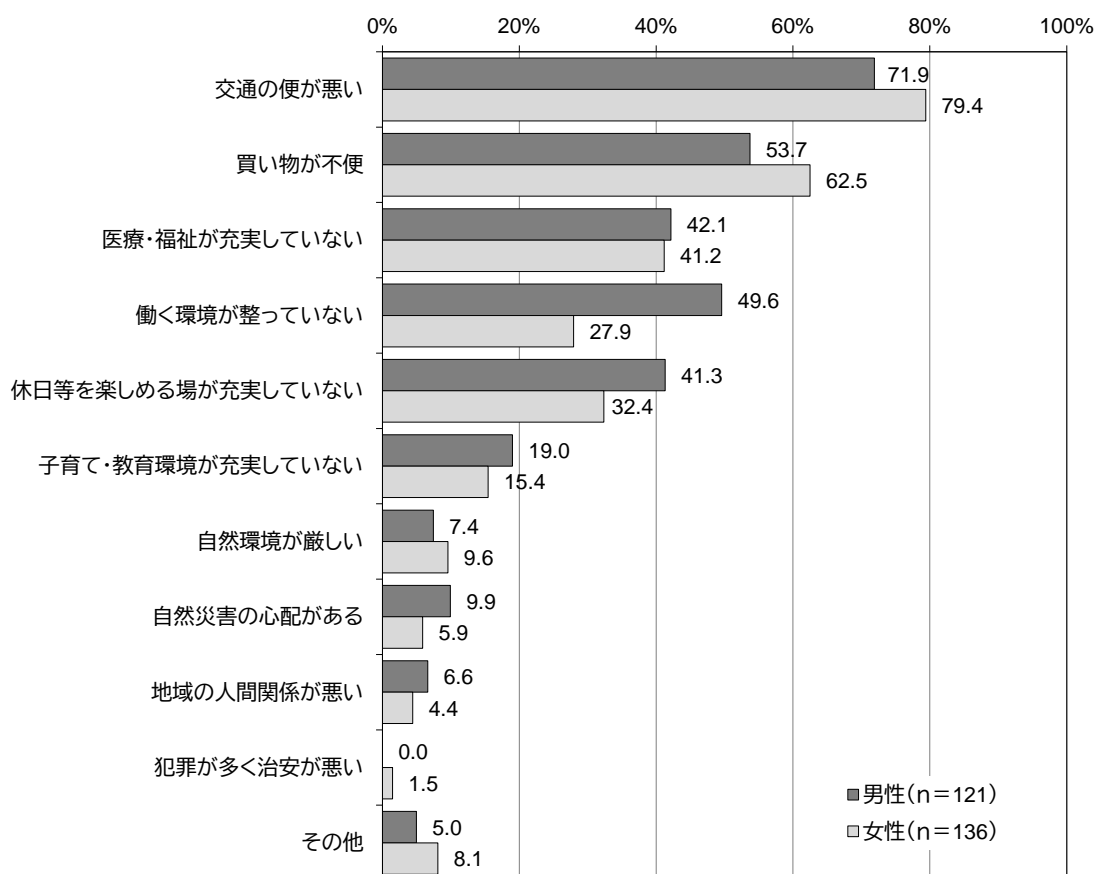
### ほとんどの属性で「交通の便が悪い」が最も高い

### 男性は「働く環境が整っていない」、70歳以上・東地区は「買い物不便」も高い

性別では、男女とも「交通の便が悪い」（男性 71.9%、女性 79.4%）が最も高く、次いで「買い物不便」（53.7%、62.5%）となっており、いずれも女性が男性より高くなっています。性別による差は「働く環境が整っていない」で大きく、男性（49.6%）が女性（27.9%）より 21.7ポイント高くなっています。

年代別では、いずれの年代も「交通の便が悪い」が最も高くなっています。次いで高い項目は年代によって異なり、その中で 70 歳以上は「買い物不便」（74.7%）が 7 割以上で高くなっています。

居住地区別では、東地区を除き「交通の便が悪い」が最も高く、東地区は「買い物不便」（84.6%）が 8 割以上で最も高くなっています。



	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	18	19	34	40	63	87
交通の便が悪い	83.3	57.9	67.6	75.0	69.8	87.4
買い物ที่ไม่便	61.1	42.1	44.1	45.0	57.1	74.7
医療・福祉が充実していない	27.8	52.6	50.0	40.0	42.9	37.9
働く環境が整っていない	22.2	47.4	44.1	42.5	55.6	20.7
休日等を楽しめる場が充実していない	61.1	47.4	55.9	30.0	30.2	28.7
子育て・教育環境が充実していない	11.1	57.9	26.5	20.0	20.6	3.4
自然環境が厳しい	5.6	0.0	5.9	2.5	14.3	10.3
自然災害の心配がある	0.0	5.3	11.8	12.5	7.9	5.7
地域の人間関係が悪い	0.0	5.3	2.9	5.0	3.2	10.3
犯罪が多く治安が悪い	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	1.1
その他	0.0	5.3	2.9	10.0	6.3	8.0

	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
n	39	31	53	56	79
交通の便が悪い	76.9	74.2	69.8	78.6	78.5
買い物ที่ไม่便	84.6	45.2	34.0	44.6	75.9
医療・福祉が充実していない	35.9	41.9	49.1	37.5	40.5
働く環境が整っていない	41.0	45.2	35.8	39.3	34.2
休日等を楽しめる場が充実していない	30.8	32.3	52.8	37.5	30.4
子育て・教育環境が充実していない	15.4	16.1	20.8	21.4	15.2
自然環境が厳しい	2.6	12.9	1.9	8.9	13.9
自然災害の心配がある	5.1	19.4	5.7	5.4	7.6
地域の人間関係が悪い	7.7	0.0	7.5	5.4	5.1
犯罪が多く治安が悪い	0.0	0.0	1.9	0.0	1.3
その他	2.6	3.2	7.5	5.4	10.1

単位：%

※濃色網掛け数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け数字は次いで高い値を示す

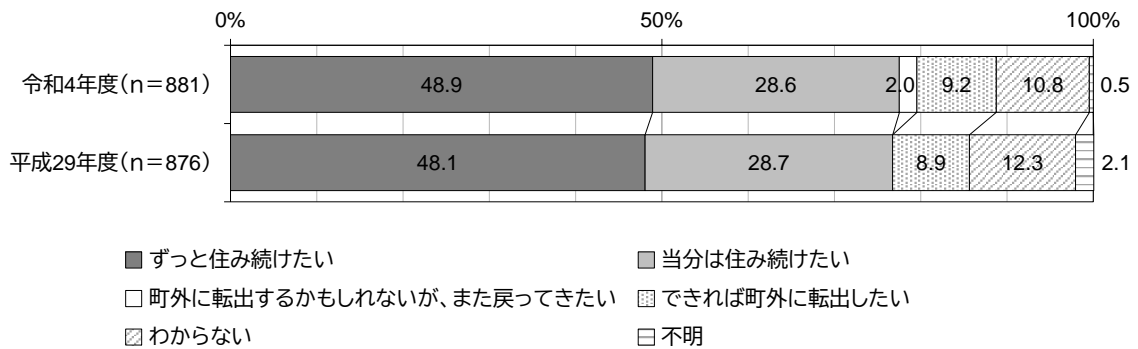
## 問2 定住意向

あなたは、これからも東吾妻町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

**「ずっと住み続けたい」が約5割で最も高く、合計値『住み続けたい』は約8割  
前回調査から大きな変化は見られない**

「ずっと住み続けたい」(48.9%)が約5割で最も高く、次いで高い「当分は住み続けたい」(28.6%)を合わせた『住み続けたい』(77.5%)は約8割となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。



※「町外に転出するかもしれないが、また戻ってきたい」は本調査から設定



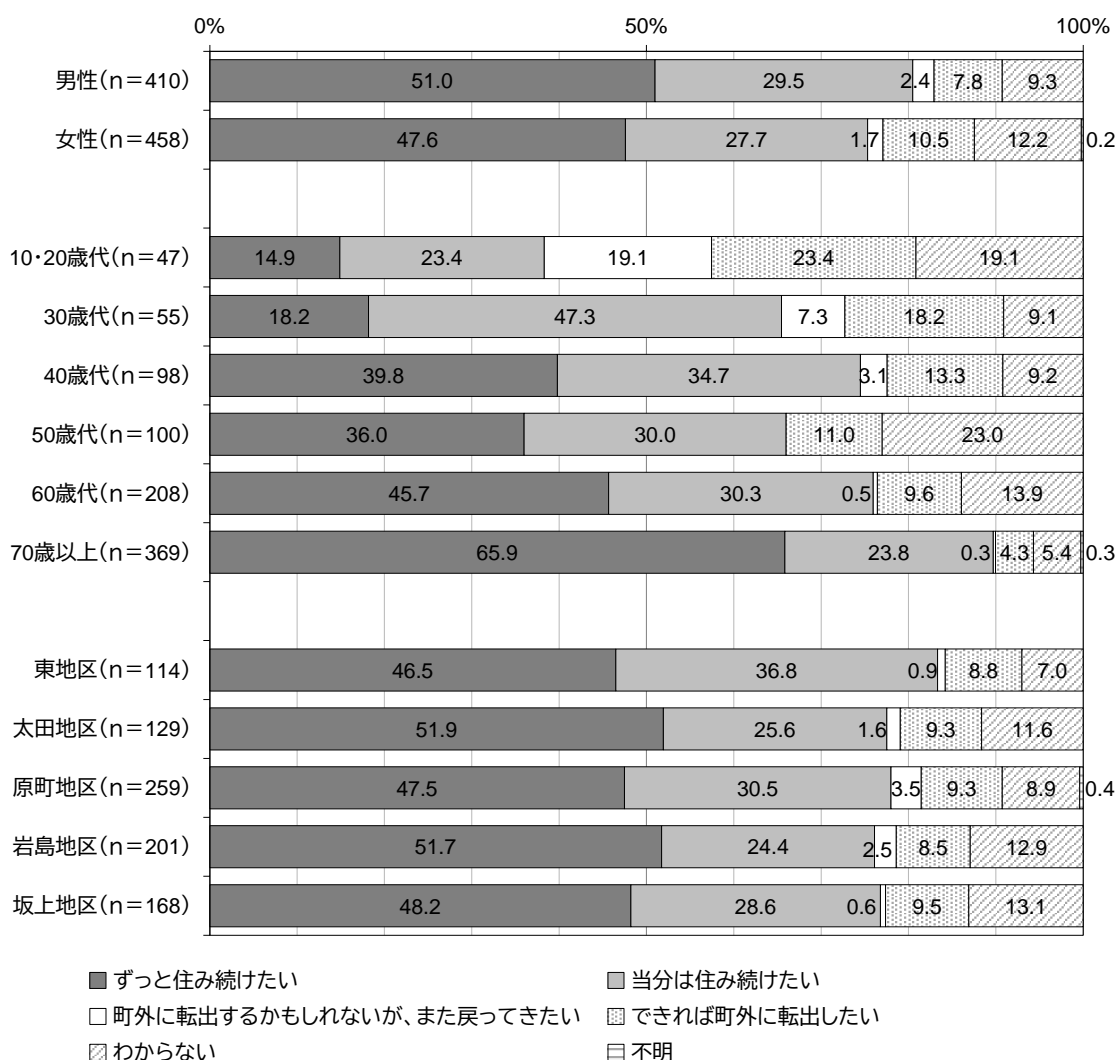
## 【属性別】

30歳代は「当分は」、10・20歳代は「当分は」と「できれば町外に転出」が高い  
 「ずっと住み続けたい」はおおむね高い年代ほど高い

性別による大きな差は見られません。

年代別では、30歳代は「当分は住み続けたい」（47.3%）が約5割で最も高く、10・20歳代は「当分は住み続けたい」と「できれば町外に転出したい」が同値（23.4%）で高く、2割以上となっています。40歳代以上は「ずっと住み続けたい」が最も高く、おおむね高い年代ほど高い傾向がうかがえます。

居住地区別による大きな差は見られませんが、その中で東地区は「当分は住み続けたい」（36.8%）が比較的高くなっています。



## 2 まちづくり施策の評価について

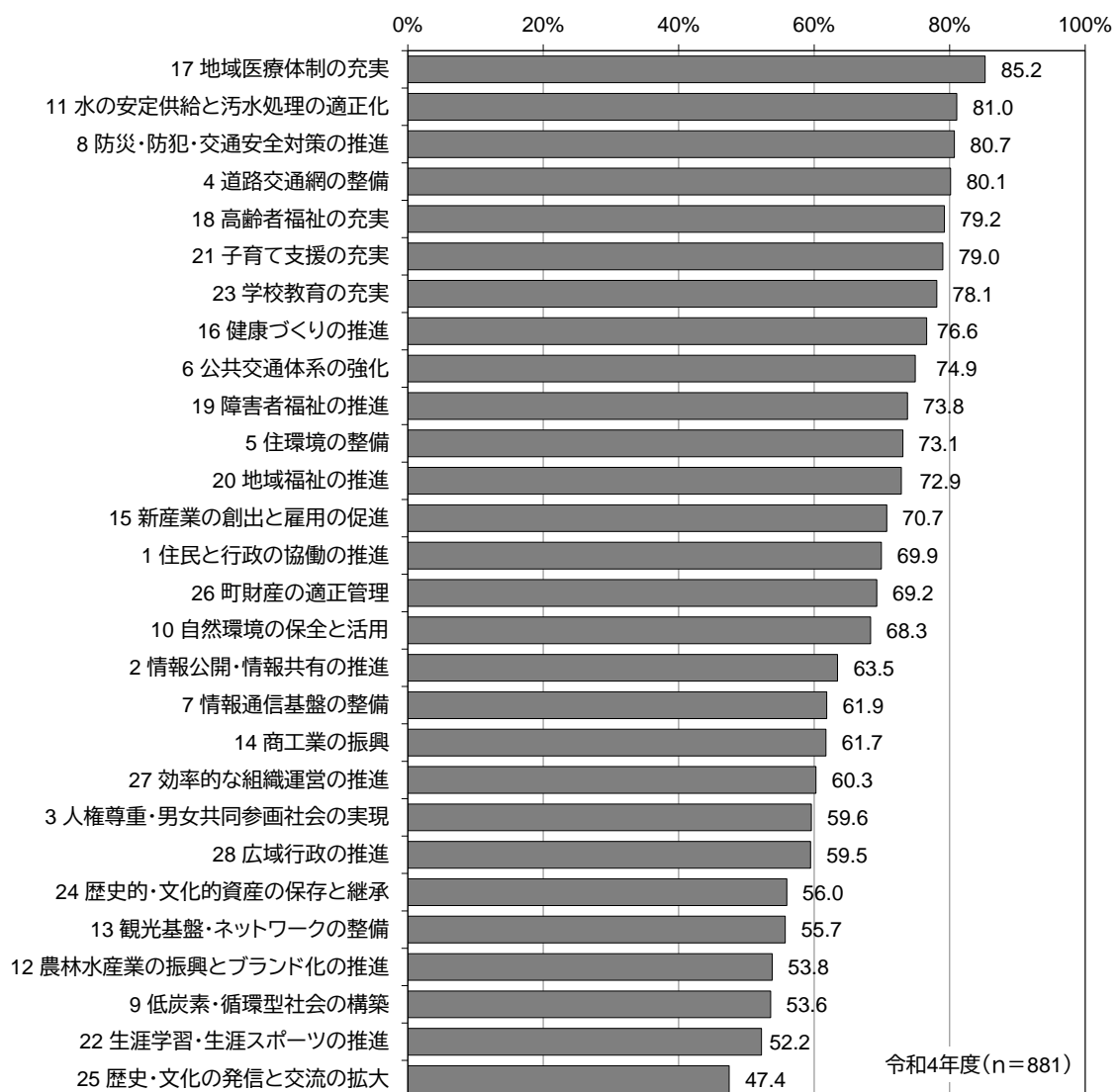
### 問3 町が現在取り組んでいるまちづくりの施策の重要度・満足度

施策項目ごとに「(1)重要度」「(2)満足度」について5段階でお答えください。  
(28項目〈総合計画前期計画の基本施策〉それぞれ1つに○)

#### (1) 重要度

「地域医療体制」「水供給と汚水処理」「防災・防犯・交通安全対策」「道路交通網」の4項目が8割以上

「重要」と「どちらかといえば重要」の合計値『重要』を見ると、「17 地域医療体制の充実」(85.2%)が最も高く、次いで「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」(81.0%)、「8 防災・防犯・交通安全対策の推進」(80.7%)、「4 道路交通網の整備」(80.1%)を合わせた4項目が8割以上となっています。



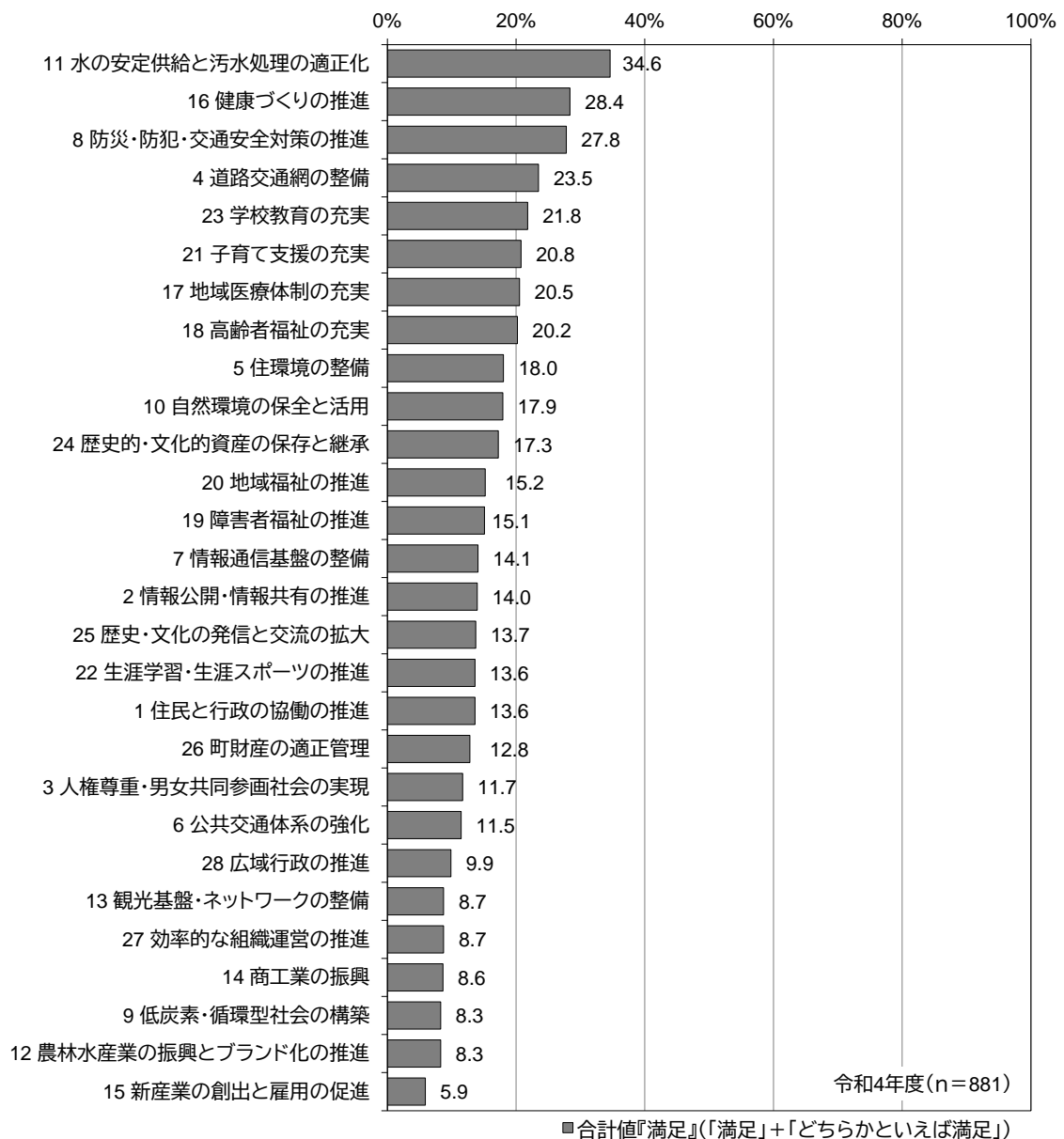
■合計値『重要』(「重要」+「どちらかといえば重要」)

## (2) 満足度

「水供給と汚水処理」が3割以上で最も高い

次いで「健康づくり」「防災・防犯・交通安全対策」が約3割

「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値『満足』を見ると、「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」(34.6%)が3割以上で最も高く、次いで「16 健康づくりの推進」(28.4%)、「8 防災・防犯・交通安全対策の推進」(27.8%)が約3割となっています。



### (3) 施策分野別 重要度・満足度

#### みんなで創る協働のまち - 住民と行政の協働

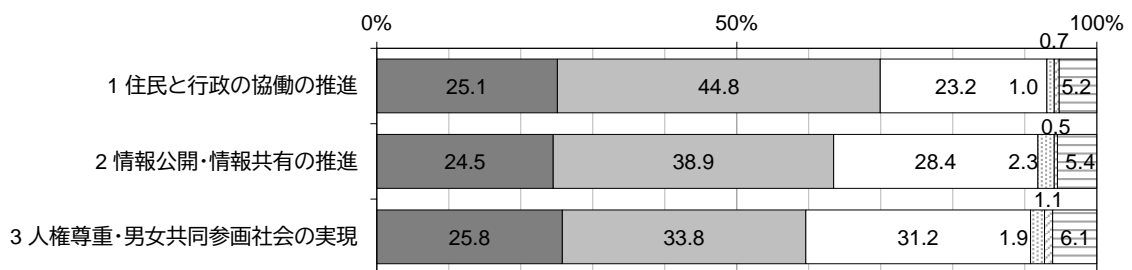
**重要度は「住民と行政の協働」が最も高い**

**満足度はいずれの項目も加重平均値がマイナス値**

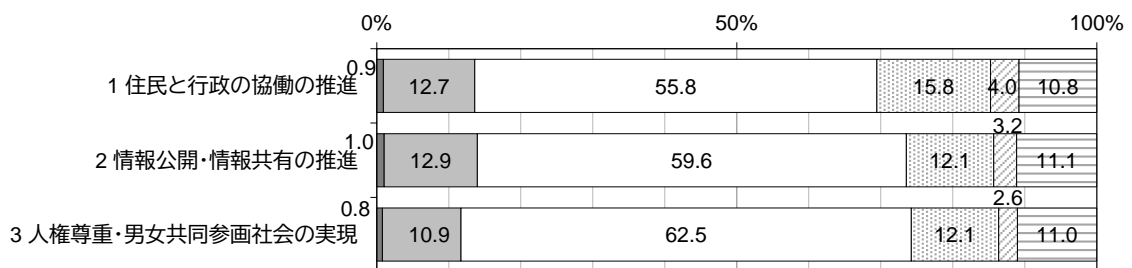
合計値『重要』は「1 住民と行政の協働の推進」(69.9%)が約7割で最も高く、次いで「2 情報公開・情報共有の推進」(59.6%)、「3 人権尊重・男女共同参画社会の実現」(59.6%)が約6割となっています。

合計値『満足』は、いずれの項目も1割以上で、項目による大きな差は見られません。

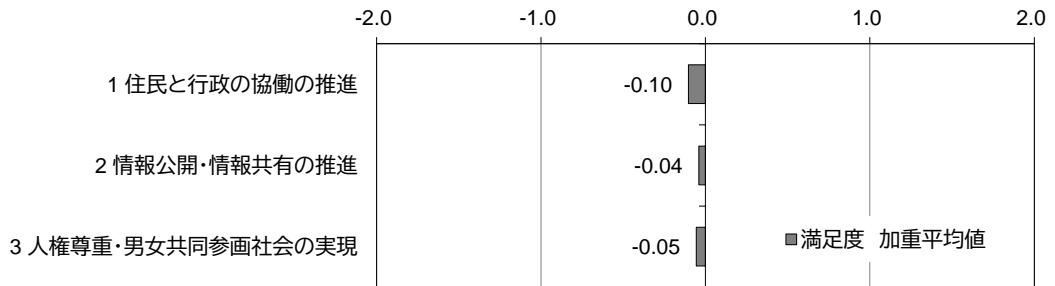
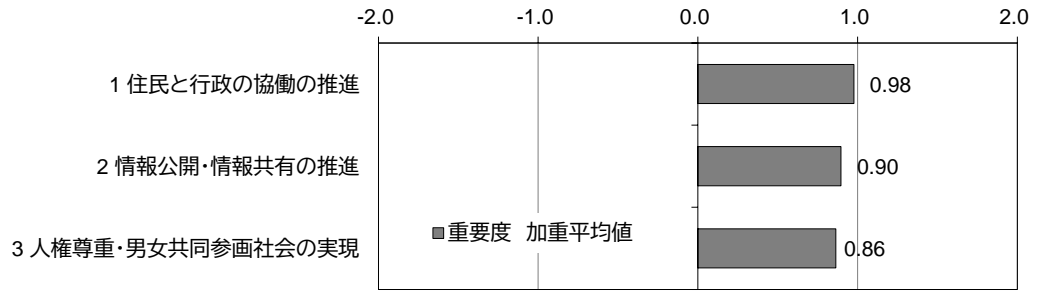
加重平均値\*を見ると、重要度・満足度とも、項目による大きな差は見られません。また、満足度はいずれもマイナス値となっています。



■ 重要 □ どちらかといえば重要 □ どちらともいえない ▨ どちらかといえば重要ではない ▩ 重要ではない □ 不明  
令和4年度(n=881)



■ 満足 □ どちらかといえば満足 □ どちらともいえない ▨ どちらかといえば不満 ▩ 不満 □ 不明  
令和4年度(n=881)



\*加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

## 安全で暮らしやすいまち - 社会基盤の整備

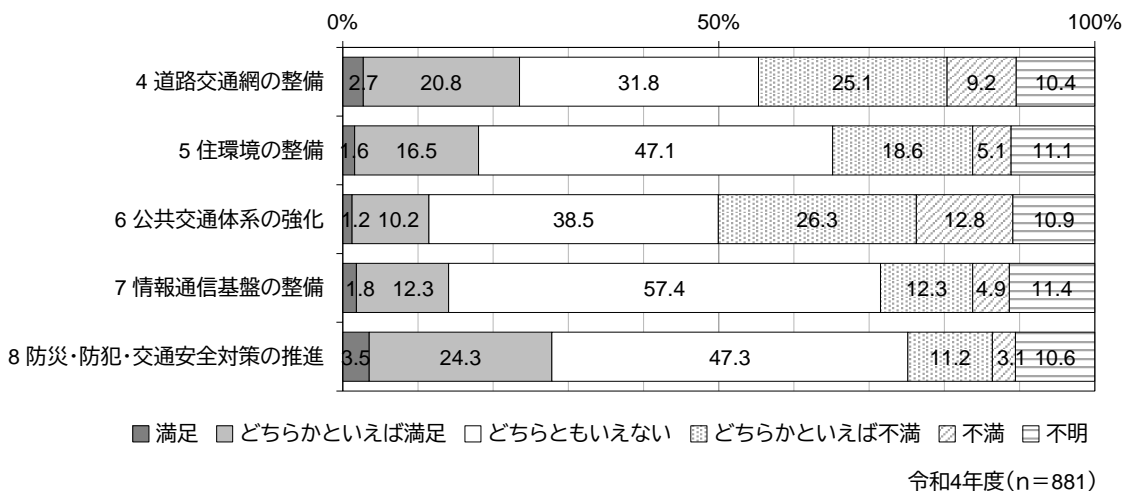
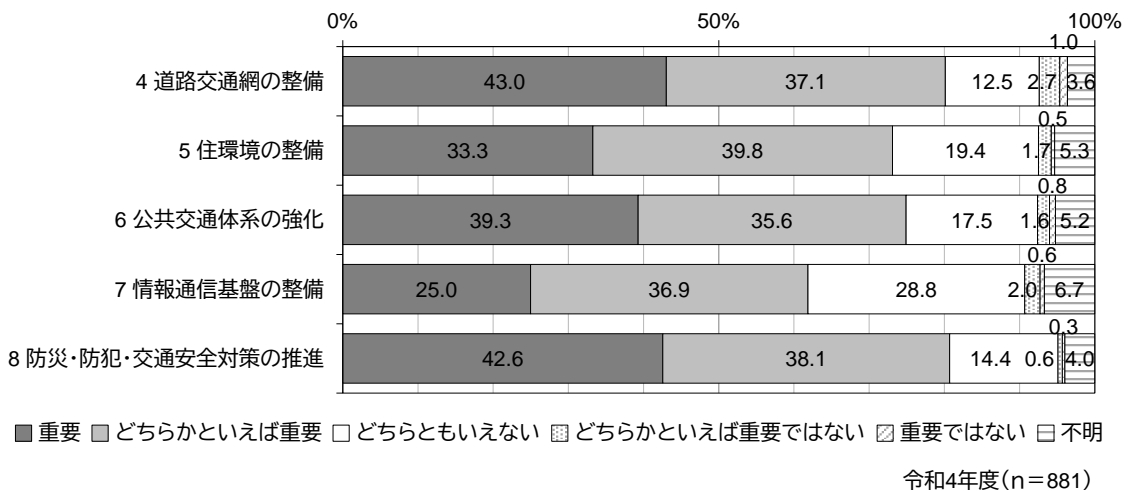
重要度は「情報通信基盤」が比較的低い

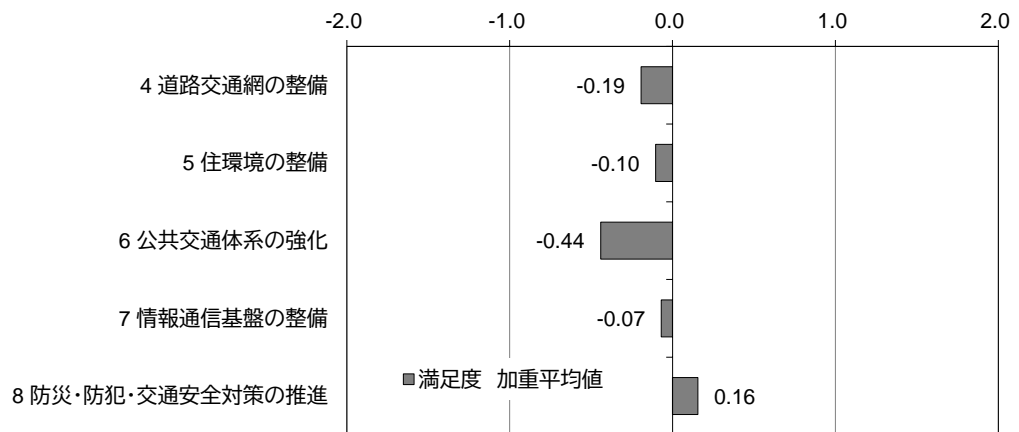
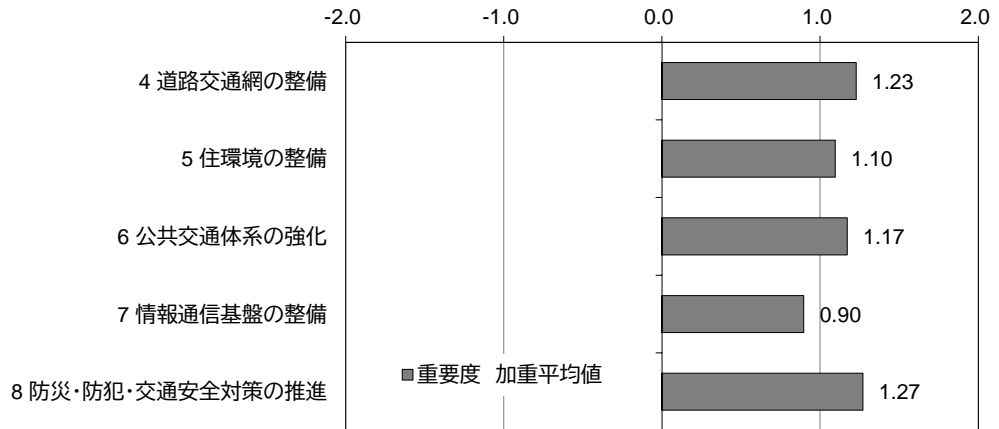
満足度は「防災・防犯・交通安全対策」を除き加重平均値がマイナス値で、「公共交通体系」が最も低い

合計値『重要』は「8 防災・防犯・交通安全対策の推進」(80.7%)、「4 道路交通網の整備」(80.1%)が8割以上、「6 公共交通体系の強化」(74.9%)、「5 住環境の整備」(73.1%)が7割以上、「7 情報通信基盤の整備」(61.9%)が6割以上となっています。

合計値『満足』は、「8 防災・防犯・交通安全対策の推進」(27.8%)が約3割で最も高く、次いで「4 道路交通網の整備」(23.5%)が2割以上、「5 住環境の整備」(18.0%)が約2割、「7 情報通信基盤の整備」(14.1%)、「6 公共交通体系の強化」(11.5%)が1割以上となっています。

加重平均値\*を見ると、重要度は「7 情報通信基盤の整備」(0.90ポイント)が比較的低くなっています。満足度は「8 防災・防犯・交通安全対策の推進」(0.16ポイント)を除きマイナス値となっており、その中でも「6 公共交通体系の強化」(-0.44ポイント)が低くなっています。





\*加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

## 自然と調和した暮らしができるまち - 生活環境の向上

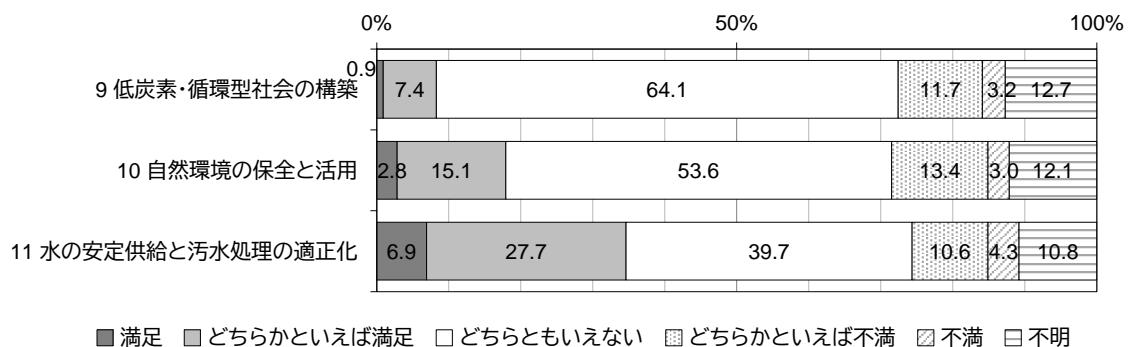
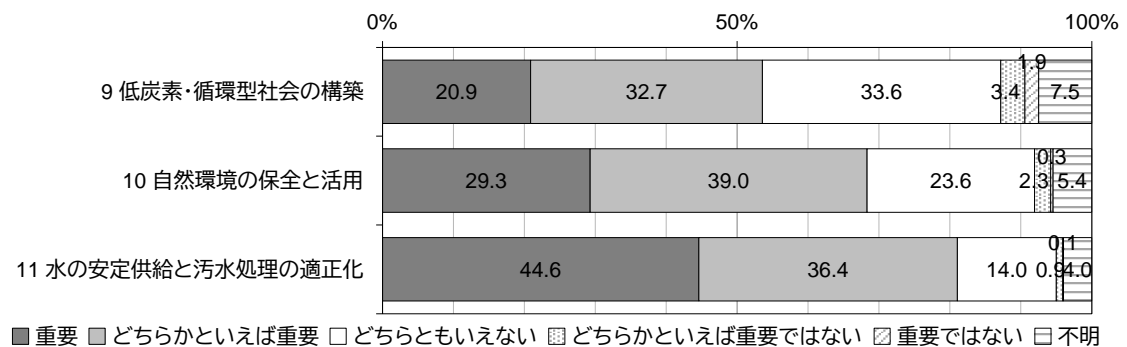
### 重要度・満足度とも「水供給と汚水処理」が最も高い

### 満足度は「低炭素・循環型社会」の加重平均値がマイナス値

合計値『重要』は「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」（81.0％）が 8 割以上で最も高く、次いで「10 自然環境の保全と活用」（68.3％）が約 7 割、「9 低炭素・循環型社会の構築」（53.6％）が 5 割以上となっています。

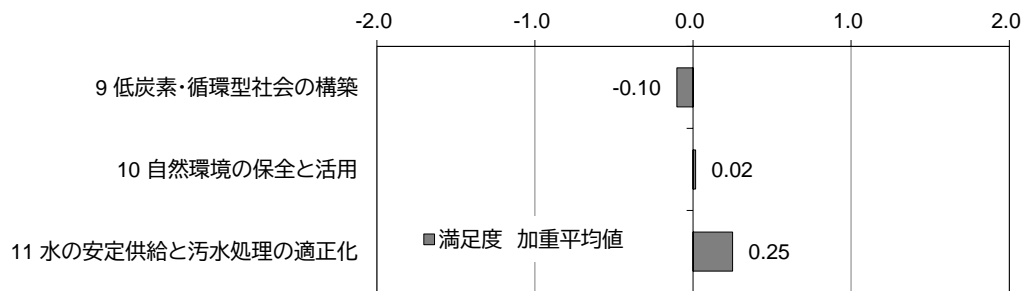
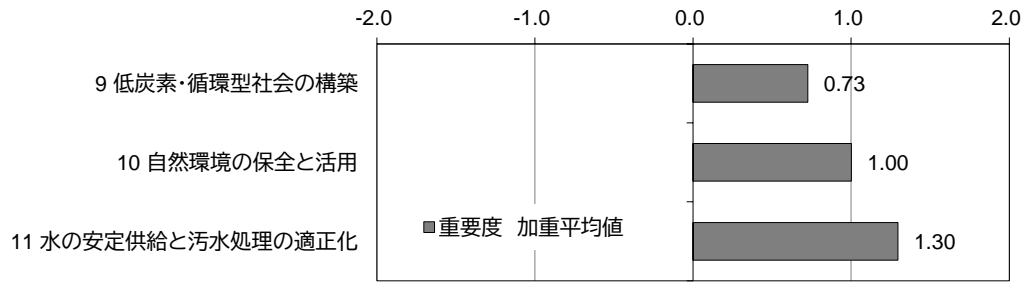
合計値『満足』は、「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」（34.6％）が 3 割以上で最も高く、次いで「10 自然環境の保全と活用」（17.9％）が約 2 割、「9 低炭素・循環型社会の構築」（8.3％）が約 1 割となっています。

加重平均値\*を見ると、重要度・満足度とも「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」（重要度 1.30 ポイント、満足度 0.25 ポイント）が最も高くなっています。また、「9 低炭素・循環型社会の構築」は満足度（-0.10 ポイント）のみマイナス値となっています。



令和4年度 (n=881)





\*加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

## 地域の恵みを活かした活力あるまち - 産業の振興

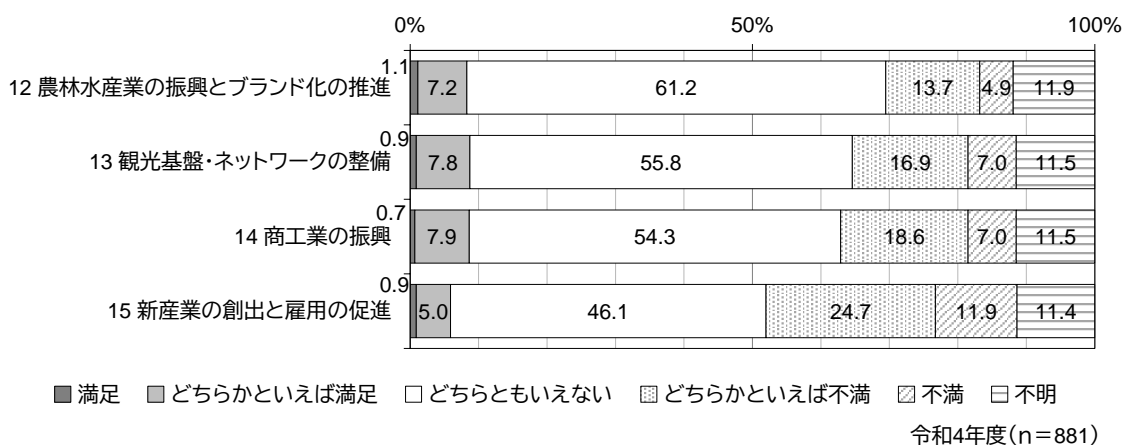
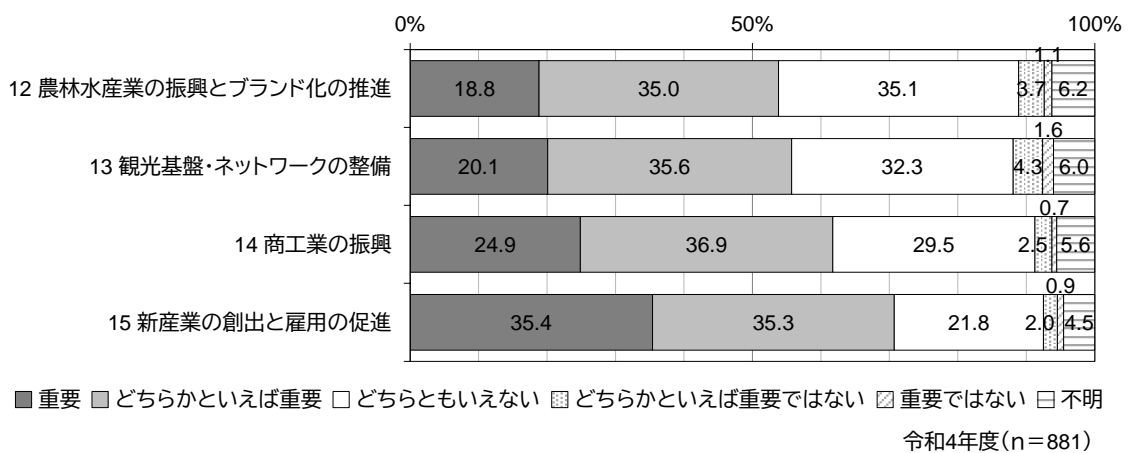
**重要度は「新産業と雇用」が最も高い**

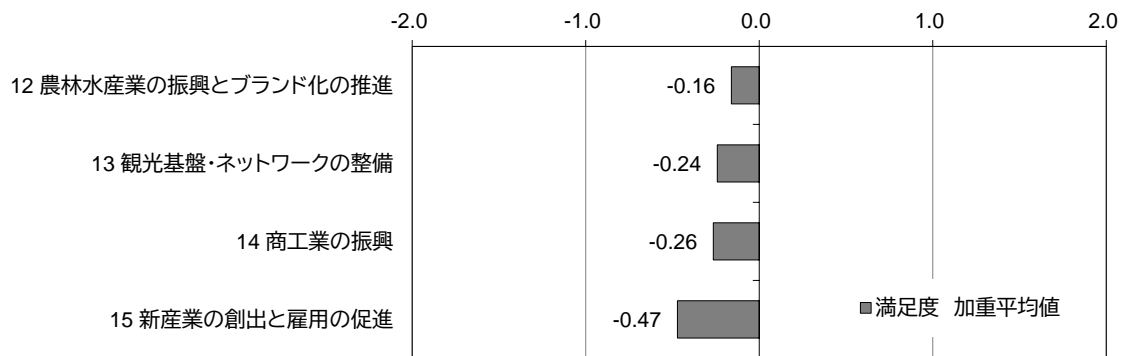
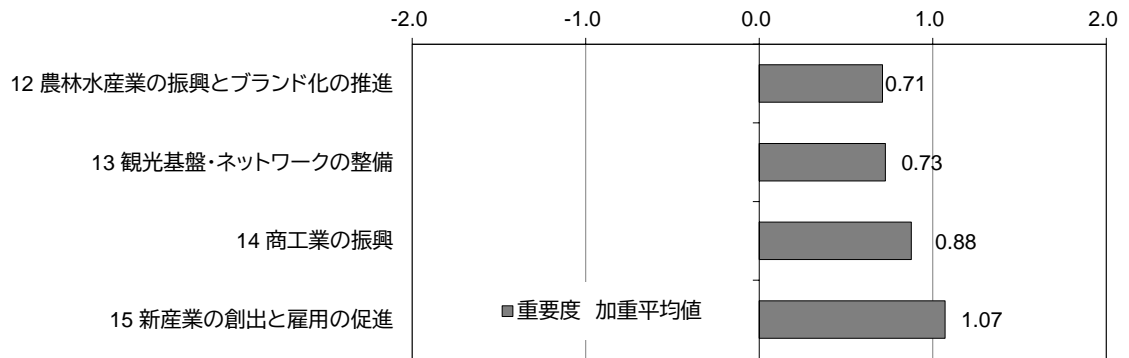
**満足度はいずれの項目も加重平均値がマイナス値で、「新産業創出と雇用促進」が最も低い**

合計値『重要』は「15 新産業の創出と雇用の促進」（70.7%）が7割以上で最も高く、次いで「14 商工業の振興」（61.7%）が6割以上、「13 観光基盤・ネットワークの整備」（55.7%）、「12 農林水産業の振興とブランド化の推進」（53.8%）が5割以上となっています。

合計値『満足』は、いずれの項目も1割未満で、項目による大きな差は見られません。

加重平均値\*を見ると、重要度は「15 新産業の創出と雇用の促進」（1.07ポイント）が最も高くなっています。満足度は、いずれの項目もマイナス値で、「15 新産業の創出と雇用の促進」（-0.47ポイント）が最も低くなっています。





\*加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

## 元気な声と笑顔があふれるまち - 保健・医療・福祉の充実

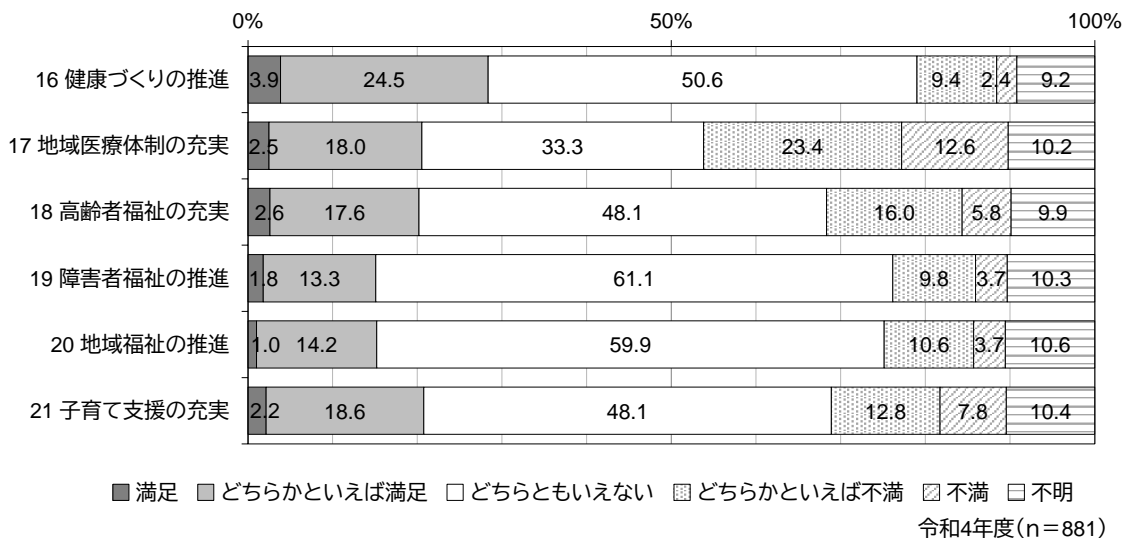
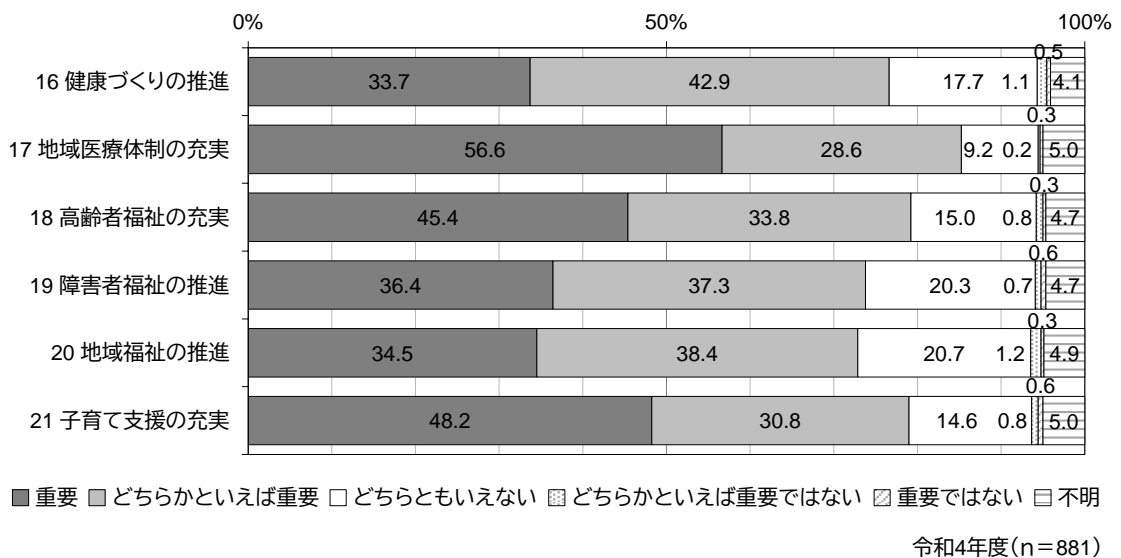
### 重要度は「地域医療体制」が最も高い

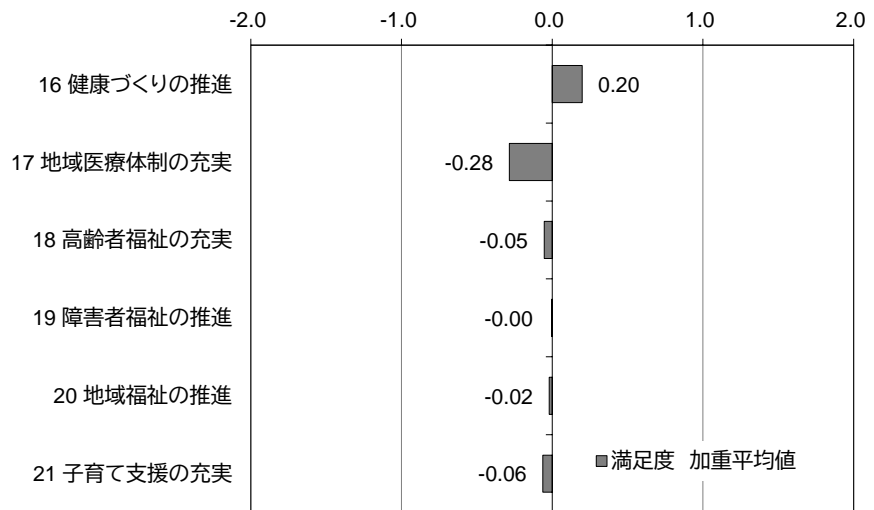
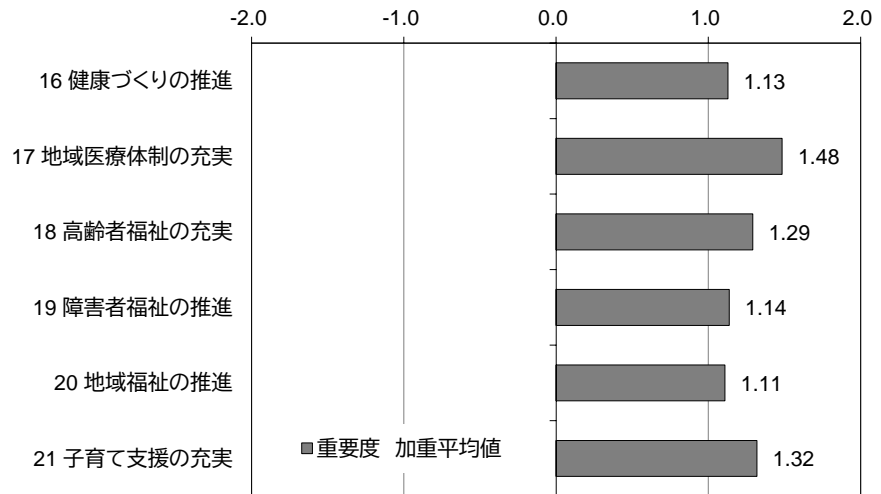
### 満足度は「健康づくり」を除き加重平均値がマイナス値

合計値『重要』は「17 地域医療体制の充実」（85.2％）が8割以上で最も高く、次いで他の項目がいずれも7割以上となっています。

合計値『満足』は「16 健康づくりの推進」（28.4％）が約3割で最も高く、次いで「17 地域医療体制の充実」「18 高齢者福祉の充実」「21 子育て支援の充実」が2割以上で同程度、「19 障害者福祉の推進」「20 地域福祉の推進」が1割以上で同程度となっています。

加重平均値\*を見ると、重要度は「17 地域医療体制の充実」（1.48ポイント）が最も高く、いずれの項目も1.0ポイント以上となっています。満足度は、「16 健康づくりの推進」（0.20ポイント）を除き、いずれの項目もマイナス値で、「17 地域医療体制の充実」（-0.28ポイント）が最も低くなっています。





\*加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

## 豊かな心を育む学びのまち - 教育・文化の充実

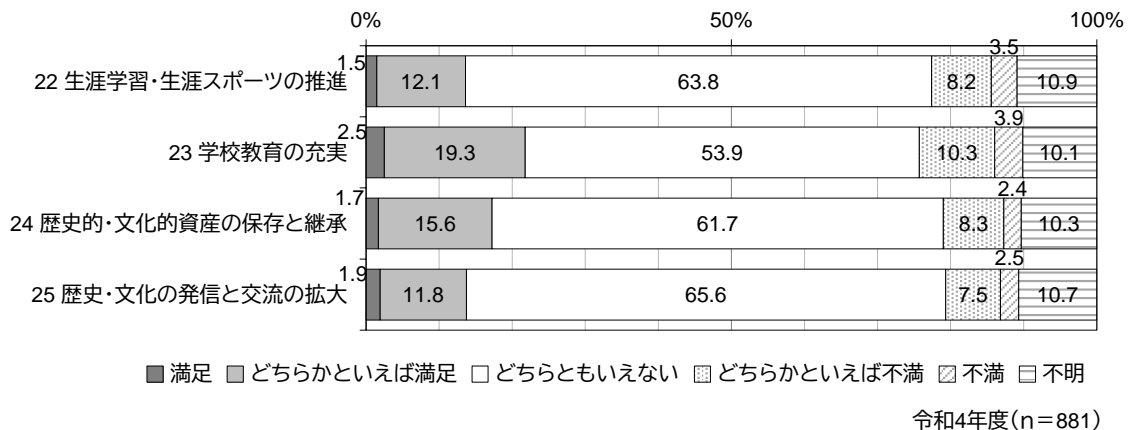
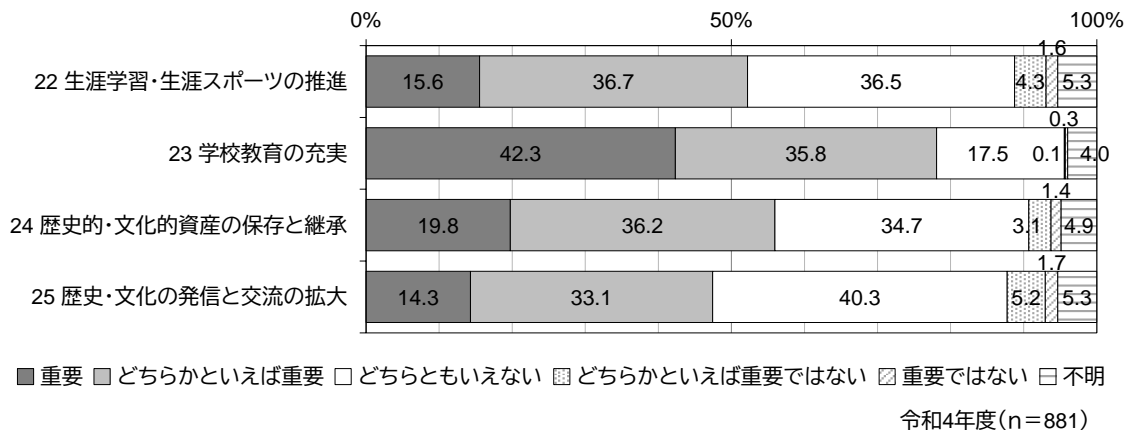
### 重要度は「学校教育」が最も高い

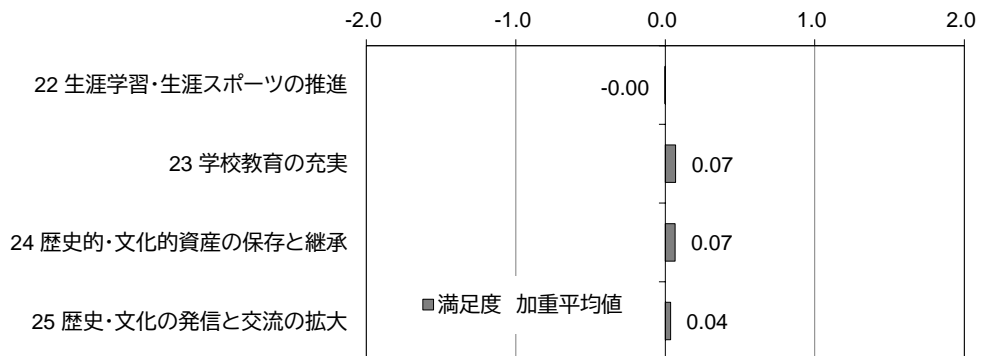
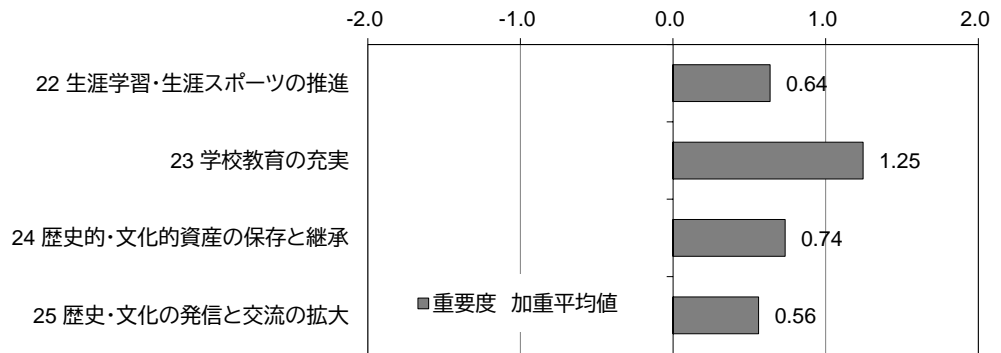
### 満足度は項目による大きな差は見られない

合計値『重要』は「23 学校教育の充実」(78.1%)が約8割で最も高く、次いで「24 歴史的・文化的資産の保存と継承」(56.0%)、「22 生涯学習・生涯スポーツの推進」(52.2%)が5割以上、「25 歴史・文化の発信と交流の拡大」(47.4%)が約5割となっています。

合計値『満足』は「23 学校教育の充実」(21.8%)が2割以上、「24 歴史的・文化的資産の保存と継承」(17.3%)が約2割、「25 歴史・文化の発信と交流の拡大」(13.7%)、「22 生涯学習・生涯スポーツの推進」(13.6%)が1割以上で同程度となっています。

加重平均値\*を見ると、重要度は「23 学校教育の充実」(1.25ポイント)が最も高くなっています。満足度は、項目による大きな差は見られません。





\*加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

## 健全財政に向け徹底した改革に取り組むまち - 行財政改革の推進

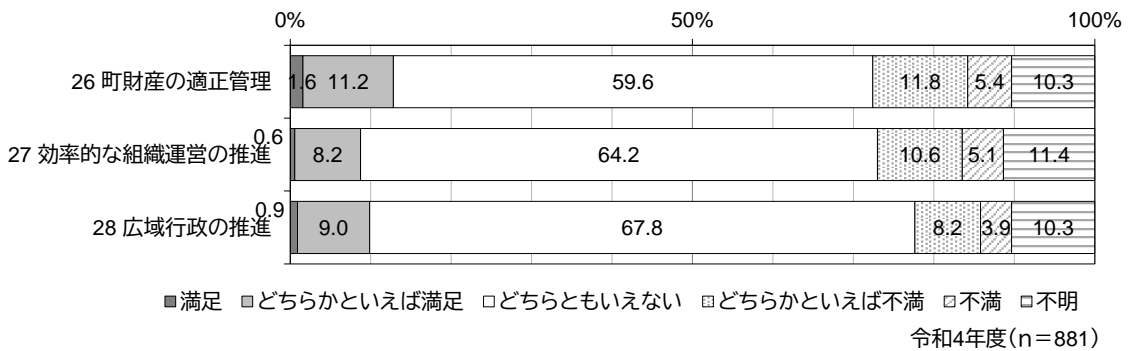
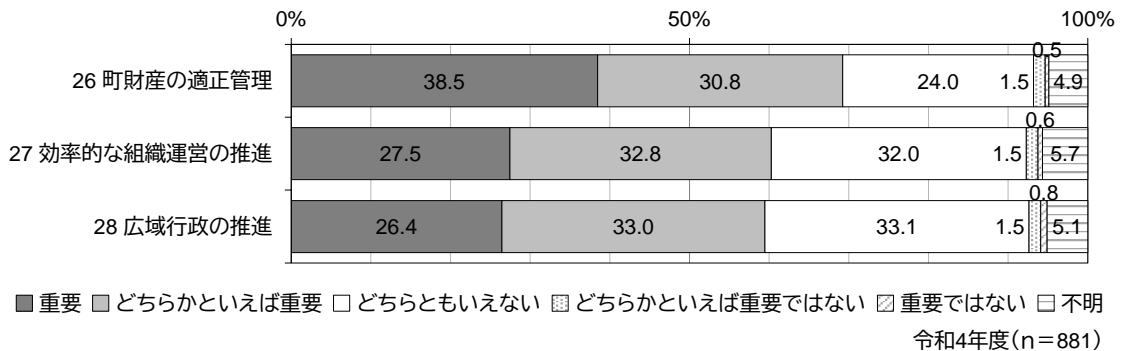
### 重要度は「町財産の適正管理」が最も高い

### 満足度はいずれの項目も加重平均値がマイナス値で大きな差は見られない

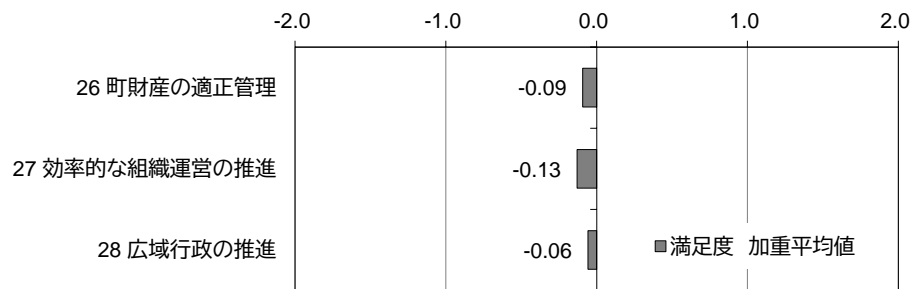
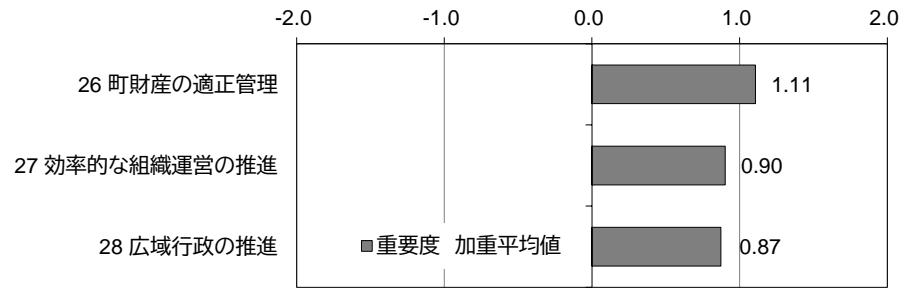
合計値『重要』は「26 町財産の適正管理」(69.2%)が約7割で最も高く、次いで「27 効率的な組織運営の推進」(60.3%)、「28 広域行政の推進」(59.5%)が約6割で同程度となっています。

合計値『満足』は「26 町財産の適正管理」(12.8%)が1割以上、「28 広域行政の推進」(9.9%)「27 効率的な組織運営の推進」(8.7%)が約1割で同程度となっています。

加重平均値\*を見ると、重要度は「26 町財産の適正管理」(1.11ポイント)が比較的高くなっています。満足度は項目による大きな差は見られず、いずれの項目もマイナス値となっています。







\*加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

#### (4) 重要度・満足度の関係

##### 「地域医療体制」「公共交通体系」「新産業と雇用」は早急な見直しが求められている

各項目の重要度と満足度の加重平均値をプロット図で示し、全項目平均値を基準として、全項目の中での相対的な位置について4つの象限で見ると、概ね以下のブロックに分類できます。

##### 安定・拡充ブロック

重要度・満足度ともに高く、施策の方向性と成果が住民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらなる拡充が求められています。

この分野の特徴的な項目として「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」があげられます。この施策は、満足度が最も高く、重要度も比較的高くなっています。また、「8 防災・防犯・交通安全対策の推進」「16 健康づくりの推進」「23 学校教育の充実」の3項目も重要度・満足度がともに高くなっています。

##### 早期見直しブロック

重要度が高い一方、満足度が低く、施策対応の緊急性が最も高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析とそれに基づく早急な施策の見直しが求められています。

この分野の特徴的な項目として「17 地域医療体制の充実」があげられます。この施策は重要度が最も高い一方、満足度が比較的低くなっています。また、「6 公共交通体系の強化」「15 新産業の創出と雇用の促進」は、満足度が特に低く、重要度は比較的高くなっており、住民の目に見える形で成果の周知や、事業展開の見直しが必要であることがうかがえます。

##### 現状維持ブロック

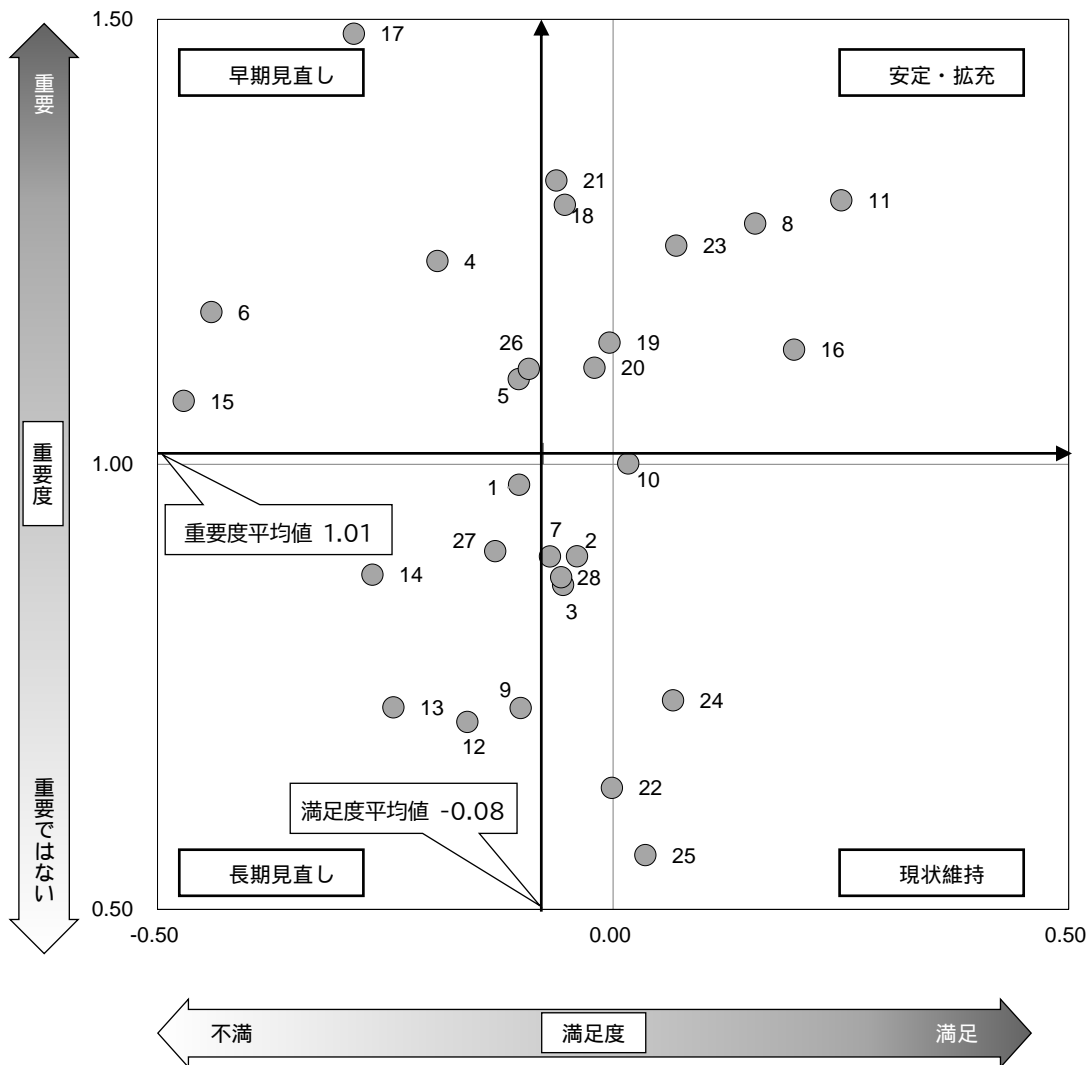
重要度が低い一方、満足度が高く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、その必要性の周知や、認識の共有を図ることが必要と考えられます。

この分野の特徴的な項目として「22 生涯学習・生涯スポーツの推進」「24 歴史的・文化的資産の保存と継承」「25 歴史・文化の発信と交流の拡大」の3項目があげられます。これらはいずれも施策分野「⑥豊かな心を育む学びのまち－教育・文化の充実」に該当します。

##### 長期見直しブロック

重要度・満足度ともに低く、住民に施策の必要性や、町としての具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と、町としての方向性・位置づけについて、住民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

この分野では特徴的な項目は見られませんが、施策分野「④地域の恵みを活かした活力あるまち－産業の振興」に該当する「12 農林水産業の振興とブランド化の推進」「13 観光基盤・ネットワークの整備」があげられます。



- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 住民と行政の協働の推進        | 15 新産業の創出と雇用の促進    |
| 2 情報公開・情報共有の推進       | 16 健康づくりの推進        |
| 3 人権尊重・男女共同参画社会の実現   | 17 地域医療体制の充実       |
| 4 道路交通網の整備           | 18 高齢者福祉の充実        |
| 5 住環境の整備             | 19 障害者福祉の推進        |
| 6 公共交通体系の強化          | 20 地域福祉の推進         |
| 7 情報通信基盤の整備          | 21 子育て支援の充実        |
| 8 防災・防犯・交通安全対策の推進    | 22 生涯学習・生涯スポーツの推進  |
| 9 低炭素・循環型社会の構築       | 23 学校教育の充実         |
| 10 自然環境の保全と活用        | 24 歴史的・文化的資産の保存と継承 |
| 11 水の安定供給と汚水処理の適正化   | 25 歴史・文化の発信と交流の拡大  |
| 12 農林水産業の振興とブランド化の推進 | 26 町財産の適正管理        |
| 13 観光基盤・ネットワークの整備    | 27 効率的な組織運営の推進     |
| 14 商工業の振興            | 28 広域行政の推進         |

## 【属性別】(加重平均値)

### 重要度

ほとんどの属性で「地域医療体制」が最も高く、「歴史・文化の発信と交流」が最も低い  
30歳代以下は「子育て支援」が最も高い

重要度について、加重平均値を見ると、ほとんどの属性で「17 地域医療体制の充実」が最も高くなっています。その中で、年代別では10・20歳代、30歳代は「21 子育て支援の充実」(それぞれ1.51ポイント、1.38ポイント)が最も高くなっています。

また、ほとんどの属性で「25 歴史・文化の発信と交流の拡大」が最も低くなっています。その中で、年代別では10・20歳代、40歳代は「9 低炭素・循環型社会の構築」(それぞれ0.62ポイント、0.56ポイント)、居住地区別では、東地区は「12 農林水産業の振興とブランド化の推進」(0.58ポイント)が最も低くなっています(40歳代は「9 低炭素・循環型社会の構築」「25 歴史・文化の発信と交流の拡大」が0.56ポイントで同値)。

### 満足度

ほとんどの属性で「水の安定供給と汚水処理」が最も高く、「公共交通体系」「新産業と雇用」が低い

10・20歳代と50歳代は「防災・防犯・交通安全対策」が最も高く、70歳以上は「水の安定供給と汚水処理」「健康づくり」が同値

満足度は、ほとんどの属性で「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」が最も高くなっています。その中で、年代別では10・20歳代、50歳代は「8 防災・防犯・交通安全対策の推進」(それぞれ0.51ポイント、0.06ポイント)、70歳以上は「16 健康づくりの推進」(0.36ポイント)が「11 水の安定供給と汚水処理の適正化」と同値で高くなっています。

また、ほとんどの属性で「6 公共交通体系の強化」「15 新産業の創出と雇用の促進」のいずれかが最も低くなっています。その中で、年代別では、30歳代は「17 地域医療体制の充実」(-0.53ポイント)が最も低くなっています。

## 重要度（加重平均値）

	全体	男性	女性	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
1 住民と行政の協働の推進	0.98	0.99	0.95	0.74	0.91	0.98	0.82	1.00	1.05	0.99	1.01	0.96	0.96	1.00
2 情報公開・情報共有の推進	0.90	0.93	0.87	0.79	0.71	0.97	0.85	0.98	0.89	0.80	0.96	0.90	0.96	0.84
3 人権尊重・男女共同参画社会の実現	0.86	0.81	0.90	0.87	0.84	0.88	0.82	0.90	0.86	0.89	0.93	0.82	0.90	0.83
4 道路交通網の整備	1.23	1.23	1.23	1.13	1.18	1.35	1.24	1.21	1.23	1.21	1.28	1.15	1.18	1.40
5 住環境の整備	1.10	1.05	1.14	1.30	1.20	1.19	1.13	1.12	1.00	1.14	1.23	1.02	1.11	1.10
6 公共交通体系の強化	1.17	1.10	1.23	1.30	1.04	1.17	1.19	1.13	1.20	1.18	1.19	1.10	1.13	1.30
7 情報通信基盤の整備	0.90	0.91	0.89	0.98	0.94	1.00	0.80	1.02	0.80	0.90	0.91	0.85	0.92	0.94
8 防災・防犯・交通安全対策の推進	1.27	1.22	1.32	1.21	1.25	1.36	1.13	1.36	1.25	1.27	1.38	1.25	1.24	1.26
9 低炭素・循環型社会の構築	0.73	0.66	0.79	0.62	0.64	0.56	0.68	0.71	0.83	0.72	0.75	0.78	0.65	0.71
10 自然環境の保全と活用	1.00	0.98	1.02	1.02	1.00	0.94	0.85	1.05	1.03	1.06	1.02	1.06	0.89	0.99
11 水の安定供給と汚水処理の適正化	1.30	1.28	1.31	1.23	1.18	1.19	1.14	1.33	1.38	1.27	1.39	1.31	1.27	1.29
12 農林水産業の振興とブランド化の推進	0.71	0.75	0.67	0.64	0.56	0.70	0.63	0.75	0.75	0.58	0.72	0.69	0.75	0.79
13 観光基盤・ネットワークの整備	0.73	0.71	0.75	1.09	0.53	0.81	0.71	0.68	0.72	0.69	0.73	0.68	0.77	0.78
14 商工業の振興	0.88	0.88	0.88	0.98	0.69	0.97	0.89	0.90	0.85	0.72	0.95	0.85	0.91	0.94
15 新産業の創出と雇用の促進	1.07	1.10	1.04	0.96	0.93	1.12	1.07	1.14	1.05	0.93	1.13	1.03	1.07	1.21
16 健康づくりの推進	1.13	1.07	1.19	1.06	0.85	1.08	1.00	1.14	1.23	1.05	1.14	1.10	1.20	1.16
17 地域医療体制の充実	1.48	1.38	1.58	1.34	1.36	1.56	1.55	1.52	1.47	1.43	1.50	1.48	1.53	1.46
18 高齢者福祉の充実	1.29	1.19	1.38	1.00	1.09	1.23	1.30	1.31	1.37	1.16	1.32	1.34	1.28	1.30
19 障害者福祉の推進	1.14	1.03	1.23	1.02	0.93	1.19	1.06	1.15	1.19	1.01	1.21	1.16	1.13	1.13
20 地域福祉の推進	1.11	0.99	1.21	1.15	0.98	1.06	1.02	1.10	1.17	1.05	1.15	1.15	1.06	1.11
21 子育て支援の充実	1.32	1.29	1.34	1.51	1.38	1.48	1.12	1.26	1.33	1.32	1.35	1.28	1.36	1.30
22 生涯学習・生涯スポーツの推進	0.64	0.56	0.70	0.87	0.47	0.61	0.43	0.56	0.75	0.82	0.61	0.60	0.61	0.63
23 学校教育の充実	1.25	1.21	1.28	1.30	1.27	1.32	1.09	1.18	1.30	1.30	1.31	1.21	1.23	1.24
24 歴史的・文化的資産の保存と継承	0.74	0.70	0.76	0.83	0.53	0.72	0.61	0.65	0.85	0.80	0.65	0.76	0.74	0.71
25 歴史・文化の発信と交流の拡大	0.56	0.52	0.58	0.70	0.33	0.56	0.40	0.49	0.68	0.65	0.46	0.56	0.55	0.57
26 町財産の適正管理	1.11	1.07	1.14	0.98	0.91	1.08	1.01	1.00	1.26	1.02	1.10	1.14	1.18	1.05
27 効率的な組織運営の推進	0.90	0.93	0.87	0.98	0.89	0.95	0.75	0.85	0.96	0.86	0.88	0.94	0.88	0.93
28 広域行政の推進	0.87	0.86	0.89	0.87	0.64	0.79	0.74	0.79	1.03	0.88	0.85	0.92	0.81	0.90

※濃色網掛け数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け数字は最も低い値を示す

## 満足度（加重平均値）

	全体	男性	女性	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
1 住民と行政の協働の推進	-0.10	-0.10	-0.11	-0.04	-0.17	-0.18	-0.18	-0.20	0.01	-0.04	-0.03	-0.14	-0.13	-0.09
2 情報公開・情報共有の推進	-0.04	-0.04	-0.04	0.04	-0.11	-0.04	-0.13	-0.12	0.04	-0.11	0.06	-0.06	-0.08	0.05
3 人権尊重・男女共同参画社会の実現	-0.05	0.02	-0.12	-0.04	-0.18	-0.09	-0.09	-0.10	0.02	0.00	0.01	-0.08	-0.12	-0.01
4 道路交通網の整備	-0.19	-0.18	-0.19	-0.11	0.02	-0.29	-0.31	-0.32	-0.10	-0.03	-0.28	-0.11	-0.12	-0.43
5 住環境の整備	-0.10	-0.10	-0.10	-0.04	-0.20	-0.14	-0.28	-0.18	0.02	-0.12	-0.07	-0.01	-0.07	-0.29
6 公共交通体系の強化	-0.44	-0.39	-0.47	-0.40	-0.41	-0.53	-0.70	-0.46	-0.33	-0.38	-0.53	-0.37	-0.41	-0.55
7 情報通信基盤の整備	-0.07	-0.10	-0.03	-0.04	-0.25	-0.17	-0.14	-0.13	0.05	-0.03	-0.10	-0.10	-0.08	0.01
8 防災・防犯・交通安全対策の推進	0.16	0.15	0.17	0.51	0.04	0.08	0.06	-0.01	0.28	0.20	0.15	0.14	0.17	0.16
9 低炭素・循環型社会の構築	-0.10	-0.10	-0.10	0.11	-0.20	-0.14	-0.16	-0.15	-0.05	-0.11	-0.06	-0.09	-0.16	-0.06
10 自然環境の保全と活用	0.02	-0.02	0.06	0.28	0.13	0.02	0.00	-0.14	0.06	0.09	0.14	0.02	-0.07	-0.01
11 水の安定供給と汚水処理の適正化	0.25	0.25	0.25	0.40	0.33	0.27	0.05	0.11	0.36	0.29	0.30	0.22	0.27	0.23
12 農林水産業の振興とブランド化の推進	-0.16	-0.19	-0.13	-0.06	-0.18	-0.22	-0.10	-0.22	-0.13	-0.14	-0.09	-0.15	-0.23	-0.14
13 観光基盤・ネットワークの整備	-0.24	-0.21	-0.27	-0.17	-0.26	-0.32	-0.39	-0.34	-0.11	-0.13	-0.22	-0.33	-0.28	-0.13
14 商工業の振興	-0.26	-0.27	-0.25	-0.11	-0.25	-0.35	-0.32	-0.30	-0.22	-0.19	-0.23	-0.29	-0.26	-0.32
15 新産業の創出と雇用の促進	-0.47	-0.53	-0.41	-0.17	-0.40	-0.58	-0.60	-0.56	-0.40	-0.37	-0.53	-0.54	-0.42	-0.44
16 健康づくりの推進	0.20	0.15	0.24	0.23	0.05	0.10	0.03	0.09	0.36	0.20	0.24	0.17	0.23	0.18
17 地域医療体制の充実	-0.28	-0.27	-0.31	-0.06	-0.53	-0.54	-0.68	-0.45	0.04	-0.27	-0.40	-0.27	-0.20	-0.30
18 高齢者福祉の充実	-0.05	-0.05	-0.05	0.23	-0.09	-0.10	-0.24	-0.26	0.11	0.01	-0.10	-0.01	-0.08	-0.08
19 障害者福祉の推進	0.00	-0.01	0.00	0.17	-0.02	-0.07	-0.12	-0.13	0.11	-0.03	-0.01	0.00	-0.03	0.06
20 地域福祉の推進	-0.02	-0.01	-0.03	0.21	-0.11	-0.04	-0.12	-0.18	0.09	-0.01	0.00	-0.07	-0.02	0.04
21 子育て支援の充実	-0.06	-0.15	0.01	-0.04	-0.24	-0.32	-0.11	-0.17	0.13	-0.13	0.07	-0.03	-0.18	-0.02
22 生涯学習・生涯スポーツの推進	0.00	-0.04	0.03	-0.11	0.00	-0.10	0.00	-0.09	0.10	0.01	0.03	-0.06	0.01	0.08
23 学校教育の充実	0.07	0.08	0.06	0.09	-0.16	0.00	-0.02	-0.03	0.22	0.03	0.10	0.06	0.09	0.06
24 歴史的・文化的資産の保存と継承	0.07	0.03	0.09	0.32	0.09	0.03	0.04	0.01	0.08	0.07	0.07	0.02	0.07	0.13
25 歴史・文化の発信と交流の拡大	0.04	0.02	0.05	0.21	-0.02	-0.02	0.00	-0.03	0.09	0.09	0.05	-0.01	0.02	0.06
26 町財産の適正管理	-0.09	-0.15	-0.04	0.00	-0.02	-0.10	-0.20	-0.25	0.02	-0.05	-0.05	-0.10	-0.13	-0.10
27 効率的な組織運営の推進	-0.13	-0.19	-0.07	-0.13	-0.16	-0.09	-0.21	-0.23	-0.04	-0.11	-0.08	-0.15	-0.12	-0.16
28 広域行政の推進	-0.06	-0.13	0.01	-0.02	-0.04	-0.06	-0.13	-0.17	0.03	-0.03	0.03	-0.07	-0.08	-0.10

※濃色網掛け数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け数字は最も低い値を示す

#### 問4 ひがしあがつま創生会議の認知度

町は、町民と行政との協働を進めるため、平成31年4月に「まちづくり参加条例」を施行しました。この条例に基づき、公募に応募した町民や地域代表者、町内産業界などで組織する「ひがしあがつま創生会議」を設置して、まちづくりの施策への町民の視点での評価や、総合計画の策定などに取り組んでいます。

あなたは、「ひがしあがつま創生会議」を知っていますか。(1つに○)

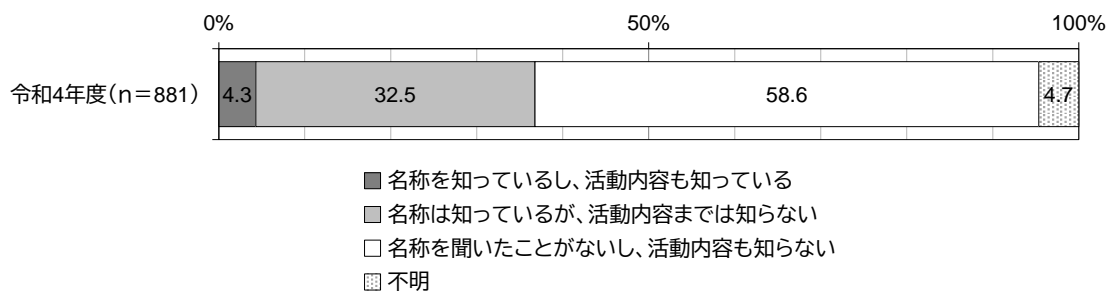
合計値『知っている』は約4割

「名称を聞いたことがないし、活動内容も知らない」が約6割で最も高い

「活動内容も知っている」は1割未満

「名称を聞いたことがないし、活動内容も知らない」(58.6%)が約6割で最も高く、次いで「名称は知っているが、活動内容までは知らない」(32.5%)が3割以上となっています。

「名称を知っているし、活動内容も知っている」(4.3%)と「名称は知っているが、活動内容までは知らない」の合計値『知っている』(36.8%)は約4割となっています。



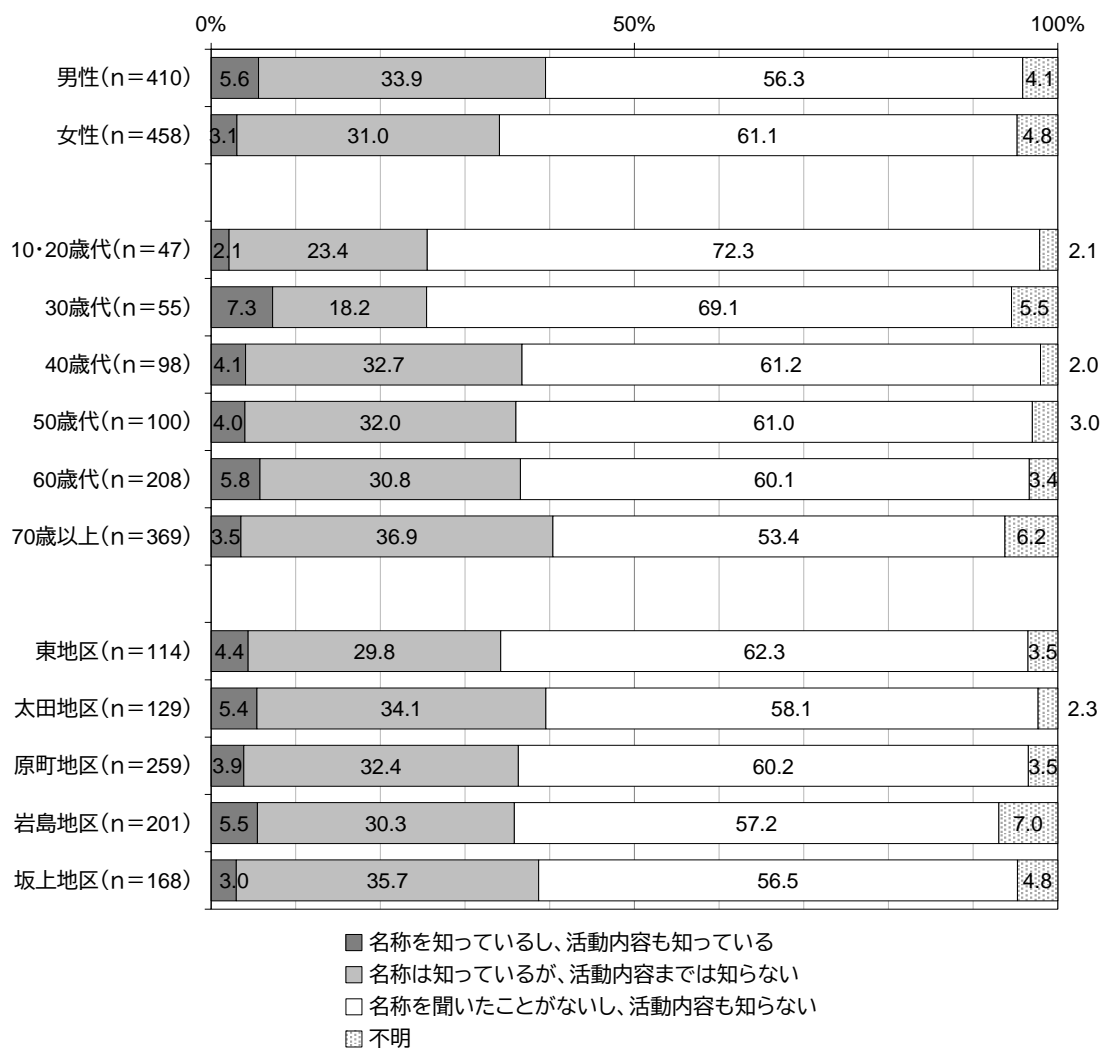
## 【属性別】

### 合計値『知っている』は30歳代以下が3割未満で低い

性別による大きな差は見られません。

年代別では、「名称を知っているし、活動内容も知っている」は年代による大きな差は見られませんが、その中で、30歳代（7.3%）は約1割で比較的高くなっています。合計値『知っている』は、10・20歳代、30歳代（25.5%で同値）は3割未満、40歳代以上はいずれも約4割となっており、30歳代以下が低くなっています。

居住地区による大きな差は見られません。





## 問5 町の行政サービスについて

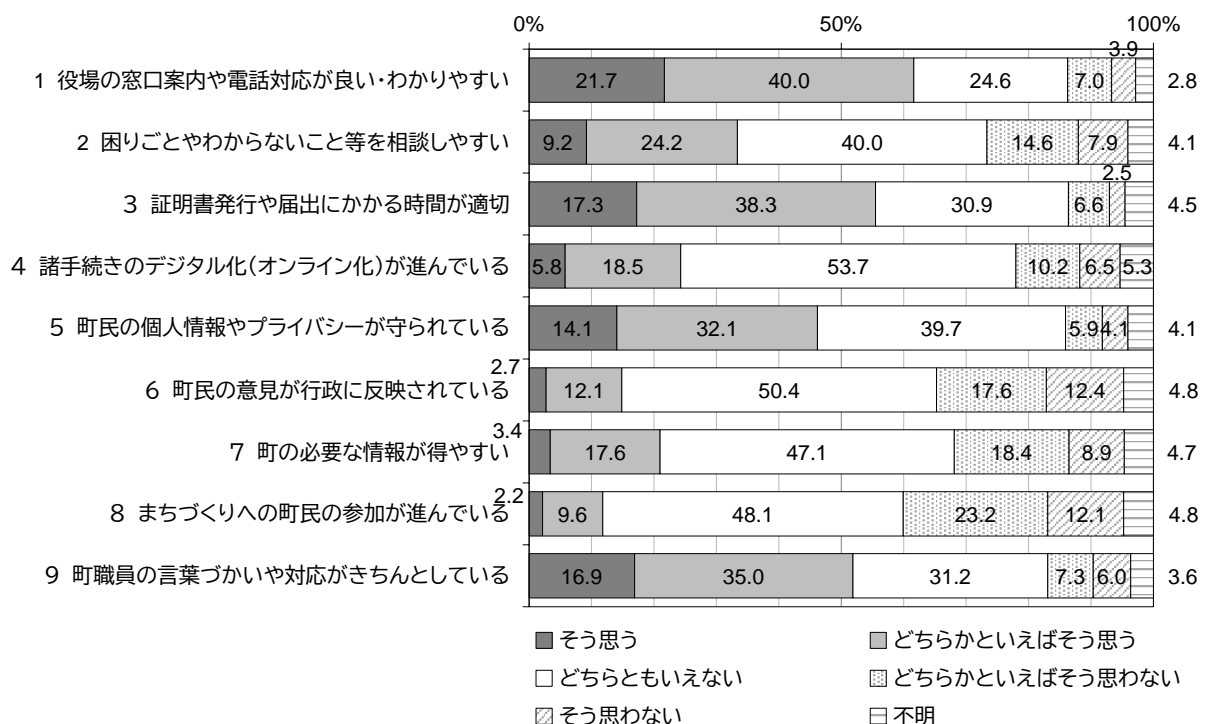
あなたは、町の行政サービスについてどう思いますか。(9項目それぞれ1つに○)

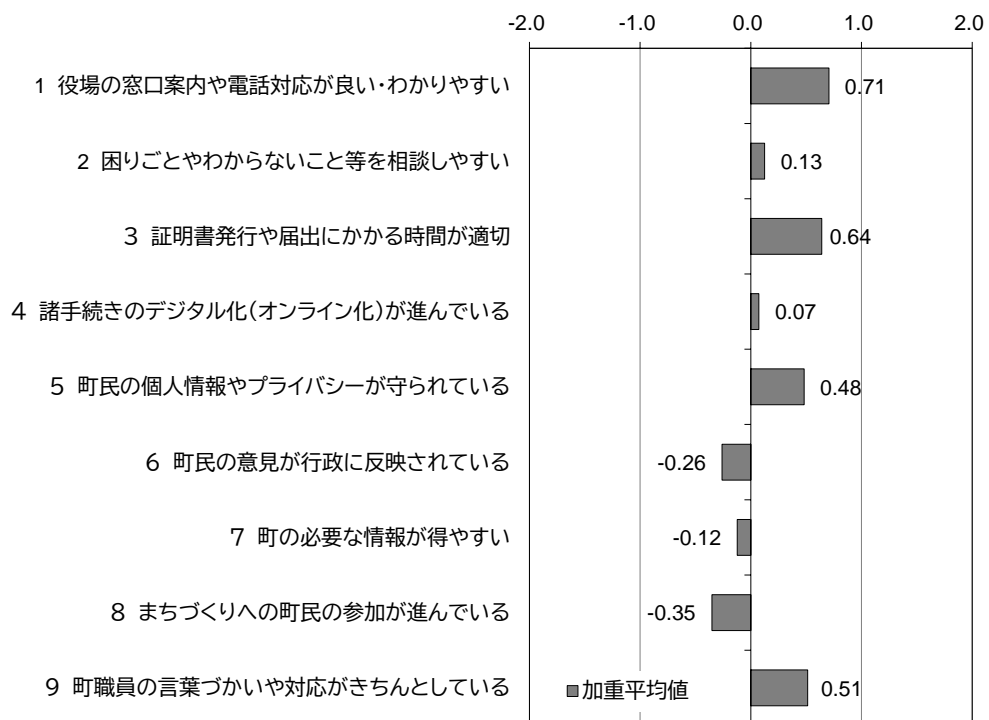
「役場窓口の案内・電話対応」「証明書発行や届出の時間」「職員の言葉づかいや対応」「個人情報やプライバシー」の評価が比較的高い

「まちづくりへの町民参加」「町民意見の行政への反映」「必要な情報」の3項目は加重平均値がマイナス値

「そう思う」は「1 役場の窓口案内や電話対応が良い・わかりやすい」(21.7%)が2割以上、「3 証明書発行や届出にかかる時間が適切」(17.3%)、「9 町職員の言葉づかいや対応がきちんとしている」(16.9%)が約2割で比較的高くなっています。

加重平均値\*を見ると、「1 役場の窓口案内や電話対応が良い・わかりやすい」(0.71ポイント)が最も高く、「3 証明書発行や届出にかかる時間が適切」(0.64ポイント)、「9 町職員の言葉づかいや対応がきちんとしている」(0.51ポイント)、「5 町民の個人情報やプライバシーが守られている」(0.48ポイント)が比較的高くなっています。一方、「6 町民の意見が行政に反映されている」(-0.26ポイント)、「7 町の必要な情報が得やすい」(-0.12ポイント)、「8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる」(-0.35ポイント)はマイナス値となっています。





\*加重平均値：「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらともいえない」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほど肯定されていると考えられる

## 【属性別】(加重平均値)

10・20歳代は「個人情報やプライバシー」、30～50歳代、太田地区、岩島地区は「証明書発行や届出の時間」が最も高い

ほとんどの属性で「まちづくりへの町民参加」が最も低い

加重平均値を見ると、性別による大きな差は見られませんが、最も高い「1 役場の窓口案内や電話対応が良い・わかりやすい」は女性（0.72 ポイント）が男性（0.67 ポイント）より高く、最も低い「8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる」は男性（-0.40 ポイント）が女性（-0.31 ポイント）より低くなっています。

年代別では、10・20歳代は「5 町民の個人情報やプライバシーが守られている」（0.70 ポイント）、30・40・50歳代は「3 証明書発行や届出にかかる時間が適切」（それぞれ0.51 ポイント、0.49 ポイント、0.57 ポイント）、60歳代・70歳以上は「1 役場の窓口案内や電話対応が良い・わかりやすい」（それぞれ0.57 ポイント、1.00 ポイント）が最も高くなっています。また、いずれの項目も70歳以上が最も高くなっています（「5 町民の個人情報やプライバシーが守られている」は10・20歳代と同値）。一方、いずれの年代も「8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる」が最も低くなっています（10・20歳代は「6 町民の意見が行政に反映されている」「8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる」が-0.34 ポイントで同値）。

居住地区別では、太田地区を除き「1 役場の窓口案内や電話対応が良い・わかりやすい」、太田地区は「3 証明書発行や届出にかかる時間が適切」（0.66 ポイント）が最も高くなっています（岩島地区は「3 証明書発行や届出にかかる時間が適切」が0.63 ポイントで同値）。一方、坂上地区を除き「8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる」が最も低く、坂上地区は「7 町の必要な情報が得やすい」（-0.22 ポイント）が最も低いものの、「8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる」（-0.21 ポイント）と同程度となっています。

	全体	男性	女性	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
1 役場の窓口案内や電話対応が良い・わかりやすい	0.71	0.67	0.72	0.47	0.25	0.48	0.52	0.57	1.00	0.55	0.65	0.77	0.63	0.87
2 困りごとやわからないこと等を相談しやすい	0.13	0.13	0.12	0.02	-0.22	0.02	0.00	0.01	0.32	0.14	0.08	0.10	0.13	0.20
3 証明書発行や届出にかかる時間が適切	0.64	0.60	0.66	0.66	0.51	0.49	0.57	0.53	0.79	0.50	0.66	0.70	0.63	0.65
4 諸手続きのデジタル化（オンライン化）が進んでいる	0.07	-0.01	0.16	0.02	-0.18	-0.29	-0.01	0.03	0.27	-0.01	0.05	0.08	0.04	0.18
5 町民の個人情報やプライバシーが守られている	0.48	0.41	0.54	0.70	0.13	0.32	0.44	0.26	0.70	0.39	0.40	0.45	0.52	0.63
6 町民の意見が行政に反映されている	-0.26	-0.31	-0.22	-0.34	-0.38	-0.43	-0.34	-0.43	-0.06	-0.31	-0.13	-0.31	-0.27	-0.22
7 町の必要な情報が得やすい	-0.12	-0.16	-0.09	0.00	-0.16	-0.28	-0.38	-0.25	0.06	-0.24	-0.17	-0.12	-0.07	-0.06
8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる	-0.35	-0.40	-0.31	-0.34	-0.51	-0.49	-0.51	-0.46	-0.18	-0.37	-0.36	-0.42	-0.35	-0.21
9 町職員の言葉づかいや対応がきちんとしている	0.51	0.44	0.57	0.66	0.35	0.39	0.32	0.31	0.73	0.44	0.44	0.50	0.54	0.63

※濃色網掛け数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け数字は最も低い値を示す

## 4 これからのまちづくりについて

### 問6 まちづくりへの関与意向

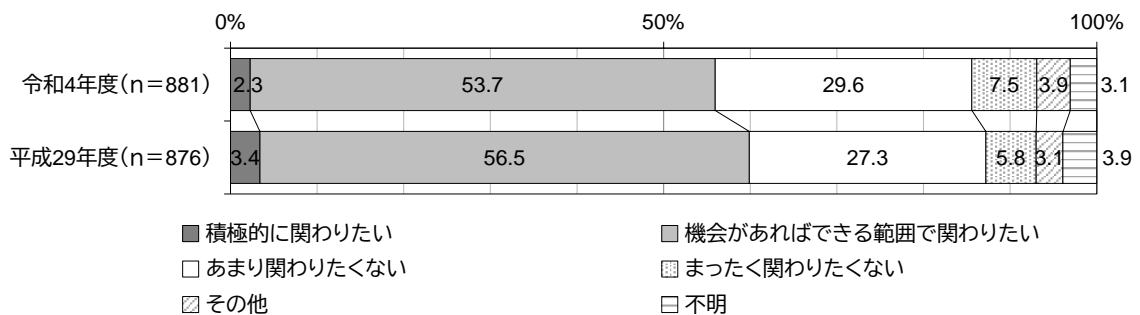
あなたは、自分の持つ知識や経験、時間的なゆとりなどを活かして、東吾妻町のまちづくりに関わりたいと思いますか。(1つに○)

**「機会があればできる範囲で関わりたい」が5割以上で最も高い**  
**合計値『関わりたい』が約6割、『関わりたくない』が約4割**  
**合計値『関わりたい』は前回調査より若干低い**

「機会があればできる範囲で関わりたい」(53.7%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関わりたくない」(29.6%)が約3割となっています。

「積極的に関わりたい」(2.3%)と「機会があればできる範囲で関わりたい」の合計値『関わりたい』(56.0%)は約6割、「あまり関わりたくない」と「まったく関わりたくない」(7.5%)の合計値『関わりたくない』(37.1%)は約4割となっています。

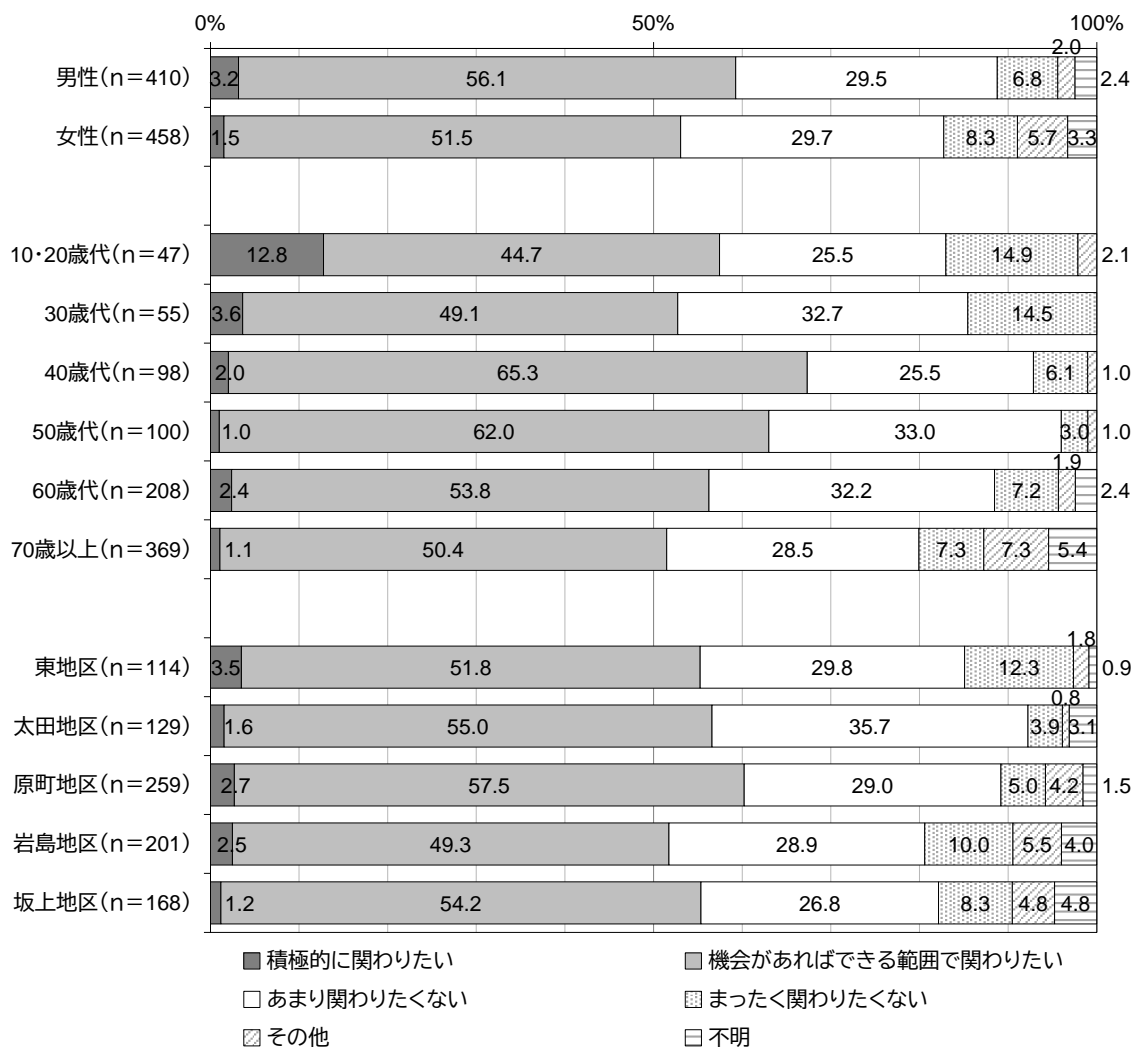
前回調査と比較すると、合計値『関わりたい』は、前回(59.9%)より若干低くなっています。



## 【属性別】

いずれの属性も「機会があればできる範囲で関わりたい」が最も高い  
 男性、40歳代などの関与意向が比較的高い一方、30歳代が低い  
 ほとんどの属性の加重平均値が前回調査より低く、30歳代の低下が最も大きい

いずれの属性も「機会があればできる範囲で関わりたい」が最も高くなっています。合計値『関わりたい』は40歳代（67.3%）が約7割で高く、すべての属性で5割以上となっています。合計値『関わりにたくない』は30歳代（47.3%）が約5割で高くなっています。

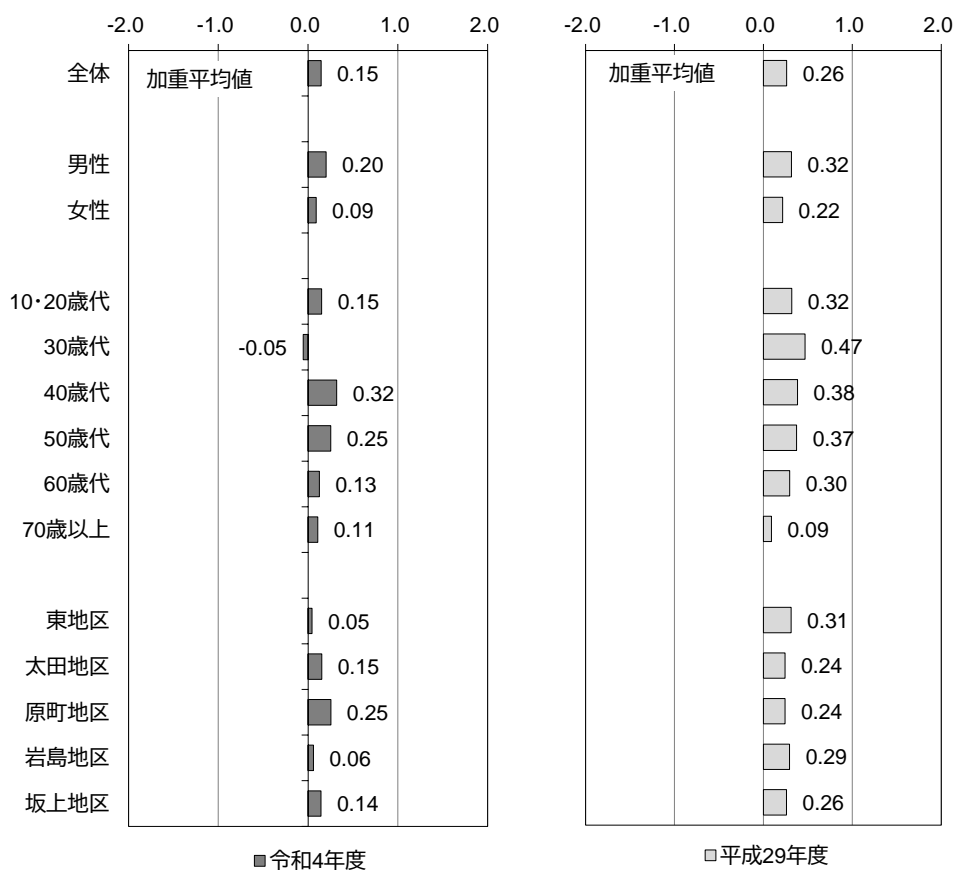


加重平均値\*を見ると、性別では男性（0.20ポイント）が女性（0.09ポイント）より高く、差が見られます。

年代別では40歳代（0.32ポイント）が最も高く、次いで50歳代（0.25ポイント）となっており、30歳代（-0.05ポイント）のみマイナス値となっています。

居住地区別では原町地区（0.25ポイント）が最も高く、東地区（0.05ポイント）、岩島地区（0.06ポイント）が低くなっています。

前回調査と比較すると、全体では今回（0.15ポイント）が前回（0.26ポイント）より低くなっています。また、ほとんどの属性で低くなっており、特に30歳代（前回0.47ポイント）では0.5ポイント以上、東地区（前回0.31ポイント）、岩島地区（前回0.29ポイント）では0.2ポイント以上低くなっています。



\*加重平均値：「積極的に関わりたい」、「機会があればできる範囲で関わりたい」、「あまり関わりたいくない」、「まったく関わりたいくない」「その他」にそれぞれ2点、1点、-1点、-2点、0点を与えて、不明を除く回答者数で除した平均値。値が大きいほどまちづくりへの関与意向が強いと考えられる

## 問7 人口減少や少子化・高齢化が進行する中での行政サービスのあり方について

今後、人口減少や少子化・高齢化の進行にともなう税収の減少により、現行の行政サービスの水準維持が難しくなった場合のサービスのあり方について、あなたはどのように考えますか。  
(1つに○)

**「税負担は増やさず、民間活力や町民の力を活用してサービスを維持・充実」が4割以上で最も高い**

**次いで「税負担は増やさず、サービス縮小があってもやむを得ない」が約2割**

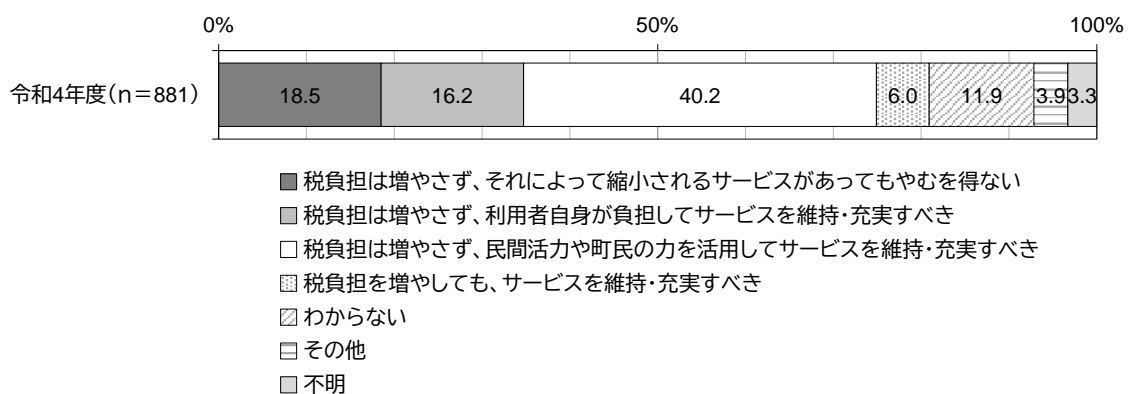
**合計値『税負担は増やさず』は7割以上**

**合計値『サービスを維持・充実』は6割以上**

「税負担は増やさず、民間活力や町民の力を活用してサービスを維持・充実すべき」(40.2%)が4割以上で最も高く、次いで「税負担は増やさず、それによって縮小されるサービスがあってもやむを得ない」(18.5%)が約2割となっています。一方、「税負担を増やしても、サービスを維持・充実すべき」(6.0%)はわずかとなっています。

「税負担は増やさず、民間活力や町民の力を活用してサービスを維持・充実すべき」「税負担は増やさず、それによって縮小されるサービスがあってもやむを得ない」と「税負担は増やさず、利用者自身が負担してサービスを維持・充実すべき」(16.2%)との合計値『税負担は増やさず』(74.9%)は7割以上となっています。

一方、「税負担は増やさず、利用者自身が負担してサービスを維持・充実すべき」「税負担は増やさず、民間活力や町民の力を活用してサービスを維持・充実すべき」と「税負担を増やしても、サービスを維持・充実すべき」(6.0%)との合計値『サービスを維持・充実すべき』(62.4%)は6割以上となっています。



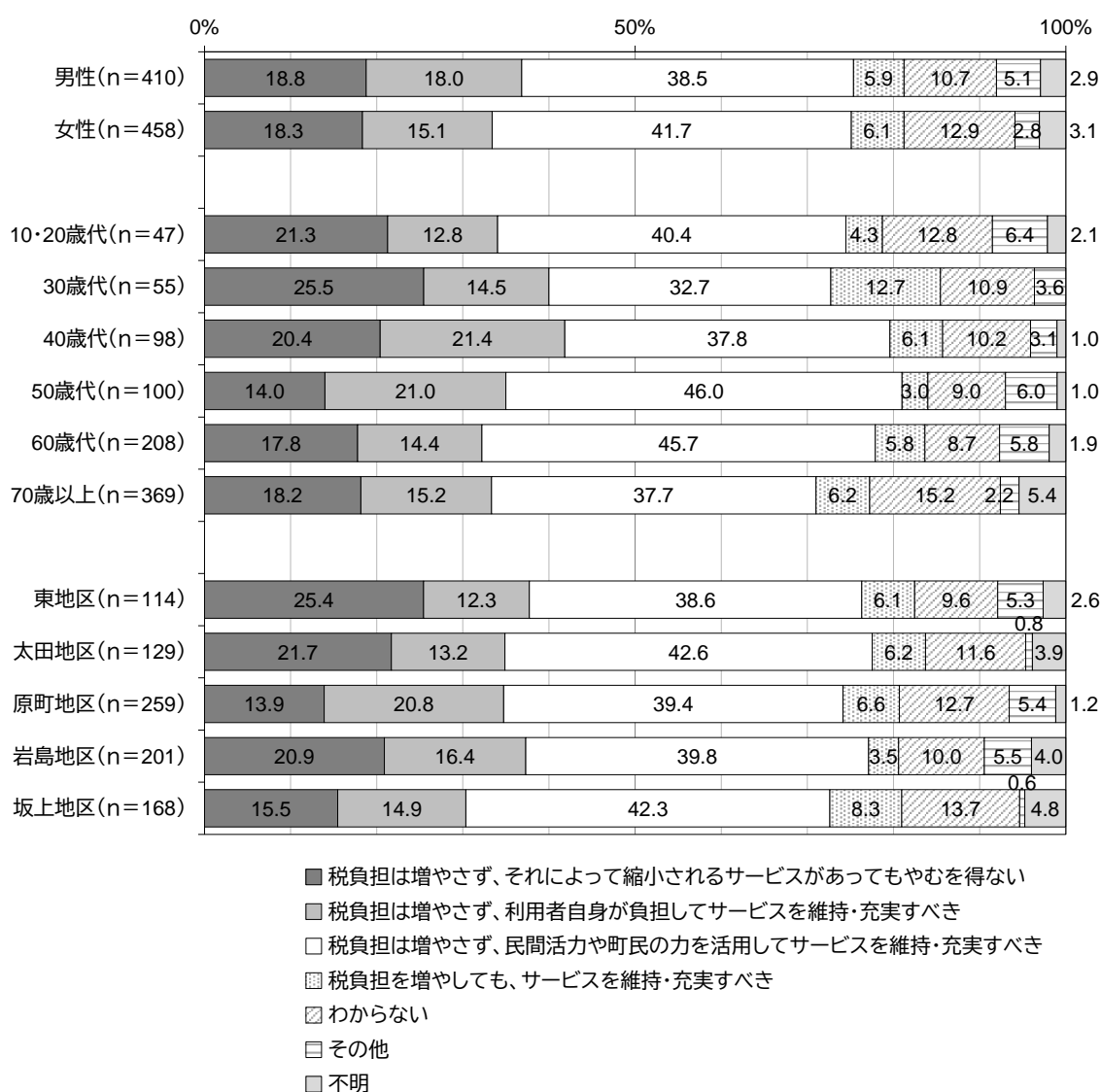
## 【属性別】

### 属性による大きな差は見られない

性別による大きな差は見られません。

年代別による大きな差は見られませんが、50歳代は「税負担は増やさず、利用者自身が負担してサービスを維持・充実すべき」（21.0%）が「税負担は増やさず、それによって縮小されるサービスがあってもやむを得ない」（14.0%）より若干高くなっています。

居住地区による大きな差は見られませんが、原町地区は「税負担は増やさず、利用者自身が負担してサービスを維持・充実すべき」（20.8%）が「税負担は増やさず、それによって縮小されるサービスがあってもやむを得ない」（13.9%）より若干高くなっています。





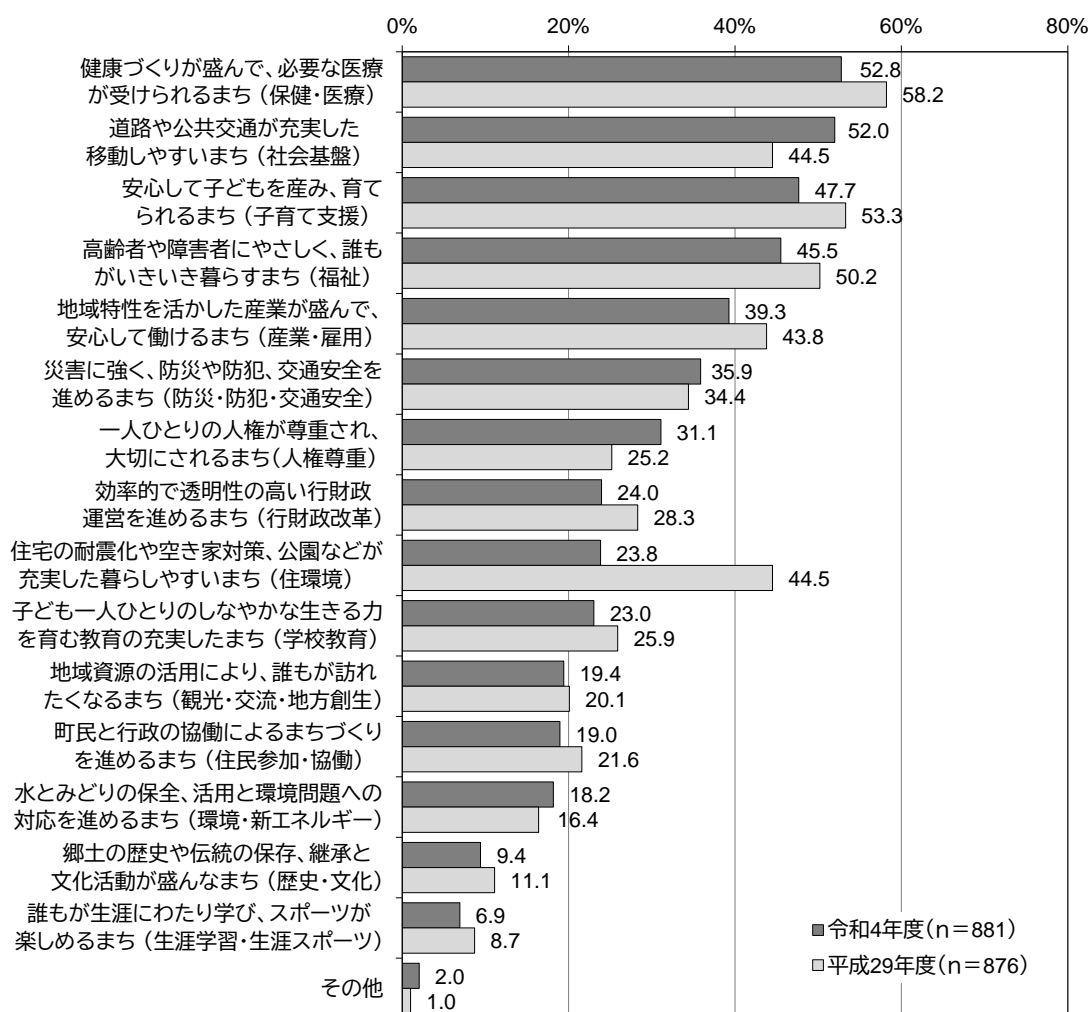
## 問8 まちの将来の姿

5年後(2027年)の東吾妻町は、どのようなまちであってほしいと思いますか。  
(5つまで○)

### 「保健・医療」「社会基盤」が5割以上で同程度に高い 前回調査から大きな変化は見られないが、「社会基盤」「住環境」のニーズが顕著化

「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）」（52.8%）、「道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）」（52.0%）の2項目が5割以上で同程度に高く、次いで「安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）」（47.7%）が約5割となっています。

前回調査と比較すると、上位項目では大きな変化は見られません。「住宅の耐震化や空き家対策、公園などが充実した暮らしやすいまち（住環境）」（23.8%）は、前回調査では「道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）」と合わせた1項目として設定しており、その影響で大きく低下したと考えられます。



※「道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）」「住宅の耐震化や空き家対策、公園などが充実した暮らしやすいまち（住環境）」は、前回調査では「道路や公共交通、公園などが充実した暮らしやすいまち（社会基盤・住環境）」の1項目として設定

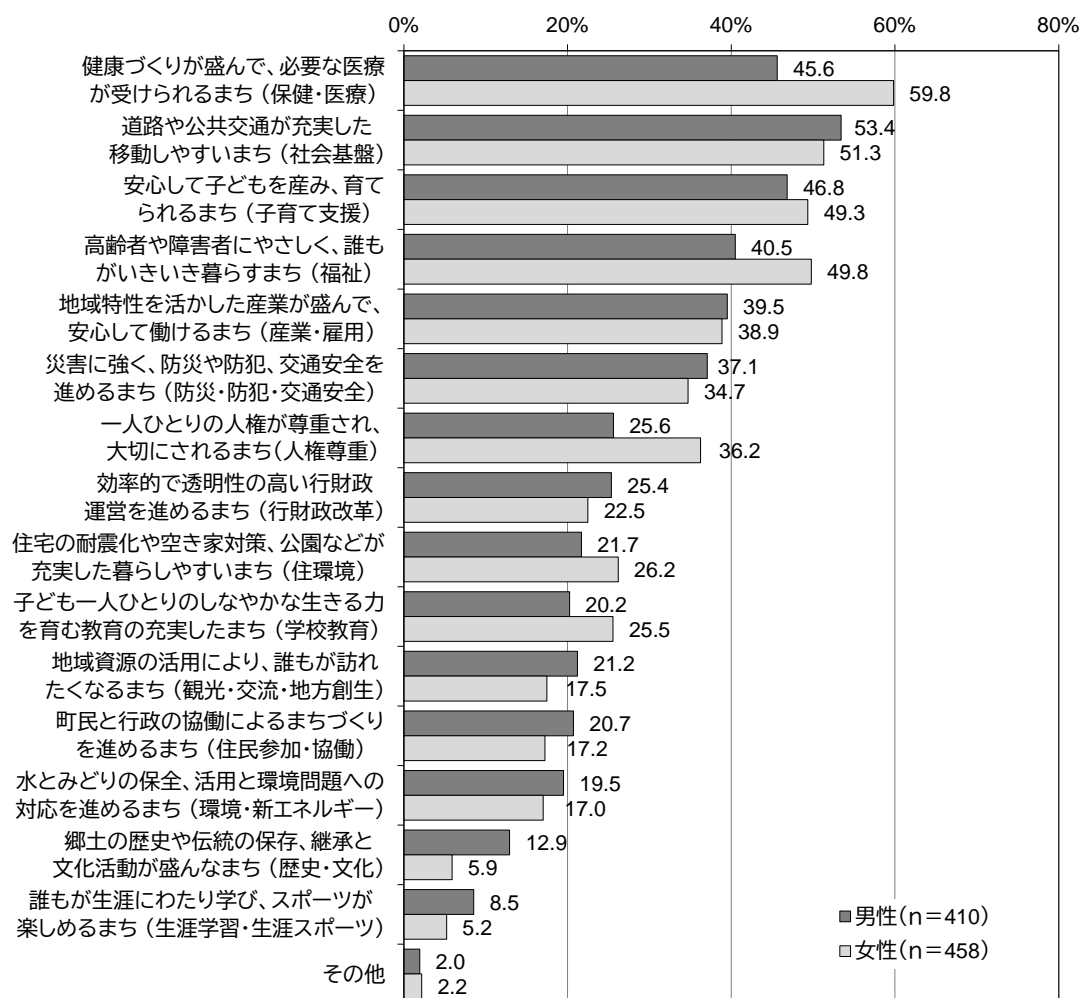
## 【属性別】

### 属性によって傾向が異なる

性別では、男性は「道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）」（53.4%）、女性は「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）」（59.8%）が最も高くなっています。

年代別では、10・20歳代、30歳代は「安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）」（それぞれ70.2%、63.6%）、40歳代、60歳代は「道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）」（それぞれ58.2%、50.5%）、50歳代、70歳以上は「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）」（それぞれ59.0%、56.1%）が最も高くなっています。

居住地区別では、東地区は「安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）」（51.8%）、太田地区は「高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち（福祉）」（52.7%）、原町地区は「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）」（53.3%）、岩島地区、坂上地区は「道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）」（それぞれ55.7%、57.7%）が最も高くなっています。



	10・20 歳代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 以上
n	47	55	98	100	208	369
健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）	38.3	43.6	52.0	59.0	50.0	56.1
道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）	66.0	40.0	58.2	56.0	50.5	50.7
安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）	70.2	63.6	56.1	55.0	47.1	39.0
高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち（福祉）	27.7	23.6	30.6	46.0	45.2	55.0
地域特性を活かした産業が盛んで、安心して働けるまち（産業・雇用）	31.9	32.7	41.8	47.0	48.6	33.1
災害に強く、防災や防犯、交通安全を進めるまち（防災・防犯・交通安全）	31.9	41.8	44.9	34.0	32.2	35.5
一人ひとりの人権が尊重され、大切にされるまち（人権尊重）	25.5	29.1	21.4	30.0	37.0	31.7
効率的で透明性の高い行財政運営を進めるまち（行財政改革）	12.8	29.1	21.4	22.0	27.4	24.1
住宅の耐震化や空き家対策、公園などが充実した暮らしやすいまち（住環境）	34.0	40.0	30.6	25.0	20.2	20.1
子ども一人ひとりのしなやかな生きる力を育む教育の充実したまち（学校教育）	40.4	38.2	24.5	14.0	23.6	20.3
地域資源の活用により、誰もが訪れたいくなるまち（観光・交流・地方創生）	36.2	14.5	23.5	21.0	19.7	16.5
町民と行政の協働によるまちづくりを進めるまち（住民参加・協働）	12.8	7.3	16.3	14.0	17.3	24.7
水とみどりの保全、活用と環境問題への対応を進めるまち（環境・新エネルギー）	19.1	14.5	12.2	23.0	19.7	17.6
郷土の歴史や伝統の保存、継承と文化活動が盛んなまち（歴史・文化）	10.6	7.3	8.2	6.0	9.1	11.1
誰もが生涯にわたり学び、スポーツが楽しめるまち（生涯学習・生涯スポーツ）	17.0	10.9	6.1	5.0	2.9	7.9
その他	0.0	3.6	4.1	4.0	1.4	1.4

	東 地区	太田 地区	原町 地区	岩島 地区	坂上 地区
n	114	129	259	201	168
健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）	51.8	49.6	53.3	52.2	55.4
道路や公共交通が充実した移動しやすいまち（社会基盤）	45.6	51.9	49.0	55.7	57.7
安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）	51.8	49.6	47.9	46.3	45.8
高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち（福祉）	47.4	52.7	40.9	45.3	45.2
地域特性を活かした産業が盛んで、安心して働けるまち（産業・雇用）	29.8	40.3	37.8	40.8	45.2
災害に強く、防災や防犯、交通安全を進めるまち（防災・防犯・交通安全）	36.0	41.1	34.4	32.3	37.5
一人ひとりの人権が尊重され、大切にされるまち（人権尊重）	25.4	33.3	33.6	29.9	31.0
効率的で透明性の高い行財政運営を進めるまち（行財政改革）	25.4	27.1	26.3	21.4	20.8
住宅の耐震化や空き家対策、公園などが充実した暮らしやすいまち（住環境）	27.2	21.7	24.3	22.9	23.2
子ども一人ひとりのしなやかな生きる力を育む教育の充実したまち（学校教育）	33.3	20.9	22.4	21.9	20.2
地域資源の活用により、誰もが訪れたいくなるまち（観光・交流・地方創生）	21.1	16.3	21.6	19.4	17.9
町民と行政の協働によるまちづくりを進めるまち（住民参加・協働）	18.4	19.4	16.6	19.9	20.8
水とみどりの保全、活用と環境問題への対応を進めるまち（環境・新エネルギー）	22.8	20.9	17.8	12.9	19.0
郷土の歴史や伝統の保存、継承と文化活動が盛んなまち（歴史・文化）	8.8	5.4	10.4	11.4	8.9
誰もが生涯にわたり学び、スポーツが楽しめるまち（生涯学習・生涯スポーツ）	8.8	4.7	8.5	8.5	3.0
その他	3.5	0.0	2.3	2.5	1.8

単位：％  
※網掛け数字は各属性で最も高い値を示す

## 問9 まちづくりへの意見（自由記述）

東吾妻町のまちづくりについてご意見等がございましたらご記入ください。

東吾妻町のまちづくりについて、238名から意見や要望などが寄せられました。その中から、個人的な誹謗中傷などを除いた主なものを、現行の総合計画の7分野別や主なキーワードに読み分けました。なお、すでに東吾妻町として検討や実施をしている取組などとの関連は考慮していません。

### 町政全般

- ・「東吾妻町第2次総合計画」の存在と内容が町民に周知されていない。平素より各場面で周知を図る手だてを工夫する。高齢者福祉が充実した町づくりをより充実、発展させていきたい。
- ・70年余、住み続けてきたこの町が、すべての人にやさしくより住みやすい町になることを望んでいます。
- ・まちづくりとは、住民が、地域の資源や価値を見出し、自ら地域の良さを理解・創造することによって、自分達の生活と生活環境の向上を図るあらゆる取組と思います。（例）歴史をいかしたまちづくり→（上越市高田城）信玄まつり。健康・福祉のまちづくり→（佐久市・佐久総合病院、浅間総合病院を核としたまちづくり）
- ・岩櫃山を登山やイベントすることで観光。ハッ場ダムなどつながらないか（人や金銭、交通、温泉、直売所等利用）。自然を大切に地域住民が安心して暮らしていけるよう水の確保、森林の保全、山野草、山菜の有効活用。高齢者人口が多いですが、働ける若い人達が自然を愛し、子どもを安心して育てることのできる町（交通、医院、学校、生活に必要なインフラ（商店街、防犯（警察）整備）。人口が多くなれば労働者が町にお金を落とすとしてくれて、それが活用するもとなさと思います。企業誘致、住民による協働活動により、マンパワー活用。不勉強の私が思ったまま意見させてもらいました。こうした住民が分かるよう、町はぜひこんなことを力入れてやっていますと教えてください。教育委員会や社協などの活動も、コロナ感染もだいぶ落ち着いてきたので、知る機会をいただけたら幸いです。
- ・計画期間の半分が終了したことも知らず町の変化にもあまり気づくことがない現状です。残り5年間でどのように町が変わるのか期待しています。町民が活気づくような町であってほしいと思います。
- ・現状、満足に生活を送っています。町のこれからの対応についても期待しています。
- ・自然を壊して建物を建てるのはやめてほしい。都会のように必要はなく、吾妻ならではの美しさを大切にほしい。箱物建築も慎重に、むしろ空き家などを活用して町中が活性することを望みます。新しくつくる発想を捨て、今あるものの活用を考える。公共交通機関にマイクロなど大型車はやめ、普通車面で町中走りまわられるような仕組みづくりができないでしょうか（免許返納しても安心な環境づくり）。道路の充実では、子どもや高齢者も車イスも安全に通行できる道づくりをお願いしたいです（この町に住んでから、車が怖くて自転車に全く乗れなくなりました）。歩行者を1人も見ないのは、不都合だからです。近くのスーパーにも車を使ってしまうがち。環境のため健康のためにも、町にたくさんの人や自転車や車イスを見かける町づくりがしたいです。道の途中に休憩用のベンチをおく、たくさん歩行したら特典があるとか、防犯にも良い。吾妻線の車両を一部自転車専用にできないでしょうか。吾妻を電車で移動しながら自転車で散策することができたら素敵で

す。学生さんにもやさしいと思います。人口減少を食い止めるため、子育てしやすい環境づくりと移住者の誘致を進めてほしいです。選挙は「お友だち」や「知っている人」に投票するのではなく、一人ひとりの政策と言動を見て決めたい。そのための情報公開拡大をお願いします。

- ・住環境をはじめ、子育て、高齢者福祉、企業誘致等すべてにおいて充実していると思うので、さらなる発展を期待します。
- ・住民全体が原町に集約して、誰もが安心して暮らせるようにした方がよいと思います。町全体が広すぎて移動するのが大変。若い人が住むにも雇用がなければ町外に出ますし、高齢化ばかり進みます。高齢者も周りに商業施設等がなければ衣食等の買い物も難しくなると思います。
- ・少子高齢化の時代、正直言って何をやるにしてもすぐむずかしいと思う。一つの行政の努力だけでは実現できるのはほとんどないとさえ思う。国の強力なリーダーシップ、将来を描いた具体的な行動等が必要だと思います。とは言っても、PR活動を積極的に行い、町民の意識を高め、継続的に施策を実践したらとも思います。
- ・少子高齢化の中で町村が生き残るために、観光（岩櫃、真田）を追いかけても難しい（歴史と背景も大事である）。しかし、早急にするべきことは、移住定住促進であると考えます。何をやるよりも土地を民間、行政などが用意することが不可欠だ。原町近辺まだ、放置されている。「大儀」があれば、皆様の協力が得られるのでは。コンパクトシティ・交通機関、行政、医療、教育、労働の場所、大型店舗、自然災害の不安が少ない。上信道の開通の後、定住を図り、仕事は他地へ。目に見えたアクションをお願いしたい。個人で努力し、成功の事例も聞きました。
- ・人が住みたく訪れたいような町づくり。
- ・人口減少をくい止める抜本的施策を図ること。空き地、空き家の活用施策を図ること。東吾妻町全体の格差を少なくする施策。高齢者を置き去りにしない（デンタル化推進）。上信道を活用した企業誘致の推進。住民居住地の再編を図り行政の効率化を。他地よりの移住促進施策を図ること。
- ・人々が安全で安心な生活ができますようにと願うばかり。
- ・町民が、関心の持てる行政にしてほしい。
- ・店が少ない。中之条は子どもの下校時に交差点などに見守りがいる。公園が少ない、子どもが安全に遊べる所がない。水遊びができるような場所がない。キャンプやBBQができるような場所が少ない。灯が少なく感じる。買い物難民（高齢者）。通学路、歩道の整備（歩くのが危険）。
- ・東吾妻町って何があるのと聞かれても現状思い浮かぶものは何一つなく、あるのは自然のみ。これといって思い浮かぶものがない（長年住んでいても）。認識すらされていないので、今後何か一つでもアピール（自慢）できるところができればいいなと思います。私には子どもがいるので公園の遊具の充実、あとは産院、小児科が近くにあるといいなと思います。
- ・東吾妻町の特性を生かした町づくり。町外からの人達が魅力を感じるような町づくりを目指してほしい。

- ・働く若者達にも夢と希望を。活力あふれる我が町にと心より願っています。

## 住民と行政の協働

- ・あまり考えたことはありませんでしたが、一人ひとりが楽しく、元気に住み、お互いに助け合って生きて行ける町づくりにしてください。
- ・コロナの影響が重なって、組の人の人間関係がこれまで以上にむずかしくなりました
- ・コロナ禍で極限にまで達した、個別化された社会のままでは、この町は駄目になる。共有・共用を重視した共生社会の構築を目指して、今後は町民一丸となって努力すべきである。
- ・どんなに立派な総合計画を策定しても、計画が実現されなければ絵に書いた餅です。町民本位を念頭に、計画と実施が結びつくことを願っています。町民の意見を反映させることが、真に町民のための町民の政治参画と言えらると思います。
- ・旧役場跡地近くの道路両わきの植え込みの雑草が目立ちます。せっかく道路沿いに並んでいるのに残念に思います。役場の職員の方々は手が回らないと思いますので、町民が自発的に参加して除草できるような計画を立てるのはどうかと思います。中之条町のように“花の会”を立ち上げて、町民がボランティアで参加して除草や花を植えるのはどうかと考えます。検討していただけたら幸いです。
- ・具体的な名案は出せませんが、住民と行政の協力が必要ではないかと。町民アンケートを実施するだけでも価値ありと感じます。
- ・月に一度の温泉無料券を利用する人もいれば利用しない人もいます。東吾妻町の方全員が利用できるような物にした方が良くと思います。区長、班長制度を廃止して、町の職員が行なう、もしくは人数の少ない区があるので今後どうしていくのか考えてもらいたい。
- ・高齢になり、若い時には気付かなかったことに苦慮しています。例えばハウスのビニールが剥げてしまったとか。杭が打てない等。そんな些細なこととか、ちょっとお手伝いをしてくださる方を町で公募して、どこの部落は〇〇さんと私達にも分かればぜひお願いします。年金生活なので高額は無理ですが、時給も決めておいた方がお願いする側も気が楽です。ぜひ、取り上げてほしいです。
- ・高齢者にもできることはやってもらい、守られることばかりを期待させない方向で、地域に活かしていけたらと希望する。共同作業が成立しづらくなってきている。
- ・私は東吾妻町のまちづくりに関係する行事など、関心なく知らないことが多いです。でも今、犬、ネコの保護活動がさげばれています。すべて、人間の無責任さにつながるかと考えています。そのようなボランティア活動があれば参加してみたいと思っています。
- ・新型コロナウイルスの影響もあると思いますが、人との交流の機会が少ないと感じています。町づくりをしていくうえで、他者との交流、協働は欠かせないと考えます。私は、スポーツを通して、町の人々と関わりたいと思いますが、そのような機会はありません。一人ひとりの個性や強みを活かした活動の機会があることは、町の発展に大きな影響を与えらると思います。
- ・誰でも気軽に立ち寄ったり、集まれる、居心地の良いまちであってほしいです。皆が情報を共有でき、参加しやすい。それが難しい人が孤立しないように分かりやすい仕組みを考えてほしいと思います。
- ・地区の班長さん、区長さんの役割を少しでも楽にしてあげてほしい。特に高齢者の方は負担です。資料配布物などは郵送にしてほしいです（集金なども）。
- ・町民一人ひとりが参加できる雰囲気のある町。
- ・町民の声がしっかり届くような行政の仕組みをつくってほしい。具体的には意見交換会や説明会などをオンラインで開催してほしい。
- ・町民の要望を速やかに叶えるよう努力していただきたい。
- ・町民等が参加できるイベントや催しが増え、その情報が共有されやすい町になってくれると嬉しいです。
- ・年齢を重ねられた方が多いので、そういう方の持っている知識・知恵を活用して、できるだけ楽しく生活できる町を創っていったら、最高だと思います。若い方は、そういう方の能力を引き出せる環境を工夫すべきかと思ひます
- ・魅力あるまちづくりを進めるためには、「若者が定着すること」を基本に考える必要があると思う。幼・小・中・高の子供達には大勢で楽しめるイベント（お祭りなど）などで思い出づくりをさせて、体験を強く印象付け、成人を迎える若者には、働く場所や新しい働き方（リモートワークなど）を提案し、その後結婚して子どもができれば、安心して出産できる病院があること。また、今までのまちづくりの成果を住民に上手に伝えることも大事なことだと思う（がんばっている町職員に助けられたり、底力を感じたりしている住民もたくさんいる）。
- ・役場が利用しにくくて、用事があっても行くのがおっくうなことが多い。まして二階の課は、高齢者には迷いやすい。けっこう大勢の人の意見で、行政と住民のへだたりも生れるので、多くの住民の町づくりの参加はむずかしいと思う。いきなり町づくりと言われても見当がつかない。もっと具体的に例えば町をきれいな花でいっぱいにしようとか、その中から、仲間づくりとか、健康のこととか、いろいろな意見が出らると思う。いろいろなところに公民館など（字の小さな所）へ出向いて、いろいろな人の話を聞いてもらわないと住民参加のまちづくりとは言えないと思う。一部の人のまちづくりは意味がないと思う。以前台風の時に防災無線でキケンと思われる人は公民館に避難してくださいと（防災無線から）流れたが、そこまで行けない、山に住んでいる大勢の人がいた。不安な夜をすごした人が多かった。皆が安心してすごしたい。

## 社会基盤

- ・「まちづくり施策の評価」の項目にもありました（４）道路交通網の整備」ですが、近年様々な所で目にします（工事等で）。道路交通網ばかり整備すると、折角の町の特性である自然が破壊され、空気が汚れる等、環境にも悪影響を及ぼし、都会に近くなります。故郷、田舎の良き面をこれからも壊さず、生かして行ってほしいと考えます。守るべきところはぜひ守って。山を崩して道路ばかり便利になると、車社会になり、高齢者等はますます暮らしにくい町になってしまいます。
- ・この先、買い物、通院とかに利用できる交通機関の充実を整えてほしいです。
- ・スーパーなどがなく買物に不便である。車がないと生活に不便である。今後不安である。
- ・デマントバスの予約なしの利用。
- ・ハイヤーは来ない。原町駅にハイヤーの看板があるけど車とまっていない。料金はらえば食品が1品2品買えます。
- ・バスが少ない。上2本下2本通してほしい。
- ・ふるさと大橋とバイパスをつなぐ必要ある。駅舎を少し移動し踏切を新設してバイパスにつなぐ。町の中心がつながることで街並の再開発を考えてはどうですか。何のために大橋を作ったのか。

- ・何らかの「特徴」がほしい。高規格道の整備で県道の渋滞が悪化しているため、対応してほしい。草津への「通過」地帯になってしまっているため、何らかの手立てが必要。中之条との格差が広がっているため検討してほしい。駅との連携、バス路線維持が必要。
- ・期待はしていない。町会議員はきちんと仕事をしているのでしょうか。バイパス開通に伴い、ますます活気のない町になるような気がします。いかに通り道だけでなく、東吾妻町に寄っていただけるか考えた方がいいと思います。
- ・旧役場後を活用し、群馬原町駅を中心としたまちづくりの創造が不可欠。上信道の開通に合わせたまちづくりで町の活性化を図ってほしい。
- ・旧役場跡地はどうなっているのでしょうか。原町駅が利用しやすいよう無料の駐車場をつくっていただけたら利用する人が増えると思います。反対側の駐車場は、置ける台数が少ないうえ、高齢者や障害者は、陸橋を渡るのは無理。
- ・旧役場庁舎の画期的な活用。原町駅前に直結可能なふろさと大橋からの高架での原町バイパス（上信道の通過点にしないためにも）。
- ・近くに全国的に有名な草津温泉があるのだから、県外の人々が興味を引く建物をつくってほしい。今のままだとただの通過点になってしまう。
- ・空き家、空き田畑が急速に増えている。
- ・空き家が多いので対策を考えてほしいです。
- ・群馬原町駅側に、電車に乗る一般の人が自由に使える駐車場がほしいです。高齢化社会になって、電車を使う機会が増えても、半日だけの駐車場は、いつも空いていないので、適当な空き地に置いて行くのですが、なんとなく心配です。階段は、高齢者にはきついです。原町日赤に、産婦人科でお産ができる環境を整えてほしい。吾妻に子ども達が少なくなっている少子化の原因は、まさにそこにあると思います。自然豊かで、とても良い所なのに残念です。原町日赤から渋川医療センターや群大行きバスを1週間に1度でも良いから設置してほしいです。高齢になって、遠くまでの運転が難しくなっています。子ども達は、遠方にいる人達が多く、頼れない人がますます増えてくると思います。
- ・元気ががんばりましょう。やらないより、良いことは進めることが、視界が開けて、皆が生き生きしてくると思います。公的な人が明るく、礼儀正しいと町民も明るく元気になっていくと思います。前向きにできることから、少しでもしましょう。大災害が近づいている気がします。海岸のある市町村と連携し、大切な物の共有や保存の一時預かり（公的なもの）や、災害時の避難場所としての提供など協定を結び、事前の準備として、予算を出していただく等、内陸部の市町村の良さを生かしてほしい。八ッ場ダムの放流の際は分かりやすく報道してもらいたい。広島のような心配もある。公民館や、空き家を利用し、家庭で余っている食品や日用品の提供の場を作り、困っている人や、身近な町民が自由に持ち帰っていただき、期限切れにならないうちに、残った物は、独居の方やシングルマザーのお宅へ配布するなどでできたら無駄もなくなり助け合いの輪も広がるかな。
- ・原町駅前、総合再生プロジェクトを立ち上げ、旧役場地にインターネットの整備したマンションを建て、若者の移住を図る。駅の商工会側は、総合文化施設をつくり、公園、図書館、若者が楽しめるスポーツ交流施設、そして将来の岩櫃城再築を目指し、岩櫃忍術館などの文化交流施設を構築する。人が増え、環境が良くなれば、必ず理想の町が実現すると思います。“太陽とみどり清流の町”吾妻 city へ。
- ・原町駅南の活性化は、計画を早く進めてほしい。
- ・交通機関をどうにかしてほしい。
- ・高崎市の浜川運動公園のような水や森を活かした公園があるといい。
- ・高齢に伴い、運転免許証返納後は、店もなければ、病院へ行くこともできず、生活できない。この町を去らねばならない。早く、介護タクシー、乗合タクシー等有料で良いです。考えてください（87歳）。
- ・高齢化が進み、自家用車に乗れなくなった時、国道沿いだけでなく、町道の方にも巡回バスが通るようになればと思う。
- ・高齢者が今後多くなるので、空き家管理をより一層強化すべきだと思います。町議の人数を減らしても良いと思う。
- ・高齢者が増える中で、交通事故等の危険から免許返納をした方がよいと思っているが、無料町内バスなどの普及が十分でなく、結局老人が危険な運転をせざるをえない状況であるため、交通手段の確保や車イスでも生活しやすい環境づくりを進めてほしい。
- ・高齢者にとって買い物等に行きやすい交通手段を考えてほしい。車の免許がなくても、楽に買い物に行けるように。
- ・坂上に住んでいます。個別アンテナになってから群馬テレビが映らないので悲しいです。群馬に住んでいて群テレが見られないのは、本当に悲しいです。どうにかできませんでしょうか。
- ・子どもの遊び場（公園）が少なく、遊具もない。
- ・私が東吾妻町に転居して2回の国勢調査がありましたが、2回とも、私のところには調査書類が届きませんでした。防犯の放送機器が各家庭に設置されているそうですが、そちらの設置もありません。共に自己申告するものなのでしょうか。
- ・自分で運転できなくなった時の移動手段が今は一番心配。
- ・実際に災害が起きたときに利用できる避難所がほぼない。
- ・上信自動車道の開通に伴い、町として何ができるか何をすべきかを予測し対応してほしい。
- ・上信道にバスターミナル的なものをつくるようですが、維持費は町が負担するのですか。将来負の遺産になりませんか。需要がありますか。ハコモノとか道路とかで活性化みたいな発想が時代遅れ。人口減はもう止めようがないのだから、コンパクトに小さくスマートに生き残っていく方向になってほしい。
- ・上信道を1年で早く開通して町を活性化してほしい。
- ・上信道を活用したい。東吾妻町が単なる通過するだけの町にならないよう、ICを多くする、PAの誘致などで特産品販売等、東吾妻町を大いにアピールし、海外を含めた移住者を招く等、過疎化を食い止める。
- ・植栗に高速バスターミナルをつくる計画があるようですが、吾妻線の存続を考えると原町駅前の開発と一緒に考えてほしい。
- ・町スポーツ広場の所の公園を、改良し、子どもからお年寄りまで楽しめる癒しの公園にしたら良いと思います。青少年のための施設、広場もほしいです。
- ・電車の本数が増やせないのであれば、渋川駅、高崎駅への直通バスの運行があると便利と思われる。
- ・道路など整備しているイメージはありますが、電車などの公共交通機関の整備などは変化していないと感じています。本数を増やすことなどは不可能だと思いますが、交通系ICカードの設置や券売機などの無人駅設置を考えてほしいです。電車を使用する人は多いと思いますので、ご検討をお願いします。
- ・買い物へ行くのに、隣町の中之条または渋川まで約10kmはあるので、町内に1件でも中之条のような大型スーパーがあると便利だと思う。上信道ができて便利にはなりましたが、上信道と17号が繋がってくるとさらに交通の便が良いと感じる。外灯がもっとたくさんあると良いと思う。

- ・防災無線でのお知らせですが、テレビ等のニュースの時間とずらしてほしいです。
- ・防災無線の有効活用。子どもの登下校時の見守り依頼等（中之条町で実施している）。熱中症の予防呼びかけ（給水）等。事が起きる前の予防に活用したらどうか。

## 生活環境

- ・あまり遠くない場所に共同霊園をつくってほしい。
- ・すばらしい自然に囲まれた東吾妻町なのですが、最近田畑の太陽光パネルが目立ちはじめ、我が家の目の前や両隣がこんなことでよいのだろうかと不安にかられております。電気も大切なのは分かっていますが、東吾妻町の大切なものが失なわれないように私達も目を光らせておきませんと、何が大切なのか見失ってしまわないように。
- ・サルやイノシシなど野生動物の被害が深刻です。女・子ども・老人はすでに物理的・人的被害も出るかもしれません。対策をお願いします。
- ・河川敷の花壇を町民花壇として貸し出してくれれば花を植えたい。もっと流行りの店を作ってほしい（パスタ屋さんとかスイーツ屋さん、ファミリーレストランとか）。
- ・給食費無料はありがたいのですが、まだ食べられるパンの廃棄など気になります。なぜ、持ち帰らせないのか。道の駅や吾妻峡など整備され、訪れる人もいるので、今後も続けてほしいです。水仙ちゃんやマイロックタウンののぼり旗がかわいらしく好感がもてます。広報紙の名前も募集したらどうでしょうか。
- ・現在の私達の暮らしは恵まれすぎており、先行きが心配です。住み良い町は誰もが望むところですが、地球の資源は限られております。我慢と努力に依って楽しみ喜びを見出したいものです。子ども達の30年後、50年後を思いつつ。
- ・私の行動範囲は狭いですが、ポイ捨てゴミが歩く所、歩く所にあります。ゴミを入れる袋と手袋を持参している時は、拾っています。つりの解禁になるとたばこの吸い殻が増える気がする。小さいことだけど、お互い気をつけた。「ポイ捨て禁止」の看板のまわりにゴミが落ちていた。立て札立てた人、拾って行ってなかった。疑問だった。自分の身を清めてからだよね。とにかく、ポイ捨てゴミが一番気になる。ちなみに、東橋（原町）もタバコの吸い殻やペットボトルたくさん落ちている。日本中の人が目撃目なんだろうな。「まちづくり」とは違うかな。ゴメンなさい。
- ・自然環境が厳しく、畑にイノシシ、クマ等が、作物ができると毎日食べに来ます。畑の周りには電柵を張りますが、機械を盗んで行く人がいます。2個も取られました。畑に行ったらクマの親子連れで3頭も飛び出し、危なかった。警察にも相談しましたが、何とかならないでしょうか。
- ・水道事業について、町水道から自宅までの工事費が他町村より異常に高い気がします。私は住宅の新築を諦めます。
- ・川の環境が厳しい。町がなにもしない。
- ・美しい緑と、清流の流れる、空気のきれいな東吾妻町は、とても素敵な町だと思います。町の財政も人口が減るなかで今後が大変になって行くことでしょうか、観光地の控える町としていつも思うのですが、道路周辺が汚いのが気になります。雑木や草を刈って美しい環境にできたら良いと思います。
- ・保安林を見回ってほしい。家の庭まで車が入れない。家の裏ががけなのでこわい。

## 産業振興

- ・「ふるさと大橋」は、住んでいる上野地区からも見渡せるので、クリスマスの時、イルミネーションを飾ったら見栄えがすると思います。何かと費用もかかるかと思いますが、

2～3年位の単位で良いと思いますが、何年もすると、感心がなくなるので、短い年数だけでも良いと思います。

- ・JRの駅舎やその周辺を利用・活用した、にぎわい、観光アクセス、仕掛けができないものだろうか。
- ・JR吾妻線の矢倉駅は古くてみすばらしい状態となっておりますが、そこでプラットホームは今の倍近く広げ、ホームの長さも快速が停車できるよう改築をしていただけないでしょうか。また、同駅から跨線橋を新設し、駅北側にアスレチックなどができるアリーナ等を誘致できないものではないでしょうか。同駅と同場所までを町の花である“スイセン”で継ぐのです。また、同施設のPRの看板を上信道のインター近くに設置していただきたいと思っていますので、企画課の担当の方お願いいたします。アスレチック部分は野外も可能です。
- ・ダム下の村で道路が置き去りになっているようだ。温泉センターの対応が他のセンターと比べると温かみがない、対応が悪いと聞いた。地元の高齢者は金額を下げて行けるようになったらいいと思います。道の駅だったら店がもう少し目立つような感じになれば活気が出るのではないかなと思う。
- ・移住者が多い所は何かとりえがあって移住する人が多いようです。田植えを、昔ながらに馬を使ってやっていたり、自主性をのばしたりと、都会と同じことではなく、林業や農業が今大事なことで、若い人が残っていないとか。また、学校を卒業しても戻ってきたい町にしてみたいです。家の子どもは「何もなし」といって、都会に出ていきました。1人前には生活していますが、帰ってきてとは言えません。帰ってきて仕事がないから。
- ・休耕地の活用を考えてほしい。買物難民のために巡回購買ができないでしょうか。
- ・空き家や休耕地等が多いので、行政も介入してもらい、もう少し町外からも人が来て、住んだり、農業をしたりできるようにしてもらいたい。山の手入れや、里山づくり等も考え、新たな産業につなげられるような取組をしたらどうか。
- ・月並みですが、平均年収が増えるようなまちづくりを期待します。
- ・現在39歳以下の若者に向けて起業の支援を行っているが、その支援を受けられる人の年齢の引き上げを行ってほしい。
- ・産業振興、雇用の創出。何よりも働き場所をつくるのが大切。これにより人口増加や町の行財政も保たれると思います。人口が増えなければ観光も福祉も、医療も成り立たない。
- ・上信道ができてコンビニがつぶれないようにしてほしい。
- ・上信道を活用し、企業の誘致を考えてほしい。
- ・植栗ICに道の駅的な要素を加えてみては。
- ・人口を増やすため、会社（企業）の誘致、高速道路に伴う工業団地の造成を進める。そのための固定資産税の優遇。
- ・青空市場や食をテーマとしたフェアを開催したり、町外の人達を呼び込む企画などを考えてはどうでしょうか。ゴミ袋の無料化を検討してほしい。飲食店の充実化（大手チェーン店の誘致推進）。娯楽施設の推進化。働く場所の充実性（高齢者でも働ける場所をつくる）。
- ・中之条町のように住民が参加できるイベント、ものづくり、〇〇教室とかたくさんあるとうれしい。
- ・町民人口の増加（働く場所、工場、企業の誘致）を希望。道路整備、町道の整備を希望。
- ・努力し雇用を安定させ、生活基盤を設立し、地域の魅力を引き出し、今から促進しないと手遅れになります。過疎化になり現状維持では衰退していきます。
- ・土偶も忍も水仙もこんにやくもホテルも全部バラバラに点在しているイメージです。上信道のアクセスの良い所に

立派な遊び場がある道の駅のような観光・買い物・レジャーまとまった施設があったらいいと思います。

- ・東吾妻町で育った若い人達がまた戻ってきたくなるようなまちになってほしいと思います。自然豊かな特性を活かしながら、安定した魅力的な働く環境がもっと増えたらいいなと思います。個人事業主の支援等を通じて地域活性化をはかってほしいです。
- ・当町の旧専業農家は多数の不用農地、山林を持っています。現在の若者はサラリーマンとして生活し、農地、山林等は（収入ナシ、重労働、赤字、固定資産税の支払い）お荷物で不要とのこと。役場の中に不動産のあっせん、相談の部署を。不用の農地を安くまたは宅地にして、上信道を利用して（仕事）、生活は当町で。
- ・農業に興味ある人や現在農業している人などを募集して、地産地消の飲食店みたいな施設があったら良いのではと思います。

## 保健・医療・福祉

- ・いろいろな事情はあると思いますが、町内で子どもが産めない（産科がない）。子どもが入院できない（小児科の入院対応）というのが将来への不安を感じる。
- ・引きこもり成人問題を度々聞くようになっていきます。町として積極的に取り組んでいただきたい。養っている親が生活している間に解決の糸口を見つけてあげてほしい。その方が本人や親だけでなく、社会保障費も低くなるので、社会のためでもあると思います。人口減になるのだから、問題となる空地・空き家・独居問題への対策をしっかりお願いしたい。また、集落単位で考えると、ここ10年ぐらいでいくつも無くなっていくと思いますが、ソフトランディングで閉められるよう、助けがあるといいと思います。ハコ物は作れば作るほどその後の維持管理費がかかるので、国から補助が出て、やめてもらわないと財政がよきよしくなると思うので、少なくお願いします。今後も増えるだろう相続もきれいな土地・屋敷問題への対策を早目に考えておいてほしいです。引きこもり成人問題に手をつけてくれるなら、私としても手伝えることがあれば手伝う気持ちは、ありますのでよろしくお願いします。
- ・駅北の開発や老人の温泉入浴等のサービスの向上、介護サービスやホームの充実。子ども達の教育や、子育てへの協力金等の配慮を増すこと。
- ・学童保育等に入所する時に、第3子無料化や割引などがあるのも良いのではないかな。働きやすい環境になっていないような気がします。
- ・教育、厚生、医療の整った、だれもが安心して住める町づくりをお願いいたします。
- ・原町日赤の産婦人科再開+小児科の充実→若者世代の定住化→宅住地の提供→町営住宅の見直し。ハート型土偶の石柱があまりにも小さすぎます。もっとアピールすべきだと思う。
- ・現在、子育て中だが、出産祝金や支援金の支給など、現金給付はとてありがたいと感じる一方、保育園による一時保育サービスなど、子育て支援サービスをより充実させてほしい。例えば高崎市では1時間300円で子どもを預ってくれるサービスがあったり、家事や育児をサポートしてくれるサービスがある。他自治体も参考に、検討いただけたらいい。
- ・高齢になり車の運転、この先不安。買い物できる所が遠い。巡回スーパーなどがあると助かる。
- ・高齢化がすごいスピードで進んでいる今の吾妻に必要な物が充実した町になって行くと、これからも安心して暮していけると思います。

・高齢化が進む中、日常の生活を送る上で、余り不自由を感じなく、（特に医療、日用品の購入等）生活できる地域であればと考えます。

- ・高齢者や弱者に目を向けるまちづくりを希望します。
- ・今、色々と物が高くなり、ガソリン等全々安くない。給料は上がらず町民税や年金等、支払う物も多すぎ。一人あたりいくらとか、もらえるようになればいいと思う。他の県は子ども一人あたり、収入が減った人へ補助金とかあるのに、東吾妻は全々してくれない。コロナで一人あたり10万円出て以来、北軽とかは他に2万円とか出たりしたのに、東吾妻町はなかった。不公平だと思う。生活のために一生懸命働いても、税金の支払いでなくなってしまふ。
- ・今後、高齢者の増化に伴い、老人介護施設の増大、充実を願っていただき、安心して老後を過ごせるよう願っています。家庭での介護は、家族の負担が重荷となり、とても大変です。どうしても施設への収容が必要となると思っています。（介護経験者として）
- ・産婦人科の誘致。公衆トイレの設置。川戸地区に公園を。
- ・急なケガや体調不良の時に頼れる病院や問合わせ先がありません。相談しても毎回自分で受診先を探して遠くの病院まで自力で行くようにと教えてもらうだけなので、緊急時には大変心細く怖い思いをしています。必要な時に必要な医療をできるだけ近くで受けられるまちになれば、もっと安心して暮らせると思っています。
- ・少子高齢化の問題が今後も重要な課題になっている中で、以前はあった町の病院の産婦人科が全くといってよい程近くに無く、知人の話ではあるが、車で1時間かけて通っていたという内容であったため、私自身が同じ問題に直面した時、東吾妻町のまちづくり（産婦人科）が進んでいればとても安心して住める町であると多くの人に伝えたり、その町で暮らし続けていきたいと思っています。
- ・町内に住みたくなる人が増えるように、中核となる病院を充実してもらいたい。医師会の意向があって簡単には実現しないと思うが、私達が子どもの頃は、町内に産婦人科や小児科の医師が常駐していて、他地区の住民からも羨ましがられた。現在は町内に産婦人科のある病院がないので、若人に、この町に住むように勤める気にはならない。子どもが急に熱を出した時、救急医療に連絡するように言われたが、盆・正月の土曜日だったため、町内で受け入れてもらえず、渋川の病院まで連れて行かなければならなかった。手遅れにはならなかったが、町内で子どもを育てるのは困難と思われる。
- ・町内に信頼できる病院が少ない。免許返納がしづらい。公共交通の充実化を図ってほしい。
- ・東吾妻町に産婦人科の病院がないと大変不便です。今年長女が出産したのですが、予定日の二週間前になり急に渋川の病院に産婦人科がなくなり、家から1時間位の所へ行くことになり、陣痛が起きた時は病院に着き、分娩室に到着後4分後に生まれました。
- ・日赤に産婦人科をつくってもらえるように町としても強力にバックアップすべき。安心して子どもを産んで育てられる町にしてもらいたい。
- ・年金の受給額が減少し、生活していくのが大変なので、町が対策を考えて商品券などを配布していただきたい。
- ・年齢を重ねても、役割があって生きがいや楽しみを持って、生きること安心して過ごせる社会でありたい。小さな困ったことも、相談できる家族などがいてくれる（1人になっても、若者も、高齢者も）環境、支援してくれるとありがたい。



・福祉サービスの受けられるまちづくりに努めてほしい。デイサービスを受けやすくしてほしいと思う。

## 教育・文化

- ・5 地域にあった中学校は諸事情により統合されましたが、小学校はぜひとも地域に残してほしい。小学校の無い地域に若者の定住は無いと思いますので、切に希望致します。
- ・夏の祭りのあり方を検討してほしい。太鼓の練習など子どもにとって負担。山車をひき歩くのも負担。旧役場の所に集めて祭りをするなど通行止めの所も減らせると思う。「昔から」と言うが、時代に合わせた変化が必要だと思う。実際、その方達の子どもは祭りに戻ってこないし、本当にいい祭りと思えば里帰りもすると思う。
- ・各公民館を自由に誰にでも使わせてもらいたい。運営費が必要なら町の方からも少しは入れてほしい。
- ・子どもがスポーツや体を動かせる屋内外の場が整った環境が必要だと思います。自然を生かした“生きる力”を養うイベントを考え気軽に参加できる環境をつくってほしい（ボランティアなどで人材を探す。それぞれの得意分野を生かす。それを次の世代に受け継がせる）。
- ・数年前に廃止された「町民運動会」を復活したい。子どもと大人、地域がスポーツを通して交流できる最高のイベントだと思う。コワーキングスペースをつくりたい。
- ・中学で1つになるが、少人数の小学校から行く子は不登校になったり、1日中誰とも話をしなかったと言う日が続く。もう少し子ども達のことを考えたクラスにしてほしい。
- ・中之条ビエンナーレって好きなんですよね。東吾妻町もどうでしょうか。クラフトフェアなどもやってほしいです。
- ・町の歴史や文化財が、町民や他の地域から訪れた人が分かりやすく訪れやすい施設や案内板の設置。

## 行財政改革

- ・10年後、20年後、この地で普通に生活できるのかとても不安です。高齢化が進み、地区を維持するのも難しい状況になると思います。立派な建物などを建てるよりも、町の開発をするよりも、もっと生活維持のためになるようなまちづくりをしてほしいです。
- ・むずかしいアンケートでした。大いに苦戦して何とか済ませた次第です。町議会を傍聴したいです。1人で参加するのめいかがなもの。行政から町民一度は参加のすすめを発信してみたらどうですか。議員の活躍状況も知りたい町民（選挙人）の1人です。
- ・一般会計予算に占める人件費を10%以内にしないでほしい。民間受託を増やし、経費削減を図る。
- ・計画は立てるが、検証が無い。職員の移動での引き継ぎが少なく、課を移動すると責任を取らない。
- ・行政が他の町などいい所を習って良い町にしてもらいたい。
- ・行政のデジタル化、効率化を進めた方がよい。町行政も人口減に合わせスリム化を進めた方がよい。歩道は自転車歩行者が安心して通行できるようにした方がよい。健康志向の高まりから榛名周辺へサイクリングする方も増えているので、そのような方を高崎市の「ハルヒル」と上手く歩調を合わせ、人の流入を増やしてほしい。
- ・行政の維持費を下げてからサービスの低下を住民に相談すべき。
- ・行政組織の見直しを行い、ムダを省く。誰もがここに住んで良かったと思える町、若者が住み続けたいと思える町。中之条町の方が色々な面で町民のことを考えているように思える（コロナ禍における手当て等）。

・私達の税金が、適当なことを言っている議員に支払われているのが悔しいです。税金はもっと、きちんと活用してほしいです。

- ・住民税等税金の見直し。
- ・人口減少（税収減）が判明している将来について、町村合併を含めた、具体性のある議論を、官学民+子どもで継続的に、かつ広域圏レベルで実施する必要がある。慣習にとられない、現実的で、合理的な新しい町づくりを行ってほしい。限られた税金、地方交付税、国庫金等、“適財適所”に徹してほしい。
- ・税金が高い（2件）。
- ・町からの情報通信等の発信を町で作成して情報を流していただきたい。業者への依頼が多過ぎると思います。
- ・町の財政が大変であるので、一番にできることは、町職員の給与を見直すべきである。他地域の割合をしっかりと見比べた方がよいと思う。
- ・町の貯金、財政調整基金2010年3月23億から21年9月53億+30億。町の借金はどのくらい減ったか、町報で表示してもらいたい。役場内通路に区分を設置してもらいたい。矢印で行き先を示すようにしたらどうか。
- ・町議会議員の勉強不足、町の発展に無力である。町長自から町民の中に入り、意見を聞いて町政に生かすべき。町職員の責任不足。町政に役立つ業務を一人ひとりが考えるべき。企業で働く能力なし。
- ・町職員の能力向上。責任感不足。町議員の勉強能力不足。町の発展に役立っていない。
- ・町報等が5日に配られるが、前月の20日に配布してほしい。遅いので。役場職員で町外から来ている人（家を建てて）は町外が住みやすく、町の給与が高いので、町としては、逆になるための思案がないと、デジタル化に向けて、管理職は定年退職してデジタル化の推進が必要。若返りでアイデアのある町、群馬で一番の効率の町を目指す。
- ・東吾妻町行政は町民の意見に対して、不親切だと思います。原町駅前信号付近や商店街、何らかの指導、アイデア等など努力が見られないように思います。祝祭日など日の丸が掲げられ頑張っている感じがいたします。町もバイパスに重点を置かず、地域の皆様と何かできると思います。
- ・役場の人員が多すぎる。人件費が行政を圧迫していると思う。他の町の役所と比べても人が多すぎると思う。町民のために「すぐやる課」などつくってほしい。
- ・隣町の中之条町は、同規模の人口で小学校を合併するなど先がけて行っています。東吾妻町においても実施しては良いのではと思います。第二の夕張市にならないよう、スリム化が必要ではないかと切に感じております。先日の水道料金のアンケートにつきましても、コロナ禍ではありますが、人口減少が見こまれる中、今値上げしなければいつ値上げするのかと疑問に思いました。将来を見据えた値上げは必要かと思えます。

## 人口減少

- ・これからの時代は自然を現代的なシステムにし、人の心に「思い出づくり」をし、また、この町に来て見ようと「思わせる心」を。若い人でも、一度は他県に出たがるだろう、でも、やっぱり、この町に住みたいと思う心。人口が増えてほしい。
- ・どこに行っても高齢者しかいない町で、活気が無い。子どもを育てる環境にない、交通機関も全く機能してない。役場の職員も高齢者に対応しているせいか、対応が適切でなく、子どもが大きくなる前に町を出たいと思います。

- ・まちが原町に集中していて、旧東村はスーパーもなければ自動販売機もほとんどない。中学校もなくなり、原町中学校に行くのに30分、遠すぎる、こんな不便な場所に引越してくる人はいません。できれば町外へ出たい。
- ・過疎化が進み、人口の減少（群馬県では2002年の202万をピークに毎年5千人の減少）、現在191万人、東吾妻町も空き家が増え、人口の減少があります。仕事が少なく、子どもも減少しているので、観光地の活性化が必要な感じがします。群馬県はすばらしい県と認識しています。
- ・我が町、東吾妻町は最高です。町民の人柄、環境、行政共に。ただし人口減少。高齢化により、農地の担い手がいない。子どもが少ない。どう変っていくのかとても重要で、心配。
- ・活気のある町づくりには人口減少に歯止めをかけることが重要で、町内で生まれ育った若い人の流出防止、町外人口の受け入れ体制整備等に力を注いでもらいたい。働く場所の確保と働きやすい環境の整備（IT対応）に頑張してほしいです。
- ・空き家、空き地に借家、家が建てられるように設備し、人口を増やす。買い物（特に食品おかず屋さん等）できるお店、外食のお店（チェーン店）を増やす。前橋・高崎方面へのアクセスをしやすくする。病院の確保（特に救急や小児）、公園の遊具の充実、高齢者や障害者が利用できるサービスや施設の充実等必要だと思う。
- ・広報が来るたびに（まちの人口）が減少していく、さみしいですね。話を聞いていると、子どもさんがこの町から出られてしまったとか。吾妻町にずっと住み続けたいと言われるような町にして行きたいですね。どういう町だったら、ずっとこの町に住み続けたいか。
- ・高知や大分のように、“自然”“教育”“住みやすさ”を実現するような町づくりを進めてくれたら嬉しいですね。“この魅力を知ってほしい”ということは、全国すべての自治体が望んでいることなので、そうした中で「吾妻に住みたい」と思わせるようなパワフルなプロモーションをしていかない限り、人口減少→税収減少→住みにくい町に→人口減少というスパイラルから抜けられないと思います。
- ・今、日本各地の自治体は財源が厳しい状態が続く、大変なことだと思います。一番に願うことは、若者が働き、家庭を持ち、住み続けて人口を増やす地域社会が必要と考えます。今は、他の市や町へ通勤して働く人が多いのも地元企業が無いからで、労働の場も増さないとも思います。若者が流出しない町づくりもしないとだとも思います。
- ・坂上地区は店がなく、高齢者ばかりで、東吾妻町の中でも置いてきぼりにされています。小学生も少なく、児童も可愛想。町の行事も坂上地区にも割り振ってもらって活性化してもらいたいです。大戸診療所は老人の唯一の頼みの綱です。絶対になくさないでください。移動スーパーが榛名町から来ています。できれば町内のスーパーが来てくれることを望みます。
- ・私の住む地区でも高齢化が進んでいて、一人住居も多くなっています。1人でも暮らせる環境の整備をお願いします。また少子化で子どもがいません。安心して子育てできるように環境の整備をお願いします。
- ・若い人がとにかく少なくなっており、どうにかしてほしい。
- ・若い人口が流出しない町づくり。企業等を誘致し、働ける場また、ブランドの野菜等が作れたらと思う。観光はドラマ等を通じ良い結果がでていと思う。これからの若い人、行政に期待したいと思います。
- ・若い人達が働きながら子育てしやすい町になると良いと思います。町内に良い職場がなくても、医療、保育サービスが充実していれば、住みたいと思う人が増えるのではと思います。若い人、子ども達が（元住民じゃなくても）戻ってきて高齢者をサポートできるように、中・高齢者が、若い人、子ども達をサポートできるようになれば理想的だと思います。良い流れができそうかなと思います。近所付き合っていくて難しいですが、私の経験では、近所の方々とも無理なく心地よく仲良くできれば、地域の人に見守られて、良い子ども時代を、自然豊かな東吾妻町で過ごすことができているよかったです。
- ・若い世代が働く（残る）環境ができていないと思う。
- ・少子化、高齢化は大変なことです。人口減少は町の大きな問題です。どちらも大切なことです。高齢者にとってデジタル化、デジタル化と言いますが、とてもついていけなくなります。どうしましょう。大変になってくるでしょう。心配です。
- ・人口の減少は、他の町も大きな問題となっており、今後も難しい課題となっています。他の町の成功例などを参考として、若い力を生かすような町作りを推進してほしいと思います。SNSの活用も大いに必要であり、「町からの発信」も積極的に進めて行ってほしいです。
- ・人口を増やす方向へ。
- ・人口減少、少子化に対して、対策を強化し、活気ある町を目指していただきたく思います。
- ・人口減少、少子化、高齢化は日本全国の市町村が問題とする項目だと思います。当然東吾妻町も行政を進めるための大事な項目で、最重要課題として取り組む必要を感じます。
- ・人口減少が続いている。若者を引き止めるには、働く環境が必要と思うが、企業誘致だけではなく、農業にも目を向けてはどうでしょうか。孺恋、長野原キャベツ、野菜、昭和村のレタス、六合の花、東吾妻町の農業も何かあれば人口減少の歯止めのひとつになるのではないかと思います。
- ・生活の中心が原町に移りつつある。山間部はますます過疎化が進み、高齢者世帯が多くなる一方である。これを食い止める方策を考えていただきたいと思います。
- ・多くの若者が集い、中心となり町づくりを本気で取り組む体制をつくってやる。
- ・町行政はそれなりに良くやっているといます。一番心配なのは、人口減少、特に子どもの少子化。坂上では、1学年5名前後と、考えられない。どうしようもない、時代の流れですかね。同様に空き家が増加。空き家解体が増えるので、補助金を増やしてほしい。何か特産物がないかな。薬草とか珍しい野菜等。
- ・定住したくても土地がない（家が建てられない）。また、補助を40歳未満にしか適用されないのも改善してほしい。より子育てしやすい環境を整えてほしい。公園の遊具の充実、小児科医院の充実など。
- ・東吾妻町には、多人数が働ける場所が従来からほとんど増えていない。大きくて平らな土地、岩井の水仙公園に通じる水田、岩島駅前等に工場誘致して（最低でも200人以上の）働ける場所があれば定住者も増加すると思う。新しい道も開通することだし、人口減少を食い止める動きをしてもらいたい。
- ・日本中で高齢化が進んでいるので仕方ないかもしれませんが、子どもや若い人が住んでいく町を目指してほしいです。
- ・約26年前に三重県から転居して来ました。子ども2人も、ここの小中学校で受け入れてもらい、地元の野球チームにも入れてもらい、楽しくここで育ちました。今、その子も30代半ばになりました。もっと、地元でもやって行けるようなシステムがあればと思います。移住を推進する町が、自分達の子どもがほとんど残らず出てしまっている、というのも今ひとつだと思います。

## 住民サービス

- ・このようなアンケートを住民に書かせても結果を住民にフィードバックしなければ意味がない。形式だけのアンケートではこのまちの発展はない。町職員の意識改革、住民への対応、マナー態度を今一度勉強してほしい。因みに今は市役所、病院等接客を要する場所には目安箱が設置してある。この町役場には無記名で苦情、意見、称賛、改善等を住民が伝える手段はないのか。住民のための行政ならば広報で設置場所を知らせるなど幅広い意見等を住民に求めるべきである。個人情報の扱いについて健康診断票を地域の班長に封もせずに渡させるといのもいかがなものか。返信用封筒を同封するなどもっと慎重にしてほしい。どれをとっても他市町村に比べ遅れていると同時に劣っているように感じる。初対面の職員にため口で話されたのには唖然とした。緊張感を、常識を身につけてほしい。
- ・ボランティア活動などで、町の職員の方と接することがあるのですが、職員の方々の自覚や意欲が低いと感じることが多いです。若い職員の方々を育てる姿勢がベテランの方々にも足りないのではないのでしょうか。町の職員が中心になって進める活動でも、内容の充実を図ろうと思っているのか疑問を感じることがありました。
- ・各課の担当の知識がもう少しほしい。振込のチェック体制が遅いような気がする。職員のフットワークが足りない。
- ・住民の相談に対し行動力を持って対応してもらいたい。
- ・住民票等の書類をいただける時間を延長し、20時まで窓口を開く、休日（日曜日）などで窓口を開き、住民票等の書類発行ができる体制を早急につくってほしい。渋川市などは、すでに行っているの、不便で仕方ない。早急に対応を願う。また、出産できる所が沼田か、前橋しかないので、検診時の交通費もかかるので、第1子出産時に祝金を30万前後にすべきと思う。でない、人口は増えない。もっと子育て支援が必要である。早急に対応願う。
- ・申請や要望に対して速やかに処理し回答をいただきたい。
- ・役場がもっと、生き生きした仕事をする。役場職員のヤル気を出す。役場が中心にならなければ誰が進めるのでしょうか。もっと真剣に町のために仕事をしてほしい。
- ・役場の建物は広くてきれいだと思います。それに比べて原町郵便局は古くて狭いと思います。役場の一角が郵便局ならいいのと思ってしまう。簡単にできることではないでしょうが、柔軟な使い方が実現したらすばらしいと思います。
- ・役場の方々の対応でいいねい親切でいつもありがたく感じています。本当にいつも驚きます。
- ・役場職員の対応がさわやかでホッとごみます。

## アンケート

- ・オンライン or マークシートでアンケート実施し、集計作業の効率化を図る等、工夫されたら良いと思います。印刷、郵送コスト、人件費、他削減できるものは削減。
- ・こういうアンケートが出ることを町報や防災無線でもお知らせし、行政に役立てたいことを周知して、企画課のやる気を見せてからアンケートをしてほしい。また、アンケート結果は集約したものを開示し、具体的に計画のここを見直し、何を実行していくのか、声が行政に反映していることを示してほしい。先日バスターミナルについてアンケートがあったが、ただやりっ放しになっている感がある。
- ・このアンケートもデジタル化（オンライン化）を可能にしておき、活用できる方は、紙面ではなく、そちらを活用できたほうが、処理の面でも楽なのではないかと思う。

- ・このアンケートを集計して、次のステップに導けるだけのリーダーがいるのか不安です。年々年齢を重ねて行くと、交通手段も不安になりますが、車社会（車を使わなくても、病院、役場、銀行等へ）でなくても生活できるような町での取組はあるのでしょうか。
- ・もう少し回答側の（個人的意見でも良いので）意見をくみ上げられるアンケートにしてほしい。内容が抽象的すぎて答える方も答えにくい。この程度のアンケートにわざわざ外部委託して無駄に税金を使わないでもらいたい。
- ・以前も公共交通等に関するアンケートがありましたが、このアンケートも1800人を対象にお金をかけて行う価値が、意味があるとは思えません。「税収の減少により行政サービスの水準維持が」という問いがありましたが、無駄をなくしていくことが大切のように思います。また、90歳台後半の年寄りにこのアンケートが届きましたが、この年齢の人が回答できるとは思えません。除くべきです。
- ・何事も関わらないとどの程度か分かりません。意見を聞くことは大切だと思います。住み良い町になることに期待しています。
- ・今回のこのアンケートにあるように、色々な質問に対してのことが、前向きに、少しずつでも進んで行ってくれたらいいのかなと感じました。また、それを願っています。
- ・些細な事ですが、アンケート調査を外部委託でなく、自力で行い、結果を皆で共有し、穏やかな町となることを願っております。
- ・質問が大雑把すぎて、難かしかったです。もう少し具体的な質問が答えやすかったです。
- ・第2次総合計画を策定して前期5年間で終了するとありますが、その5年間にどのようなことがおこなわれて、どのような成果が見られたのかが、1つも分かりません。過去5年間の実績や成果を分かりやすく示してほしいです。そういったものが分からないまま、アンケート調査をしてもどうかと思っています。
- ・町民の意見が行政に伝わりやすいよう、このような町民アンケートを続けてもらいたい。例えば「高齢福祉について」とかテーマをしばってアンケートをとってもらいたい。地域の強い声（経営者、有益者）が反映されるのではなく、弱者の声も聞いてもらいたい。弱者は役場にそうそう行けないから。医療体制の充実をもっとやってもらいたい。
- ・東吾妻町に住んでいるのだから、住みやすい所と住みにくい所をそれぞれ答えるようにした方が住民の声を把握しやすいのではないのでしょうか。

## その他

- ・マスメディアをフルに活用し、町の顔をアピールすることで印象を強めてください。
- ・原町駅前の新しい橋は、まったく税金の無駄遣いだと思えます。現状、見ていても利用者は少なく、ムダだと思います。新しい橋をつくるぐらいなら町民税をもっと安くしてほしい。
- ・地方交付金の拡充、増額を国に求めるべきであり、このまま何もしなければ消滅するでしょう。国では財源うんぬんをすぐに言っているが、大きな間違いです。必要な地方の予算を必要なだけ確保できなければ地方の終わりはすぐそこにある。財務省が栄えて、国と地方が減びる。地方行政は団結して、国からの予算の増額を求め、奪い取ってください。金がなければ、どのような素晴らしい施策も実現しないことは明白だ。
- ・東吾妻町がもっと知名度の高い町にしてほしい。

### 3 資料（調査票）

## 東吾妻町第2次総合計画策定のための 町民アンケート調査 みなさんの声をおきかせください



日頃より東吾妻町のまちづくりにご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

町では、平成30（2018）年にまちづくりの最上位計画として「東吾妻町第2次総合計画」を策定し、これに基づくまちづくりを進めています。この計画は、平成30年度から令和9年度までの10年間を計画期間としていますが、令和4年度に前期5年間が終了することから、計画の中間見直しを行い、これを踏まえた「後期計画」を策定することとしました。

このアンケート調査は、町民のみなさんのご意見などを計画の見直しに反映させるために実施するものです。町内にお住いの18歳以上の方1,800人を無作為に選ばせていただいたところ、あなたにご協力をお願いすることとなりました。

ご回答は無記名かつ統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外への使用は一切いたしません。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年6月

東吾妻町長 中澤 恒喜

### 記入方法等について

- ◆ご本人による記入が難しい場合を除き、封筒のあて名のご本人が記入してください。
- ◆ご回答は、無記名です。氏名・住所等は記入しないでください。
- ◆ご回答は、該当する番号「1つに○」「3つまで○」「5つまで○」をつけていただくものがあります。  
また、「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ◆記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこのアンケート用紙を入れて、令和4年7月4日（月）までに返送してください。（切手は不要です。）

お問い合わせ先 東吾妻町役場 企画課 企画調整係  
電話 0279-68-2111 ・ FAX 0279-68-4900

## あなた自身のことについて

① あなたの性別をおしえてください。(1つに○)

- |      |      |       |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

② あなたの年齢をおしえてください。(1つに○)

- |        |        |         |        |
|--------|--------|---------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代  | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 |        |

③ あなたの職業をおしえてください。(1つに○)

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 会社員・公務員   | 5 専業主婦・主夫 |
| 2 パート・アルバイト | 6 学生      |
| 3 自営(商工業)   | 7 無職      |
| 4 自営(農林水産業) | 8 その他 ( ) |

④ あなたのお住いの地区をおしえてください。(1つに○)

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1 五町田 | 9 泉沢  | 17 三島  |
| 2 箱島  | 10 原町 | 18 厚田  |
| 3 岡崎  | 11 川戸 | 19 大戸  |
| 4 新巻  | 12 金井 | 20 萩生  |
| 5 奥田  | 13 郷原 | 21 本宿  |
| 6 岩井  | 14 矢倉 | 22 須賀尾 |
| 7 植栗  | 15 岩下 | 23 大柏木 |
| 8 小泉  | 16 松谷 |        |

⑤ あなたの東吾妻町(旧東村、旧吾妻町を含む)での居住年数をおしえてください。転居されたことのある方は、通算の年数でご回答ください。(1つに○)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 5年未満       | 4 20年以上30年未満 |
| 2 5年以上10年未満  | 5 30年以上      |
| 3 10年以上20年未満 |              |

## 東吾妻町の住みやすさについて

問1 あなたにとって、東吾妻町は住みやすいですか（1つに○）  
また、その理由に近いものをおしえてください。（3つまで○）

(問1で1または2と答えた方)	(問1で3または4と答えた方)
①【住みやすい理由】（3つまで○）	②【住みにくい理由】（3つまで○）
1 とても住みやすい 2 どちらかといえば住みやすい 3 どちらかといえば住みにくい 4 とても住みにくい 5 どちらともいえない	
1 自然環境が良い 2 交通の便が良い 3 買い物 convenient 4 医療・福祉が充実している 5 子育て・教育環境が充実している 6 自然災害の心配が少ない 7 犯罪が少なく治安が良い 8 働く環境が整っている 9 休日等を楽しめる場が充実している 10 地域の人間関係が良い 11 その他 (                              )	1 自然環境が厳しい 2 交通の便が悪い 3 買い物不便利 4 医療・福祉が充実していない 5 子育て・教育環境が充実していない 6 自然災害の心配がある 7 犯罪が多く治安が悪い 8 働く環境が整っていない 9 休日等を楽しめる場が充実していない 10 地域の人間関係が悪い 11 その他 (                              )

問2 あなたは、これからも東吾妻町に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

1 ずっと住み続けたい 2 当分は住み続けたい 3 町外に転出するかもしれないが、また戻ってきたい 4 できれば町外に転出したい 5 わからない
--

## まちづくり施策の評価について

問3 あなたは、町が現在取り組んでいるまちづくりの施策についてどう感じていますか。

次の1～28の施策項目ごとに、「①重要度」と「②満足度」を5段階(1～5)でお答えください。  
(「①重要度」・「②満足度」それぞれ5段階(1～5)の番号1つに○)

		①重要度					②満足度				
		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
(記入例)〇〇〇〇〇〇の整備		1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
協働のまち みんなで創る	1 住民と行政の協働の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2 情報公開・情報共有の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 人権尊重・男女共同参画社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安全で暮らしやすいまち	4 道路交通網の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5 住環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6 公共交通体系の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7 情報通信基盤の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
暮らしが心地よいまち	8 防災・防犯・交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9 低炭素・循環型社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10 自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11 水の安定供給と汚水処理の適正化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域のあるまち 地域の恵みを活かした	12 農林水産業の振興とブランド化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13 観光基盤・ネットワークの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15 新産業の創出と雇用の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

→右ページにつづく

問3 (つづき)

	① 重要度					② 満足度					
	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	
元気な声と笑顔が あふれるまち	16 健康づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17 地域医療体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19 障害者福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20 地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
学びのまち 豊かな心を 育む	22 生涯学習・生涯スポーツの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24 歴史的・文化的資産の保存と継承	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25 歴史・文化の発信と交流の拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健全財政に向け 徹底した改革に 取り組むまち	26 町財産の適正管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37 効率的な組織運営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28 広域行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 町は、町民と行政との協働を進めるため、平成31年4月に「まちづくり参加条例」を施行しました。この条例に基づき、公募に応募した町民や地域代表者、町内産業界などで組織する「ひがしあがつま創生会議」を設置して、まちづくりの施策への町民の視点での評価や、総合計画の策定などに取り組んでいます。

あなたは、「ひがしあがつま創生会議」を知っていますか。(1つに○)

- |  |
|--|
| <p>1 名称を知っているし、活動内容も知っている</p> <p>2 名称は知っているが、活動内容までは知らない</p> <p>3 名称を聞いたことがないし、活動内容も知らない</p> |
|--|



問5 あなたは、町の行政サービスについてどう思いますか。

次の1～9の項目ごとに、5段階（1～5）でお答えください。

（それぞれ5段階（1～5）の番号1つに○）

	そう思う	そう思う どちらかといえば	どちらか といえは そう思わない	そう思わない
1 役場の窓口案内や電話対応が良い・わかりやすい	1	2	3	4 5
2 困りごとやわからないこと等を相談しやすい	1	2	3	4 5
3 証明書発行や届出にかかる時間が適切	1	2	3	4 5
4 諸手続きのデジタル化(オンライン化)が進んでいる	1	2	3	4 5
5 町民の個人情報やプライバシーが守られている	1	2	3	4 5
6 町民の意見が行政に反映されている	1	2	3	4 5
7 町の必要な情報が得やすい	1	2	3	4 5
8 まちづくりへの町民の参加が進んでいる	1	2	3	4 5
9 町職員の言葉づかいや対応がきちんとしている	1	2	3	4 5

### これからのまちづくりについて

問6 あなたは、自分の持つ知識や経験、時間的なゆとりなどを活かして、東吾妻町のまちづくりに関わりたいと思いますか。（1つに○）

- |                     |
|---------------------|
| 1 積極的に関わりたい         |
| 2 機会があればできる範囲で関わりたい |
| 3 あまり関わりたいくない       |
| 4 まったく関わりたいくない      |
| 5 その他（ ）            |

問7 今後、人口減少や少子化・高齢化の進行にともなう税収の減少により、現在の行政サービスの水準維持が難しくなった場合のサービスのあり方について、あなたはどのように考えますか。(1つに○)

- 1 税負担は増やさず、それによって縮小されるサービスがあってもやむを得ない
- 2 税負担は増やさず、利用者自身が負担してサービスを維持・充実すべき
- 3 税負担は増やさず、民間活力や町民の力を活用してサービスを維持・充実すべき
- 4 税負担を増やしても、サービスを維持・充実すべき
- 5 わからない
- 6 その他 ( )

問8 5年後(2027年)の東吾妻町について、あなたはどのようなまちであってほしいと思いますか。(5つまで○)

- 1 町民と行政の協働によるまちづくりを進めるまち(住民参加・協働)
- 2 一人ひとりの人権が尊重され、大切にされるまち(人権尊重)
- 3 道路や公共交通が充実した移動しやすいまち(社会基盤)
- 4 住宅の耐震化や空き家対策、公園などが充実した暮らしやすいまち(住環境)
- 5 災害に強く、防災や防犯、交通安全を進めるまち(防災・防犯・交通安全)
- 6 水とみどりの保全、活用と環境問題への対応を進めるまち(環境・新エネルギー)
- 7 地域特性を活かした産業が盛んで、安心して働けるまち(産業・雇用)
- 8 地域資源の活用により、誰もが訪れたいくなるまち(観光・交流・地方創生)
- 9 健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち(保健・医療)
- 10 高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち(福祉)
- 11 安心して子どもを産み、育てられるまち(子育て支援)
- 12 誰もが生涯にわたり学び、スポーツが楽しめるまち(生涯学習・生涯スポーツ)
- 13 子ども一人ひとりのしなやかな生きる力<sup>\*</sup>を育む教育の充実したまち(学校教育)
- 14 郷土の歴史や伝統の保存、継承と文化活動が盛んなまち(歴史・文化)
- 15 効率的で透明性の高い行財政運営を進めるまち(行財政改革)
- 16 その他 ( )

※しなやかな生きる力:確かな学力・国際社会に生きる力、豊かな心・感受性、健やかな体・健康安全な生活を営む力。

問9 東吾妻町のまちづくりについてご意見などがございましたらご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
---

アンケートは以上です。  
ご協力いただきありがとうございました。  
同封の返信用封筒にて**7月4日（月）**までに返送してください。  
(切手は不要です。)



# 関係団体・事業者アンケート調査報告書

## 1 調査の概要

### 1 - 1 調査の目的

総合計画を効果的・効率的に推進していくために、町民はもとより、町政に関わりのある各種団体や民間事業者等の参画や連携を得ることが重要と考え、「東吾妻町第2次総合計画」にその意見を反映することを目的としています。

### 1 - 2 調査の方法

調査の方法は以下のとおりです。

① 調査対象	町内で事業を展開する各種団体、企業・事業所のうち、町役場が独自に抽出した50件（令和4年5月31日時点）
② 調査方法	郵送による調査票の配布・回収
③ 調査期間	令和4年6月14日（火）～7月15日（金）

### 1 - 3 調査の回収結果

調査の回収結果は以下のとおりです。

① 発送数	50件
② 回収数	20件
③ 回収率	40.0%

## 2 調査結果

※寄せられた意見等（記述）については、個人や団体・事業者等が特定できる可能性のある内容を除いた主なものを掲載します。

### 1 現在の東吾妻町の魅力・特徴は何だと思えますか。

#### 自然環境、有名観光地からの近さなどが比較的多い

農業、工業、商業のバランスがとれたところ

雄大な山々と自然に囲まれ、各所の有名観光地・温泉地に近い位置にあり、観光中継立地として条件が良い。ただし、立ち寄るきっかけとなる地域特産品や地域の特徴が少ないので、新たな魅力を全国に認知してもらうアピールが必要だと思う。農業が中心産業、寂れた温泉が点在、有名観光地の通過点。

自然が豊かで空気がおいしい。少子高齢化。

緑豊か、交通の便もまあまあです。水が豊富な魅力を感じます。特徴は、土地改良により空き田畑がない地域。

岩櫃山や浅間隠山などをはじめとする山々、四季折々に多くの観光客で賑わう吾妻渓谷や名水百選に選ばれる箱島湧水など、自然が大変豊富であるところ。住民自身のつながりが根強く、自助と共助による日常生活が普段から営まれているところ。原町バイパス(国道 145 号)通り沿いに商業施設が充実しているところ。

自然を活用し、文化やスポーツを推進し、守っている人々の存在こそが魅力であり、特徴になる。

岩櫃山、真田丸。草津、四万、軽井沢に程近い。自然豊か。

新緑や紅葉がきれいな自然の中にある町。都市部より草津、白根、軽井沢にドライブがてら寄れる町。

住民同士が仲の良い静かな田舎町。

岩櫃山に象徴される山並み、吾妻川、ハツ場ダムの知名度。川中温泉美人の湯、かやぶきの郷薬師温泉、榛名山の伏流水あづま温泉桔梗館の湯、大河ドラマ「真田丸」の知名度、どこから見てもお城という(役場の)ビジュアル。

豊かな自然による、季節ごとに変化する観光資源。岩島地区までは、冬でも過ごしやすい環境。街の歴史を活かした、にんぱくや忍びの乱などのイベント。原町地区、坂上地区など地区ごとではあるが、仲間意識が強く、郷土愛にあふれる気風。若手経営者・後継者は積極的で、事業やアイデアも豊富。非常に優秀な人材が多い。

自然が豊かなところ。有名な温泉地が隣接(中心と言っても良いと思う)。

自然豊かな環境を持っている。例えば山、川、水田、畑など総合的な景色。昔からの農業生産の方法がまだ生きている。古い民家(古民家)がある。素朴な人々とのつながり。スポーツ施設を拡大できるスペースがある。

バイパス道路沿いを中心とした賑わいのある商業圏。川戸地区の工業圏。ハツ場ダム下の道の駅を含む観光。坂下、太田、東、岩島地区、各々のまちづくりが活かされているところ。

個性ある山々や清流、温泉、古い街並み、景観など。豊かな自然、長い歴史の中で育まれた文化などの魅力的なものが数多く残っていることが特徴。

田舎ではあるが、それなりになんでも揃っていて(店舗等)、住みやすいところ。

豊かな自然環境、美味しい農作物。

四季を堪能できる豊かな自然。広大な土地。

岩櫃山を中心とした「自然」の中に調和した町。

豊かな自然、岩櫃山に代表される自然資源、東京から 2 時間弱の首都圏であること。

「まちの魅力向上」「ブランド力強化」のために、どのようなことが必要だと思いますか。また、そのために貴団体としてどのような展開が考えられますか。

(1)「まちの魅力向上」「ブランド力強化」のために必要なこと

### 本町ならではの独自性・差別化と、そのPRに関する内容が比較的多い

観光面においては、他に強力な団体が周りにあり、それと争うのではなく、人のつながりを中心とした魅力向上、ブランド力強化が必要ではないか。例えば、夏期合宿(マラソン等)を重点的にサポートしていくことに町で力を入れていく。

中継地として立ち寄りたいたいと思わせる特産品やイベント、観光資源の新たな設定。全国にこの地を認知してもらうためのアピールポイントを明確にし、それを発信すること。群馬のアンテナショップや観光・旅行業者へのパンフレットに広告宣伝。目玉・柱となるものがない。何をもって東吾妻町の「何がほしい」「訪問したい」と思わせるものを作り出す。「岩櫃山・湧水・温泉・特産品」で一体化できるものがあるか。複数ないと弱い。

上信道が東吾妻を通過することで工場増進、農産物の出荷増進で、町の収入につながればいい。

「東吾妻と言ったらこれ」と言われるものを作る。

町外に向けた広報活動、情報発信等。町を代表する魅力を全面的に推す。他団体や機関とのコラボレーション。

健康保持増進のための環境づくり(指導者や施設等)を行う。

特化した場所や物、若い人の力。医療福祉の資源が少ないため、各機関や行政、市町村の協力体制。安心して東吾妻町で最期まで暮らしたいと思えるようなことをつくる。

特別新しいことをするのではなく、今の良いところを伸ばす。

ブランド力とは？環境、原材料、農産物、ビジュアルなどを活かした、「来たくなる、買いたくなる」商売繁盛のための販売戦略。

継続的な取り組みが必要。まずは、魅力向上やブランド力強化を行う上で、何が課題なのかを把握する必要がある。自分事として捉えることも重要。

斬新なアイデアの発掘(人財の発掘)

スポーツ施設の充実と自然豊かな環境を活用したイベントを計画する。SNS を活用した発信は不可欠。

“水仙の町”等々、良いところはこれだと言えるような発信力。他の地域との競争力。認知度の向上。

掘り下げた紹介、切り口を変えた紹介、魅力や資源の磨き上げ。

良い点を知ってもらうための宣伝(アピール力)など

東吾妻町には宿泊施設が少なすぎる。当町を目的地にしてもらうためには宿泊施設をもう少し充実させたほうがよいのでは。

人口減少が進んでいるからこそ、ICT の推進により、他市町村との差別化。

①地域の特色を見つけること(良い所や特産物)。②地域の特色を融合して PR する。

子育て環境の整備。教育の充実。定年を迎えた高齢者が安心して暮らせるまちづくり( 人生 100 年を念頭に)。U ターンや移住の推進支援。

### 団体・事業者が持つ資源や技術、ネットワークなどを活かしたさまざまな連携・協力の意向が示された

農業団体として、新規農業者をつくるためのアドバイザーとして農業の発展を図ることと、その仲介、ブランド力のある農作物、農業を見つけ、発展させること。

この地域に根差す企業の技術的特徴や、その製品が社会に貢献していることを理解していただくための広報。

現時点では思い浮かばない。

福祉活動の側面から町の事業に参画や協働すること。

一人スポーツを推進する。

各事業所、部署との連携。個々の利用者のニーズに合った支援の展開。

たまたま寄っていただいた方が、今回はここを目的地としてくる場所としたい、例えば疲れた体をリフレッシュできる施設、近隣の人たちの社交的な場所として、木陰でハンモック等で休めるとか、美味しいデザートでゆっくりお茶が飲めるテラスがあるとか、自転車で自然を楽しめるコースがあるとか、何を食べても美味しいと一言出てしまうようなお店がある、そんな場所にしたい。

地域の活性化、住民同士の交流。

心のこもったサービスを提供し、利用者から「来てよかった！また来たい！」と言われるように努力をする。また、施設内のツールとして「温泉、食事、農産物や売店、マッサージ、カラオケ」などお客様のニーズに応えられることに積極的に取り組む。

「まちの魅力向上」「ブランド力強化」といった抽象的な目的ではなく、具体的で数字で表現できる目標を設定すべき。目標が曖昧だと取組も曖昧になる。目標が曖昧な状況で、枝葉の取組について考えても成果にはつながらない。本会は、会員数増加、国の補助金事業や県の経営革新計画承認数などの経営計画作成ポイント、福祉共済新規獲得数などの具体的な目標数の達成が目標としてあり、商工会や職員の人事評価にも直結する。この目標の達成と地域振興の目的・取組が合致するような振興の展開をお願いしたい。

製品の設計及び加工並びに組立などの対応が可能。ブランド製品、マスコット、記念オブジェなど。

一年を通じて、宿泊と温泉とスポーツイベントを実施することは、スポーツ文化の発展になる。

東吾妻町には”〇〇(回答事業名)”もあるねと評価されるような活力ある、魅力ある工場(職場)づくり。

観光宣伝、ツアーの企画、新商品の開発など。

「職と農」の分野に関しては、自社だけでなく、町内若手農業者や農協を含めてあらゆる協力ができると思う。自社だけの取組としては、ハイブランドの商品開発を検討中。

#### ICT 診療

PR すべきアイテムが決まれば、社内で PR を行う。会社案内に組み込む等。

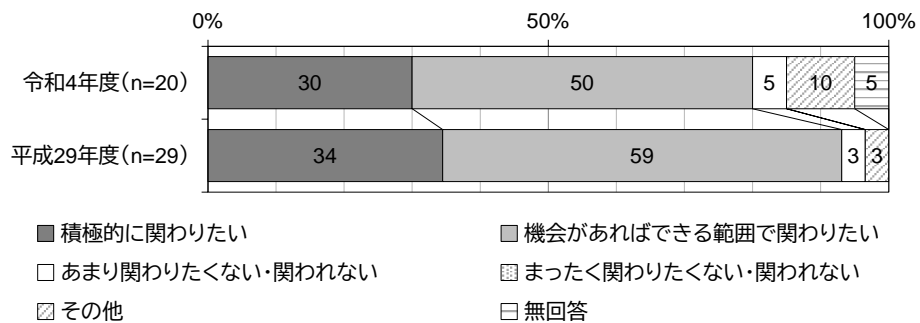
生涯にわたって途切れることのない歯科保健活動への協力。例えば歯科検診、フッ化物洗口、オーラルフレイル予防のための啓発活動。

### 貴団体の持つノウハウや技術、施設や設備、人材などを活かして、東吾妻町のまちづくりに関わることにどのように考えますか。(1つに○)

#### 合計値『関わりたい』は前回調査より低下

「機会があればできる範囲で関わりたい」(50%：10件)が最も多く、次いで「積極的に関わりたい」(30%：6件)となっています。「機会があればできる範囲で関わりたい」「積極的に関わりたい」の合計値『関わりたい』は8割(80%：16件)を占めています。

前回調査と比較すると、合計値『関わりたい』(前回93%)は若干低くなっています。





「まちの魅力向上」「ブランド力強化」と、「協働によるまちづくり」を進めるために、東吾妻町役場は行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

**進むべき方向性や目標の明確化、住民同士や団体・事業者間を“つなぐ”役割などが求められている**

東吾妻町の魅力は、場所や観光に頼るのではなく、人のつながり、町としての取組(スポーツなど)を熱心にサポートすることにより強化されると考える。

この地域を活性化するためのジャンルを超えた会話と、雇用継続と企業安定操業のための人づくり・まちづくりを議論し、実践していく中心的存在になってほしい。過疎化を逆手に取る。弊社においても、求人に応募いただく方に東吾妻町民は少ない。また、就業しても渋川地区へ居住地を変更する従業員が多い。よって東吾妻町の魅力は「過疎」とするか、と考えたりもする。

若い人がこの東吾妻町で住みたい、子育てしたいと思えるまちづくりを(病院にまず産婦人科を)。

地域にもっと密着した活性化を進め、若者層の定着を考えるべき。

関係機関と平時から相互の顔の見える関係を築き、密に連携し合えること。住民からの意見を最大限に反映させること。

スポーツの推進計画の作成を確実に実施してほしい。

町の医療福祉へ他の地域からも協力してもらえよう働きかけ。町民の意見(年齢問わず)が聞けるような場をつくる。

行政と住民を分けているのはどうか。インパクトの強い目標をつくるより、基本的な事を大切に。

各担当課の専門的知識向上のために、ありがちな年功序列の人事異動ではなく、適時適所の人材を行い、各課にリーダーができ、新しいリーダーに引き継がれるような人事配置を。また、専門知識のある方のアドバイスを受けて、自分達でできないことを見出してもらう。近隣町村と協力して、真田やハツ場など共通のBIGイベントの誘致など。

具体的な目標の設定を行うこと。定性的な目標だけでなく、定量的に測定できる目標とすること。目標達成の期限をつくること。具体的な目標設定を行うために、適切な交通整理、ファシリテーションができる案内役を中心に、現状の把握を行うこと。東吾妻町の理想像を想定すること。これが必須の取組だと思われる。

働き方や価値観の変化に合わせた移住などの推進に取り組んだらどうかと思います。

スポーツ施設、グラウンドの充実と屋内施設の充実を計画的に、町内外に発信することを考えてほしい。東吾妻町から吾妻郡全体が発展するような地域づくりを考えてほしい。

魅力向上、ブランド力強化を目指すことを 最初から多方面から協力をしてもらう。より住み良いまちづくりが何かを考える。果たすべき役割、責任を明確にする。出来るだけ多くの団体に関わってもらうよう進める。

魅力度アップ。魅力を活かした商品開発には様々な方の協力が必要になることから、こうした連携などの仲立ち等をお願いしたい。

他県からの移住者なんかが増えるようなことができれば魅力が上がる(支援や補助金)。

まず町のブランド強化において、何を主にするのかを定めてほしい。商工業なのか、観光なのか、農なのか、それによって取組が決まってくると思う。

あらゆる世代の住民と一緒に活動できるコミュニティの場をつくる(スマートインクルージョンなどにより)

今後、人口減少を食い止めるためにも、企業誘致等で働く人を呼び込むと同時に、働く場所を確保する。

子育て、教育環境の充実。住みよい町であることのアピール。上信道インター設置部の開発支援。人口減社会に対応したコンパクトなまちづくり。

## 5 その他、東吾妻町へのご意見等

### 団体・事業者ならではの“多様な住民の声”が得られた

農業面での公式な代表として、農政との一体化を図り、東吾妻の農業発達の力になればと考える。

協働により若者定着を図れば良いと思います。(若者に)書面ではなく、直接意見を聞く方が良いと思います。

住民と意見を交わす中で、特に免許返納後の「足」問題について心配する声を多くいただきます。本会としてもこの問題については引き続き町と検討していきたいと考えております。

スポーツ協会の代表を総合計画の会議の一員として加えてほしい。前期で策定されていないスポーツ推進計画を、後期では策定する予定なので、スポーツ協会の意見を反映させてほしい。

上信道が開通となれば、多くの方が吾妻方面に来ると思われれます。計画をしていると思いますが、ただ通過する町とならないよう、観光施設や文化施設等の道路標識の設置と、そこに向かう交通インフラの整備もお願いします。

どこの町でも総合計画をつくるが、計画のための計画で形骸化している気がします。中身も抽象的で検証がされていない。町民の意見もいいですが、職員も町民です。役場内のアンケートも必要ではないでしょうか。行政はもっと住民目線で見てほしいと思います。

色々なイベントに参加しやすい環境づくり、早い段階で企画を提示し、イベントスペースの確保や参加費無料でのアシスト(設置費用の町負担等)。フリーマーケットの開催など、「役所がお城」というビジュアル利点を活かし、子どもや若者たちに参加を募り、「水仙ちゃん」とめぐる東吾妻町役場。新庁舎を利用して、ウォークラリーなどの開催(映えるスポットを取り入れてインスタやツイッターなどでお客様に紹介PRしてもらう)、最終的には立派なお城をバックに記念撮影会と達成プレゼント。定期的に行い、定員制にして参加したいニーズをつかむ。これをきっかけに、真田丸東吾妻自慢の野菜のお弁当など、五感に訴えるインパクトある企画をつくる。今までPRしてきた延長戦に新規の企画を乗せていく取り組み。例えば、真田丸×六文銭など、パッケージやポスターなどデザインを共通項に季節ごとに地元の食材をピックアップして、店舗ごとにアレンジした食材の販売。ふるさと祭りなどの機会に、参加店一同の共通紹介やチラシなどPRと食べ歩きポイントラリーなどに発展させる。

東吾妻町は基本的に職人の町だと思います。無理にないものをつくったり、こじつけで何かをするのには疑問があります。また、観光客を呼び込みたいのか、町内への移住者を増やしたいのか、既存住民の経済活動を活性化するのか、大きな方針は決めないと、一番重要な取組の対象、顧客がわかりません。誰に対して何をするのかを考えるのが、魅力向上やブランド強化の基本だと思うのですが、何をするかだけを決めても効果的な取組になるとは思えません。

スポーツと宿泊と食文化について魅力ある街づくりを希望します。

農業分野に関して言えば、米、野菜、果樹、畜産など、食卓の大半の農作物が揃う農業地は貴重だと思う。海産物以外は東吾妻町の生産物で三食まかなえる。飛び抜けて有名なブランド作物があるわけではないが、オールマイティーな農業地域としてもう少し農業推進をお願いしたい。

上信道の経路上で広いエリアが確保できれば、物流拠点としての機能を持つことで、人流を呼び込んだり、それに関連する企業の誘致につながったりするのではないのでしょうか。今の物流倉庫は、物を置くだけの機能だけではなく、配送、検査、一部組立等を行なっている所もありました。

コロナ禍でも見送りとなっている町立小学校におけるフッ化物洗口の一日も早い実施をお願いしたい。

# 中学生からの提言(東吾妻町 J H S 議会)

## 1 実施の概要

### 1 - 1 実施の目的

東吾妻町第2次総合計画後期基本計画の策定にあたって、東吾妻中学校3年生が、卒業後の社会との関わりを考えながら、「20年後の私へ」をテーマに卒業研究として取り組んだ成果を子ども達からの意見として反映することを目的とします。

### 1 - 2 実施の方法

10名の生徒が代表として、町議会議場において、町執行部（町長、副町長、教育長）や町議会に対して研究成果を発表し、ふるさと東吾妻町への提言を行いました。

① 実施日	令和4年11月29日（火）
② 実施会場	東吾妻町議会議場

## 2 提言

代表として提言を行った10名の生徒それぞれの提言内容を以下に示します。（「東吾妻町議会だより」令和5年2月1日 68号より引用）

---

### 地域とつくる麻雀

少子高齢化が進む中でお年寄りの外出の機会や周囲との交流が減っている。そこで交流を増やす機会として麻雀で地域の活性化に取り組むことを考えた。麻雀は参加者がコミュニケーションをとりながら楽しむことができるので、認知症の予防にもつながる健康ゲームである。

町主催で地域の公民館などで教室を開催し、麻雀を通してお年寄りや若者の交流を増やせば、より町が元気になるのではと考えた。

---

### 記憶の証しと私の町

広島に行った経験から戦争についてより考えていかなければと感じるようになり、最近のウクライナの戦争や近くの忠霊塔の歴史を知ってからさらに戦争について記憶をつないでいく事が大切だと感じた。

そこで、幅広い年代の人が戦争について知る機会を設けるために、展示会や話し合いの場をつくって意見を交流をすることを毎年継続していくことを提案したい。

---

---

## 観葉植物と私

パソコンやタブレットの活用がかかせない時代は、その利用で目が疲れたりストレスがたまったりすることが問題になっている。

そこで、公民館や病院などのいろいろな施設に観葉植物を置くことで、その場所が利用する人にとって心が安らぐ場所にしていけたらと考えた。また、購入したものを置くだけでなく、学校や地域みんなが自分の手で育てた観葉植物などを施設に届けられれば、地域の交流につながると思う。

---

---

## Agatsuma Rail Way

小さいときから鉄道に慣れ親しんできたので、地域に活かせる手段として、吾妻線の活用を提案する。町内4つの駅を基本に沿線の雑草を除去し花や木を植えることで岩櫃山や吾妻渓谷など観光資源をより活かせると思う。また、その取り組みを町のボランティア活動として呼びかけることや、YouTubeでの配信・VTuberとのコラボレーションなどができればと考えた。

---

---

## 触れあい学ぶ自然

東吾妻町にある豊かな自然が好きで、その自然をつかって町に活かせることを考えた。

そこで、観光コースをつくり、ただ見て回るだけでなくその地域の歴史なども知ってもらえればいいと思う。

そのために地域の方々をガイドさんとして協力してもらい、東吾妻町を見るだけでなく、「聞いて」、実際に体験して「触れて」もらえるようにしてはどうかと提案する。

---

---

## 電気がつくる未来の地球

自分自身が電気に興味があり、そのことを町に活かすと考えた時に自然エネルギーの開発が良いのではないかと思った。

今、ウクライナ戦争などの影響で電気料金が値上がりしている。また世界中でSDGsの必要性が言われている。そのため、太陽光発電や、からっ風を利用した風力発電などへの新たな挑戦をしてもいいと思う。

---

---

## これからをつくる水族館

小さい頃から将来は水族館で働きたいと考えている。そこで故郷に活かせる案として、心を癒やせる施設や場所として水族館の建設を考えた。ただし、大規模な施設には多くの費用がかかるので、まずこの町に生きる魚を中心に、役場や公民館に水槽の展示をすることを考えた。工夫した展示にしたり解説を書いた説明をおいたりして、生き物のすごさや素晴らしさを伝えたい。

---

---

## 未来を描くイラスト

好きなイラストを町に活かすことを考えた。

そのために、町の観光案内のポスター・看板・地図などの制作に、地域の人々の意見を取り入れたらどうか。意見を取り入れる話し合いが持てればいろいろなアイデアが生まれたり、参加した地域の人々の仲も深まったりする。また自分のものを含めイラストなどの作品をいつも展示できるカフェのような施設をつくることで多くの人が集まる機会をつりたい。

---

## 音楽と創る未来

小さいころから音楽が好きなので、音楽をもとにふるさとに活かすことを考えた。

ご当地ソングを作ったり、5地区で合唱コンクールや出し物で楽しみ競い合うイベントを計画したりしてはどうか。またライブハウスをつくり、定期的そして継続してライブやイベントを行い、若い世代の人たちにも町への関心をもってもらう。そうして音楽を通して地域全体、お年寄りや若い世代との交流を深めたい。

---

## ユニバーサルな町づくりの実現

将来医師になりたいという希望がある自分は、「ユニバーサルな町づくり」の実現を提案したい。

まず、リハビリ施設・障害者施設・老人ホーム・子ども園などに研究施設を併設した病院を設立しユニバーサルなエリアをつくる。そこから新しい仕事生まれ、東吾妻町だけでなく吾妻全体の経済発展や人口減少を止めることにつながると考えた。

---







**東吾妻町第2次総合計画 後期基本計画【資料編】**

発行日 令和5（2023）年7月

発 行 群馬県東吾妻町

編 集 東吾妻町企画課

〒377-0892

群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町 1046

電話 0279-68-2111（代表）